

エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事

1 工事概要

1 工事名称 エディオン鳴門一般庶棟増築及び改修工事のうち建築工事

2 工事場所 徳島県鳴門市撫養町大桑島字津岩浜48-30他

3 用途地域等
都市計画区域(内 外) 用途地域(準工業地域)
防火地域(防火 準防火 指定なし(22条))
その他の地域・地区)

4 主要用途 建築:遊戯場 消防:(2)項口 遊技場等

5 敷地面積 11016.53 m²

6 工事の概要

■ 施設工事(本設計図)
外向売売所の増築(A棟とB棟の間)
A棟のファンエリアの大規模改修。
B棟の増築取合範囲の部分改修、B棟の外壁改修。
外構、駐車場の整備工事

■ 解体工事
既存建物内装、アスファルト舗装、境界フェンスつめる等の解体撤去

7 別途工事
投票設備、映像音響設備、成績表示設備、機械警備設備
家具詳細図がない家具備品(投票所、置家具工事、後方諸室、飲食自販機、ゴミ箱)
別途工事とは綿密に打ち合わせを行い、工程に影響のないようにすること

8 その他

・既存棟の竣工図は参考図であり、現況と不整合している部分については現況を正とする。

・既存棟の間での増築のため、既存の調整を十分に行ない施工すること。
調査により設計図に疑義が発生した場合は監督職員と協議すること。

・5・6・7については構造図を優先し、それに記載なき場合は特記仕様書によること。

・北側の外構工事以外の工事については令和6年12月10日までに完成させること。

9 特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか、以下の○印のもので構成する。
○ 構造特記仕様書 ○ 外構工事特記仕様書 ○ 植栽工事特記仕様書
○ 解体工事特記仕様書 ○ 電気設備工事特記仕様書 ○ 機械設備工事特記仕様書

II 建築工事仕様

1 共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(最新版)」(以下「標準仕様書」という)による。

2 特記仕様
1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。○と○印のついた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の()、< >及び[]内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項																												
I 一般共通事項	1 ① 一般事項	○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、工事監理者に報告の上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、工事監理者と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示																												
	2 適用基準等																													
	3 概成工期	工事工期より 日前 (1.1.2)																												
	4 発生材の処理等	発生材の処理 (1.3.8) 引渡しを要するもの() 特別管理産業廃棄物() 受入れ施設名・所在地(km) 再生資源化を図るもの																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名</th> <th>所在地(km)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメント</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アスファルト</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設発生木材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設汚泥</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>現場において再利用を図るもの() その他の廃棄物(安定型)() 受入れ施設名・所在地(km)() その他の廃棄物(管理型)() 受入れ施設名・所在地(km)()</p> <p>上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。</p>	種類	受入施設名	所在地(km)	備考	セメント				コンクリート塊				アスファルト				コンクリート塊				建設発生木材				建設汚泥			
種類	受入施設名	所在地(km)	備考																											
セメント																														
コンクリート塊																														
アスファルト																														
コンクリート塊																														
建設発生木材																														
建設汚泥																														

5 電気保安技術者

⑥ 建築材料等

適用する ※ 適用しない

材料の品質等 (1.4.2)
※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの、又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

環境への配慮 (1.4.1)
※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

※ ホルムアルデヒド仕様
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
・普通合板、複合フローリング等 : 日本農林規格(JAS)F☆☆☆☆
・パーティクルボード、MDF(中質繊維板) : 日本農林規格(JAS)F☆☆☆☆
・クロス類 : 日本農林規格(JAS)F☆☆☆☆
・内装工事に使用する塗料及び接着剤 : 化学物質等製品安全データシート(MSDS)等にホルマリン不使用が明示されたもの

※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.5.9)
試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空气中化学物質の採取方法及び測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。

測定対象物質
※ ホルムアルデヒド(濃度指針値 100 µg/m³・0.08ppm)
※ スチレン(濃度指針値 220 µg/m³・0.05ppm)
※ トルエン(濃度指針値 260 µg/m³・0.07ppm)
※ エチルベンゼン(濃度指針値 3,800 µg/m³・0.88ppm)
※ キシレン(濃度指針値 870 µg/m³・0.20ppm)

測定する室等:(居室)

採取方法: 吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。

測定結果等報告書の提出
次の事項を記載した報告書を2部提出する。
測定結果
試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数)
試料採取方法、測定方法、使用した測定機器

測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。

総揮発性有機化合物の測定
測定方法、測定物質及び測定場所等については、別図に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。

※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については、施設管理者に依頼する。

「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

⑧ 特別な材料の工法

⑨ 建築基準法による風圧力等の指定

⑩ 設計GL

⑪ 技能士

(8.4.3)(8.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.13.5)

適用工事	建築基準法の指定
金属板葺	折板葺 ※ 30 36
粘土瓦葺	アルミニウム笠木 風速(V0) ※ Ⅰ Ⅱ Ⅲ
ガラスブロック	ALC外壁パネル 地表面粗度区分 有 無
アルミニウムパネル	ALC外壁パネル 多雪地域の指定 (30cm)
○ アルミニウムパネル	○ 全てのヒサシ

※ 図示 既存A、B棟1F L-450

下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は (1.5.2)
単一級技能士を配置する。

※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。

適用工事種別	適用技能士検定職種(作業)
以下の該当工事	該当する作業がある以下の職種(作業)のすべて
鉄筋工事	鉄筋施工(鉄筋工事作業)
コンクリート工事	型枠施工(型枠工事作業) コンクリート圧送(コンクリート圧送工事作業)
鉄骨工事	とび(とび作業)
ブロック	ブロック建築(補強コンクリートブロック作業)
ALCパネル工事	ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)
防水工事	防水施工 アスファルト防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塗膜防水工事作業 シーリング防水工事作業
石工事	石材施工(石張り作業)
タイル工事	タイル張り(タイル張り作業)
木工事	建築大工(大工工事作業)
屋根及びとい工事	建築板金(内外装板金作業) スレート施工(石綿スレート工事作業) かわらぶき(かわらぶき作業)
金属工事	内装仕上施工(鋼製下地作業)
左官工事	左官作業
建具工事	サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ガラス施工(ガラス工事作業) 自動ドア施工(自動ドア施工作業)
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工 金属製カーテンウォール工事作業 PCカーテンウォール工事作業
塗装工事	塗装(建築塗装作業)

2 仮設

① 仮囲い

※ 設ける
仮囲いの位置及び延長は図示による。
○ 万能鋼板(H= 3m) 波形鉄板(H= m) 単管シート(H= m)
○ シートゲート(H=1.8 m、W=5.0 m) * 箇所
設けない

② 危害防止

※ シート張り 金網養生

③ 交通誘導員

※ 配置する(154日×1人= 154人月) 配置しない

④ 工事監理者事務所

※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する) (2.3.1)
設ける(規模 m²程度 請負者事務所と同様 可否)

⑤ 工事表示板

※ 設置する 設置枚数 1枚
設置しない

6 事業コスト表示板

※ 設置しない
設置する 設置枚数 ※ 1枚 枚

⑦ 工事用水

構内既存の施設 利用できる(※ 有償 無償) ※ 利用できない

⑧ 工事用電力

構内既存の施設 利用できる(※ 有償 無償) ※ 利用できない

⑨ 工事用通路

※ 指定しない ○ 指定する(図示)

⑩ 足場等

枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月)」によるものとし、手すり、中さん、幅木の機能を有するものでなければならない。

⑪ その他の仮設

内部の既存A棟及びB棟の境界はLGSの上、Pbt=12.5張りの上、クロスとし天井まで達すること。

3 土	① 埋戻し及び盛土の種別	種別 A種 ※ B種 C種 D種 (3.2.3)(表3.2.1) C種の場合 建設発生土受入数量 発生場所 m ²
② 建設発生土の処理	○ 構外に搬出し適切に処理する。 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地(km) 構内指示の場所に敷きならす。 構内指示の場所にたい積する。 掘方時に埋没物が発生した場合、その処理は別途とする。 (3.3.1)(3.3.3)	(3.2.5)
3 山留め		(3.3.1)(3.3.3)
4 地	1 既成コンリート杭地業	杭の種類 (4.3.2)(4.4.2) プレストレストコンクリート杭(JIS規格品) A種 B種 C種 (4.3.2)

1 一般共通事項	内装工事	内装仕上施工	プラスチック系床仕上工事作業
⑫ 完成図等	植栽工事	造園(造園工事作業)	鋼製下地工事作業 ボード仕上工事作業 カーテン工事作業
⑬ 完成写真	技能士を適用しないとした職種でも、1級、2級又は単一技能士の配置に努めること。		
⑭ 設備工事との取合い	白焼二つ折製本(A1版、黒表紙金文字入) 部 白焼二つ折製本(A2版、黒表紙金文字入) 1部 白焼二つ折製本(A3版、黒表紙金文字入) 2部 電子データ(DXF、PDF) CD-R 3部 すべての設計図、施工図、製作図をまとめること。 サイン製作図のデータはA1及びPDFを挿入のこと。		
⑮ 火災保険等	※ 作成する		
16 住宅瑕疵担保責任	住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付けあり(新築住宅の場合) なし(新築住宅以外の場合)		
2 仮設	※ 設ける 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ○ 万能鋼板(H= 3m) 波形鉄板(H= m) 単管シート(H= m) ○ シートゲート(H=1.8 m、W=5.0 m) * 箇所 設けない		
3 土	種別 A種 ※ B種 C種 D種 (3.2.3)(表3.2.1) C種の場合 建設発生土受入数量 発生場所 m ²		
4 地	1 既成コンリート杭地業		
5 鉄	① 鉄筋の種別 (5.2.1)(表5.2.1)		
6 コ	① 設計基準強度 (6.1.4)		
7 ク	② レディーミクスコンクリート (6.1.5)(表6.1.1)		
8 リ	③ スランプ (6.2.3)(表6.2.1)		
9 ト	④ 打放し仕上げの種類 (6.2.5)(表6.2.3)		
10 工	⑤ セメントの種類 (6.3.2)		

4 地	③ 地盤改良	④ 床下防湿層	⑤ 土間スラブ(土間コン)下断熱材	⑥ 砂利地業
業	継手 ※ アーク溶接継手又は建築基準法の規定に基づき認定された無溶接継手 (4.3.6)(4.4.4)	杭の施工法 掘削打撃併用工法 プレローリングの掘削深さ (4.4.3) 杭先端予定レベルの上方 mのレベルまで オーガー径 杭径=50mm程度	杭打機の種類 ハンマーの種類 ※ 油圧バイルハンマー ドロップハンマー バイルドライバー ※ 三点支持式クローラクレーン	騒音・振動の測定 行う ※ 行わない
工	コンクリートの種別 A種 B種 (4.5.3)(表4.5.1)	掘削工法 ※ 安定液使用 (4.5.4)	コンクリートの種別 A種 B種 (4.5.3)(表4.5.1) 掘削工法 ※ 安定液使用 (4.5.4)	工法(深層混合処理工法、改良長6L-6.5m) (4.6.5)
事	※ 設ける ポリエチレンフィルム厚0.15mm重ね幅縦横とも250mm以上とし、地中梁がある場合は、250mmのみ込みとする。 (4.6.5)	※ 設ける A種ポリスチレンフォーム3種b 厚25mm+砂30mm敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成17年度版)図7-01-1による。	※ 設ける A種ポリスチレンフォーム3種b 厚25mm+砂30mm敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成17年度版)図7-01-1による。	※ 再生クラッシュラン () (4.6.2~3)
5 鉄	① 鉄筋の種別 (5.2.1)(表5.2.1)	② 溶接金網 (5.2.2)	③ 鉄筋の継手 (5.3.4)	④ 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5)
筋	規格名称 種類の記号 径(mm)	鉄筋コンクリート用棒鋼 ※ SD295A ※ SD345	※ JIS G 3551規格品 線径6.0mm×網目100mm 使用箇所(ベンチ(C)土間、押さえコンクリート)	⑤ 杭頭の補強 (別図1.1)(図1.1)
工	⑤ 杭頭の補強 (別図1.1)(図1.1)	⑥ 柱の帯筋 (別図2.2)(図2.2)	⑦ はり貫通孔の補強 (別図7.1)(表7.1~7.3)	⑧ 圧接完了後の抜取試験 (5.4.9)
事	⑥ 柱の帯筋 (別図2.2)(図2.2)	⑦ はり貫通孔の補強 (別図7.1)(表7.1~7.3)	⑧ 圧接完了後の抜取試験 (5.4.9)	⑨ 基礎、基礎梁、土間スラブ、柱、梁、スラブ、壁 ※ 15cm 18cm ※ 18cm (6.2.3)(表6.2.1)
6 コ	① 設計基準強度 (6.1.4)	② レディーミクスコンクリート (6.1.5)(表6.1.1)	③ スランプ (6.2.3)(表6.2.1)	④ 打放し仕上げの種類 (6.2.5)(表6.2.3)
ン	① 設計基準強度 (6.1.4)	② レディーミクスコンクリート (6.1.5)(表6.1.1)	③ スランプ (6.2.3)(表6.2.1)	④ 打放し仕上げの種類 (6.2.5)(表6.2.3)
ク	① 設計基準強度 (6.1.4)	② レディーミクスコンクリート (6.1.5)(表6.1.1)	③ スランプ (6.2.3)(表6.2.1)	④ 打放し仕上げの種類 (6.2.5)(表6.2.3)
リ	① 設計基準強度 (6.1.4)	② レディーミクスコンクリート (6.1.5)(表6.1.1)	③ スランプ (6.2.3)(表6.2.1)	④ 打放し仕上げの種類 (6.2.5)(表6.2.3)
ト	① 設計基準強度 (6.1.4)	② レディーミクスコンクリート (6.1.5)(表6.1.1)	③ スランプ (6.2.3)(表6.2.1)	④ 打放し仕上げの種類 (6.2.5)(表6.2.3)
工	① 設計基準強度 (6.1.4)	② レディーミクスコンクリート (6.1.5)(表6.1.1)	③ スランプ (6.2.3)(表6.2.1)	④ 打放し仕上げの種類 (6.2.5)(表6.2.3)
事	① 設計基準強度 (6.1.4)	② レディーミクスコンクリート (6.1.5)(表6.1.1)	③ スランプ (6.2.3)(表6.2.1)	④ 打放し仕上げの種類 (6.2.5)(表6.2.3)

16 建 具 工 事	② アルミニウム製 建具	外部に面する建具性能等級等 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)(表14.2.1)
	種類	耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm)
	A種	S-4 A-3 W-4 70 (引違い、片引き、上げ下げ窓で、複層ガラスの場合では性能が確保できない場合は100)
	B種	S-5 A-3 W-4 70
	C種	S-6 A-4 W-5 100以上
	※ 適用箇所は図示による	
	表面処理	外部に面する建具 ※ B-1種 B-2種 BA-2種 内部建具 ※ C-1種 C-2種 BC-2種
	B-2種、C-2種の場合 フロンスカラー(※標準色 濃色) ステンカラー	
	防音ドアセット、防音サッシ	適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない
	適用する場合の遮音性の等級	T-1 T-2 T-3
断熱ドアセット、断熱サッシ	適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない	
適用する場合の断熱性の等級	H-2 H-3	
耐震ドアセット、耐震サッシ	適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない	
適用する場合の面内変形追随性の等級	D-1 D-2	
使用方法による区分	※ 外面納まりの可動式 (16.2.3) 内部納まりの開き式	
3 網戸	防虫網(線径0.25mm 網目16-18メッシュ) ガラス繊維入り合成樹脂 ※ ステンレス(SUS 316) 合成樹脂 防鳥網 ※ ステンレス(SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm	
④ 鋼製建具	簡易気密(SAT)型ドアセット (16.3.2)(16.3.4)(16.3.6)(表16.3.1)(表16.3.2) ※ 使用する(適用箇所は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 W-4 使用しない	
外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 S-5		
建具寸法が「標準仕様書」16.3.4(a)を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ		
区分	使用箇所 厚さ(mm)	
窓	枠、方立、無目 表16.3.2に同じ	
出入口	戸 一般部分 2.3 戸 中骨 2.3	
上記以外 表16.3.2に同じ		
⑤ 鋼製軽量建具	標準型鋼製建具 ※ 使用する 使用しない	
簡易気密(SAT)型ドアセット (16.4.2~4)(表16.4.1) ※ 使用する(適用箇所は図示とする) 気密性 ※ A-3 使用しない		
戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板		
標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する 使用しない		
標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 アルミ製		
6 ステンレス製 建具	簡易気密(SAT)型ドアセット (16.5.2~5) ※ 使用する(適用箇所は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 使用しない	
外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 S-5		
表面処理 ※ HL 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ 角出し曲げ		
7 木製建具	かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 棧、鏡板は杉無節程度 (16.6.2~4) ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ふすま 在来型 チップ型	
⑧ 建具用金物	(16.7.2)(表16.7.1)	
金物の種類	型式 製造所	
モノロック		
本締り付きモノロック		
シリンダー箱錠		
シリンダー本締り錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	内蔵型	
ピボットヒンジ	JISによる	
レバーハンドル	ステンレス レバー長さ L=130程度 錠前類と同一製造所とする	
標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。		
マスターキーの作成	要 不要 (16.7.4) 不要(既存マスターキーで施錠可能とする)	

16 建 具 工 事	⑨ 自動ドア 開閉装置	性能 ○ スライディングドア (16.8.2)(表16.8.1.2) スイングドア
	センサーの種類	○ 光線式(反射)スイッチ (16.8.3)(表16.8.3) ○ マットスイッチ ○ タッチスイッチ ○ 補助センサー併用
	凍結防止装置	要 ※ 不要
	全半開装置	※ 設ける(半開幅=) ※ 設けない
	⑩ 重量シャッター	(16.10.2)(表16.10.1)
	種類	シャッター ケース 耐風圧性能 開閉方式 保護装置
	一般シャッター	※ 設ける 設けない 50 80 120 ※ 上部電動式(手動併用) ※ 上部電動式(手動併用) ※ 設ける 設けない
	⑪ 防火防煙 シャッター	※ 設ける (JIS A 4705による強さの区分) ※ 上部電動式(手動併用) ※ 障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける
	⑫ 防煙シャッター	
	⑪ 軽量シャッター	(16.11.2)(表16.11.1)
閉鎖形式	シャッター ケース 耐風圧性能 スラットの形状 保護装置	
※ 手動式	※ 設ける 設けない 50 65 80 ※ インター ロッキング型 ※ 障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設けない	
※ 上部電動式(手動併用)	(JIS A 4705による強さの区分) ※ オーバー ラッピング型	
⑫ オーバー ヘッドドア	(16.12.2)(16.12.3)	
材質	開閉方式 収納形式 耐風圧性能 ガイドレール	
※ スチール タイプ	※ バランス式 チューン式 電動式 ※ スタン ダード形 ロー ヘッド形 ハイ リフト形 パーチ カル形 50 75 100 125 ※ 溶融亜鉛 メッキ鋼板 ステンレス 鋼板	
⑬ ガラス	保護装置 障害物感知装置 ※ 設ける 設けない (16.13.2)(16.13.3) ※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。 ※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。	
合わせガラスの特性	I 類 II-1類 II-2類 III類	
強化ガラスの特性	I 類 ○ III類	
熱線吸収ガラス	性能 1類 2類 3類(U3-1 U3-2) 4類 5種 色調 ブルー グレー ブラウン	
⑭ 複層ガラス	性能 ○ 1種 2種 3種(U3-1 U3-2) 4種 5種 封止の加速耐久性による区分 I 類 II 類 ○ III類	
熱線反射ガラス	日射遮へい性 1種 2種 3種 耐久性 A種 B種 色調 ブルー グレー ブロンズ シルバー 反射皮膜 内側 外側 映像調整 行う 行わない	
ガラスの留め材	※ シーリング ガasket(可動アルミ建具に限る)	
防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。		
ガラスの溝幅については、標仕(表16.13.1)による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。		
JISによる区分 (16.13.5)	モジュール呼び寸法による区分(長さ×高さ) 厚さによる区分	
表面形状による区分	正方形 160×160 200×200 80 320×320 95 長方形 250×125 320×160 125	
品質等	ガラスの種類 柄 目地色 金属枠 耐火性能	
一般ガラス	無 有 白 グレー アルミニウム製(表面仕上) ステンレス製(表面仕上) 規定しない(分間)	
乳白ガラス		
カラーガラス		
熱線反射ガラス		
14 ガラスブロック (中空)		

17 カー テン ウ ォ ー ル の 性 能	カーテン ウォールの 性能 (17.1.3)(17.2.2)(表17.3.2)			
	カーテンウォール種別	メタルカーテンウォール PCカーテンウォール		
	材質			
	耐風圧性			
	耐震性			
	水密性			
	気密性			
	耐火性			
	耐温度差性			
	遮音性			
断熱性				
材質等性能の確認方法	シーリング材 構造ガasket			
ガラス				
断熱材料				
見込み				
表面仕上げ				
18 ① 一般事項	屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づく (18.1.3) 基材同等の認定のあるものとする。			
② 素地ごしらえ	各部の素地ごしらえ (18.2.2~7) 木部 ※ A種(不透明塗料塗り) ※ B種(透明塗料塗り) 鉄鋼面 A種 B種 ※ C種 亜鉛めっき鋼面 A種 ※ B種 C種 モルタル・プラスター面 A種 ※ B種 コンクリート・ALC面 ※ A種 B種 ボード面 ※ A種(継目処理工法) ※ B種(その他)			
③ 錆止め塗料塗り	塗料の種類 (18.3.2) 鉄鋼面 ※ A種(屋外) ※ B種(屋内) C種(標仕19節の場合) 亜鉛めっき面 ※ A種(鋼製建具) B種 C種(標仕19節の場合)			
④ 合成調合樹脂 ペイント塗り	塗料の種類 ※ 1種 2種 (18.4.2) 合成樹脂調合ペイント塗り (18.4.3~5) 鉄鋼面 A種 ※ B種			
5 クリア ラッカー塗り (GL)	木部のクリアラッカー塗り A種 ※ B種 (18.5.2)			
6 アクリル樹脂系 非分散系 塗料塗り(屋内 NAD)	アクリル樹脂非分散系塗料塗り (18.6.1) コンクリート・モルタル面 A種 ※ B種			
7 つや有り合成 樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (18.8.2) コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面 A種 ※ B種			
⑧ 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP)	合成樹脂エマルジョンペイント塗り (18.9.2) コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面 A種 ※ B種			
9 合成樹脂 エマルジョン 模様塗料塗り (EP-T)	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (18.10.2) コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面 A種 ※ B種 鉄鋼・亜鉛めっき鋼面 A種 ※ B種			
⑩ ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC)	木部のウレタン樹脂ワニス塗り A種 ※ B種 (18.11.2)			
11 フタル酸樹脂 エナメル塗り	フタル酸エナメル樹脂塗り (18.15.6) 木部 A種 ※ B種 鉄鋼・亜鉛めっき鋼面 A種 ※ B種			
12 アクリル樹脂 エナメル塗り (屋外)(AE)	アクリル樹脂エナメル塗り (18.15.6) コンクリート・モルタル面 A種 ※ B種			
19 ① ビニル床シート	(19.2.2)(19.2.3)			
種類(JIS A5705)	記号 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法			
※ 発泡層のないもの	※ NC ※ 無地 ※ 2.0 帯電防止 ※ 熱溶接 ※ マーブル 2.5 帯動荷重 突付け			
発泡層のあるもの				
JIS A5705を満たす材料で、表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの				
種類の記号	色柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法			
NC又はNF	※ 木目調 ※ 2.0 帯電防止 ※ 熱溶接 ※ 石目調 2.5 帯動荷重 突付け			
上記以外はすべてビニル床シートに同じ				
③ ビニル床タイル	(19.2.2)(19.2.3)			
種類(JIS A5705)	記号 寸法 厚さ(mm) 特殊機能			
※ コンポジション ビニル床タイル	※ CT(半硬質) ※ 300×300 ※ 2.0 帯電防止 ※ CTS(軟質) 帯動荷重			
○ ホモジニアス ビニル床タイル	HT 300×300 ○ 2.0 帯電防止 450×450 2.0,4.5 帯動荷重			

19 内 装 工 事	④ ビニル床 シート、ビニル 床タイルの 特殊機能	帯電防止 帯電防止性能評価(JIS A1445)1.2~3.1程度 又は耐電圧(JIS L1023)3KV以下 帯電防止性能評価(JIS A1445)3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値(JIS A1454)0.1×1.010オーム未満 帯電防止性能評価(JIS A1445)5.2以上 又は漏えい抵抗値(JIS A1454)0.1×107オーム未満
	5 視覚障害者用 床タイル	耐動加重 JIS A1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離 強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスト性試験等の 試験後異常がないこと (19.2.2)
	⑥ ビニル巾木	材質 寸法(mm) 塩化ビニル系 磁器質タイル系 300×300
	7 カーペット敷き	※ タフテッドカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)
	8 フローリング 張り	単層フローリング (19.5.2~3)(19.5.5~7)(表19.5.3~4)
	9 畳敷き	畳の種類 A種 B種 ※ C種 D種 (19.6.2)(表19.6.1)
	⑩ 石こうボード その他ボード 及び合板張り	(19.7.2)(19.7.3)(表19.7.1)
	11 遮音シール材	遮音シール材 ※ ジョイントコンパウンド (19.7.2)
	種類又は記号	種別など 厚さ(mm) 規格番号
	けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板) 0.8FK又は1.0FK	壁 8(不燃) 10(不燃) 12(不燃) 天井 6(不燃) 12(不燃)
グラスウール 吸音ボード (吸音材料)DW-B	ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 顔線張り品 25(不燃)	JIS A 6301 (32K)
ロックウール 化粧吸音板 (吸音材料)DR	※ 内部用 軒天用 普通 ※ 9(不燃) 12(不燃) 立体 模様 15(不燃) 19(不燃)	JIS A 6301
せっこうボード (せっこうボード製品) GB-R	壁 ○ 9.5(準不燃) 12.5(不燃) 天井 ○ 9.5(準不燃) 12.5(不燃)	JIS A 6901
シーリング せっこうボード (せっこうボード製品) GB-S	壁 ○ 12.5(不燃) 天井 ○ 9.5(準不燃) ※ 12.5(準不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード (せっこうボード製品) GB-NC	トラバーチン 模様 ※ 白 黄 ○ 9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード (せっこうボード製品) GB-D	木目模様 壁 9.5(準不燃) ※ 12.5(不燃) 天井 9.5(準不燃) ※ 12.5(不燃) 特殊模様	JIS A 6901
せっこうボード吸音板	壁 ○ 9.5(不燃)	
せっこうボードの目地処理	継目処理工法 ○ 突き付け目地工法 突き付け工法 目透し工法	

○ 工事名称・その他

工事名称	エディウイン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事			建築主 住所氏名	鳴門市公営企業管理者 企業局長 近藤 伸幸		
建物用途	主用途	建築：遊技場 消防：船券売場 (4項)	従用途		徳島県鳴門市撫養町大桑島字浄岩浜48-1		
建築場所	(住居表示) (地名・地番) 徳島県鳴門市撫養町大桑島字浄岩浜48-30、48-31、48-35、48-62、48-64、48-67						
工事種別	新築・増築・別棟増築・改築・改修(大規模の修繕)・用途変更・大規模の模様替・移転・仮設建築・解体						
区域の指定	都市計画区域内(市街化区域・市街化調整区域・未編入区域)・都市計画区域外						
用途地域の指定	第 種 低層住専・第 種 中高層住専・第 1 種住居・第 2 種住居・準住居・近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用・指定なし						
防火地域の指定	防火・準防火・法第22条の指定地域・指定なし		その他の地域地区の指定		-		
建蔽率・容積率	建蔽率(指定)	60 %	容積率(指定)	200 %	日影規制	有り (5Mライン 時間 10Mライン 時間 H=M) ・ 無し	
特殊設計	総合設計・一団地設計・建基法48条・特定街区・開発申請・地下街との接続・その他()						
工期	着工	令和 6 年 5 月 10 日 予定	竣工	令和 6 年 12 月 7 日 予定	全体工期	7 か月予定	
敷地	前面道路幅員	南側 15m	測量年月日	令和 年 月 日	測量者氏名	-	
	接道長さ	84.749m	地中埋設物	有 無 未調査	標高		

○ 構造・規模

構造	SRC・RC (S) CB・W	耐火・準耐火(イ)	階数	(地下 0) (地上 1) (棟屋 0)
くい地業	有・無 深層地盤改良杭	準耐火(ロ-1・ロ-2)・その他		

○ 各部の高さ

最高の高さ	6.938 m	最高の軒の高さ	6.288 m
塔屋の高さ	m	居室の床の高さ	m

○ 面積

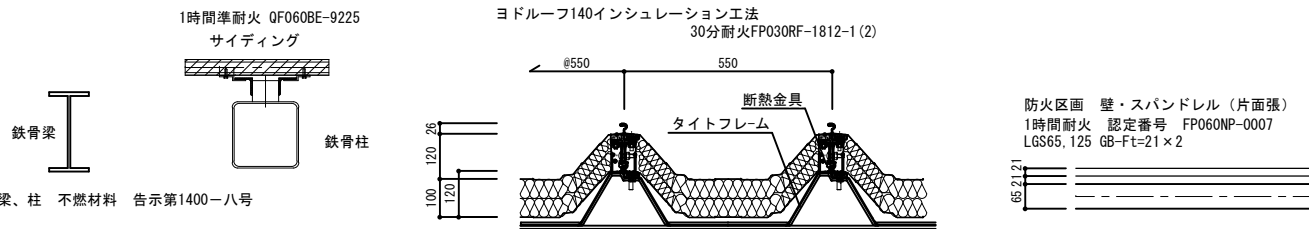
	法定面積		
	申請部分	申請以外の部分	合計
敷地面積	11,016.53 m ²		11,016.53 m ²
建築面積	287.56 m ²	2,422.58 m ²	2,710.14 m ²
延床面積	285.56 m ²	2,341.51 m ²	2,627.07 m ²
自動車庫等の部分	32.43 m ²	0 m ²	32.43 m ²
共同住宅共用廊下等	m ²	m ²	m ²
その他容積除外部分	m ²	m ²	m ²
容積対象延床面積	253.13 m ²	2,341.51 m ²	2,594.64 m ²
建ぺい率	24.60 % ≤	60 % OK	
容積率	23.55 % ≤	200 % OK	

○ その他

適用法令・条例・要綱等	用途
・ 建築基準法	遊技場
・ 消防法	船券売場

ロー2 準耐火建築材料リスト

柱、梁	鉄骨	不燃材料 告示第1400一八号
屋根	ガルバリウムフッ素鋼板 W折板 t=0.8	準耐火構造 FP030RF-1812-1 (2)
外壁	サイディング	準耐火構造 QF060BE-9225



※設計図が現況と異なる場合は現況を優先すること。特に壁、天井の位置・高さ・仕上げ等現場確認を要す。

※改修範囲内のお客様に見える範囲は設計図に記載がなくとも全て表層は改修すること。

○ 外 部 仕 上

項目	個所	仕上・仕様
増 築 棟	屋根	上弦材 ガルバリウム鋼板t=0.8の上にフッ素樹脂焼付塗装ガルバリウム鋼板 下弦材 ガルバリウム鋼板 丸駄折板 t=0.8 H=120 W折板 (断熱工法)
		断熱材：グラスウールt=100 (10kg/m ³)
	外壁	サイディング t=16 (鋼線C-125×50×20×2.3の上、耐水PB t=12.5通気シート+通気金物+サイディング (防火構造))
		室内側の被覆は不燃PB t=12.5
	腰壁	コンクリート化粧打ち出し (海側) 50角モザイクタイル貼り (ファン見え掛かり範囲)
	建具	アルミサッシ 二次電解着色 (一部防火設備：EB-9205)
		スチールサッシ 防錆塗装の上SOP
	庇	シート防水t=1.5、耐火野地板t=25、母屋φ750
	軒裏	アルミパネル張り
	棟	樋
縦樋 カラーVU 150φ、つかみ金物		
見切縁		アルミ既製品
水切		アルミ既製品、フッ素焼付ガルバリウム鋼板t=0.8
EXPJ	アルミ製	
A 棟	スロープ	床 600角ノンスリップ磁器タイル貼り、立上り50角貼り
		手摺 ステンレス製
B 棟	建具	排煙窓新設
	外壁	既存外壁の上にサイディング張りt=16 (木製タテ鋼線下地@450)
	建具廻り	アルミ額縁t=2.0 曲げ加工
棟	外壁改修 パラベット笠木 、巾木廻り	フッ素ガルバリウム鋼板t=0.8水切り

○ 外 構

項目	仕上・仕様
駐輪場	土間コンクリート舗装 屋根：アルミ複合樹脂 VFCM-F4161 (四国化成同等品以上) ・ 目隠しアルミルーバー□-30×60@60 H=1,800
駐車場	アスファルト舗装(既存利用)、白線引きW=100 建物コーナー ガード独立ボールステンレス製 H=800 165φア3
設備スペース、 現金輸送車庫前	コンクリートべた基礎 囲障：メッシュフェンス、門扉、勝手口
外部喫煙所	土間コンクリートの上、タイル貼 目隠しフェンス：アルミ押出型材 H=1,800 GTF5-2020 (四国化成同等品以上) 庇：カラーガルバリウム鋼板t=0.6
ピロティ	土間コンクリート舗装 屋根 ガルバリウム鋼板 t=0.8 H=120 ダブル折板

○ その他の工事区分

種別	区分	備考	種別	区分	備考	種別	区分	備考	種別	区分	備考
付属備品			エアコン	○		付属建物			障害物撤去		
可動家具	○		照明器具	○		危険物庫	—		在来基礎撤去	○	
固定椅子	○		点字ブロック	○		駐車場上屋	—		埋設物撤去	○	
什器	×		機械警備用空配管	×		駐輪場上屋	○				
カーテン	×					タワーパーキング	—				
ブラインド	×					物置	—				
玄関マット	×					受水槽上屋	—		移設工事		
敷物	×					ゴミ置場	—		在来建物移設	—	
郵便受	×								工作物移設	—	
旗	—								樹木移設	—	
社名板・表札	—					特殊施設					
各種表示板・文字	○		機械駐車装置	—					敷地造成関連		
黒板・掲示板	○		自転車ラック	—		敷地造成	—		埋設物移設	—	
基礎板	—					擁壁	—		空調機器移設	○	設備工事
消火器	○	建築工事				護岸	—				
宅配ボックス	—		看板・広告板	○					解体工事その他		
オートロック	×					雨水・排水	○	GL以下は設備工事	工作物解体	○	
インターホン	×		広告塔・鉄塔	×		道	—		電波障害対策	—	
物干	—		避難器具	×		樹木伐採	—		埋蔵文化財調査	—	
TV端子	×		トレンチ	—		植樹造園	—				
浄化槽	—					防火水槽	—				
						歩道整備	—				

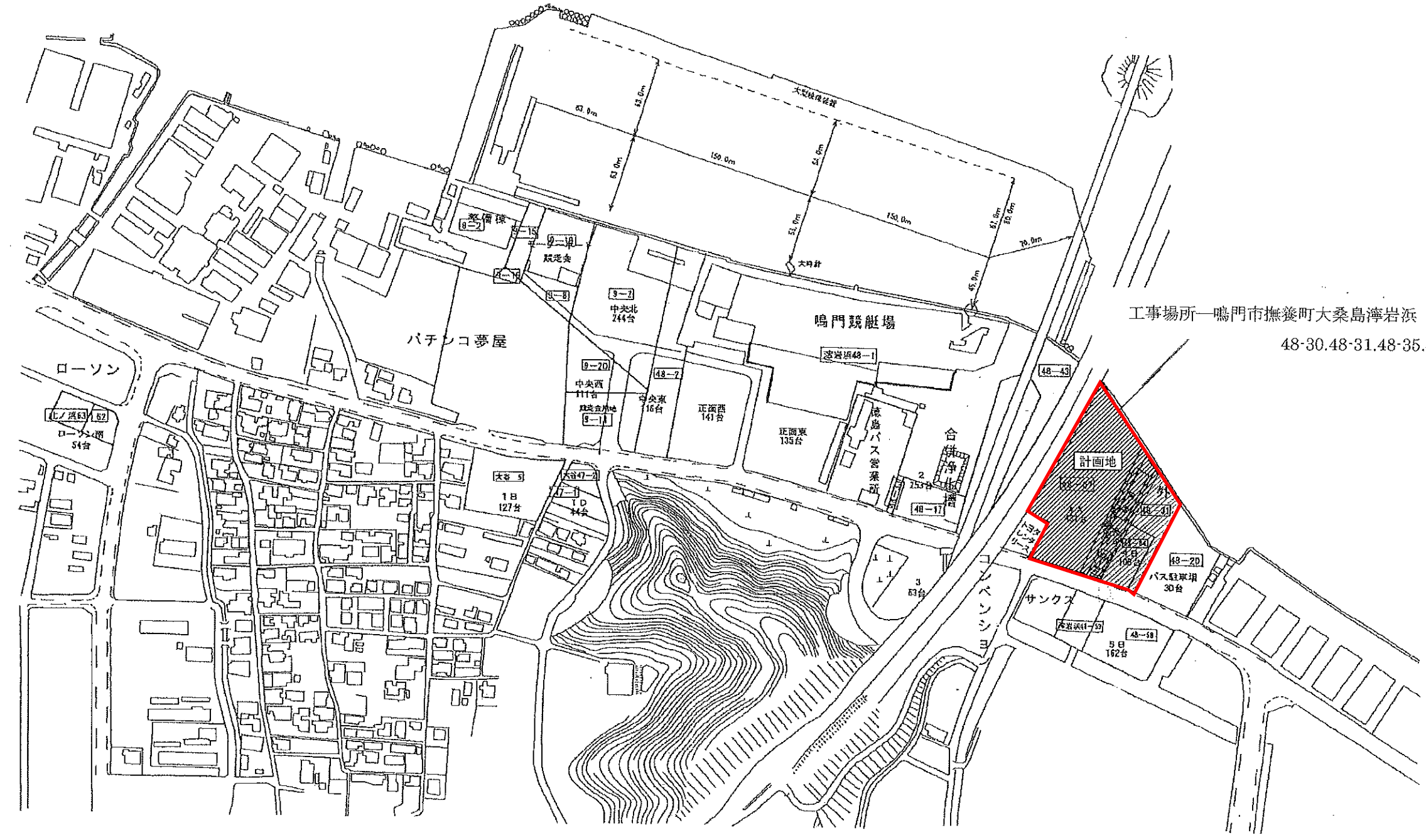
工事区分分けが必要な場合、施工区分欄に本工事の建築工事の場合は「建」欄に、本工事の設備工事の場合は「設」欄に、別途工事の場合は「別」欄に ○ を記入し、

該当しない項目には — を記入する。

訂正	年月日		鳴門市企業局ポートルース事業課	備考 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大畑登穂第164276号 中野 和敏 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認	発行	工事名称 エディウイン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO 図面名称 設計概要・外部仕上表	図面NO 整理NO A-004
----	-----	--	-----------------	--	---	----------	----	-------------------------------------	----------------------------	-----------------------

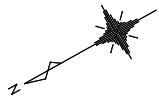


鳴門市競艇場全体図

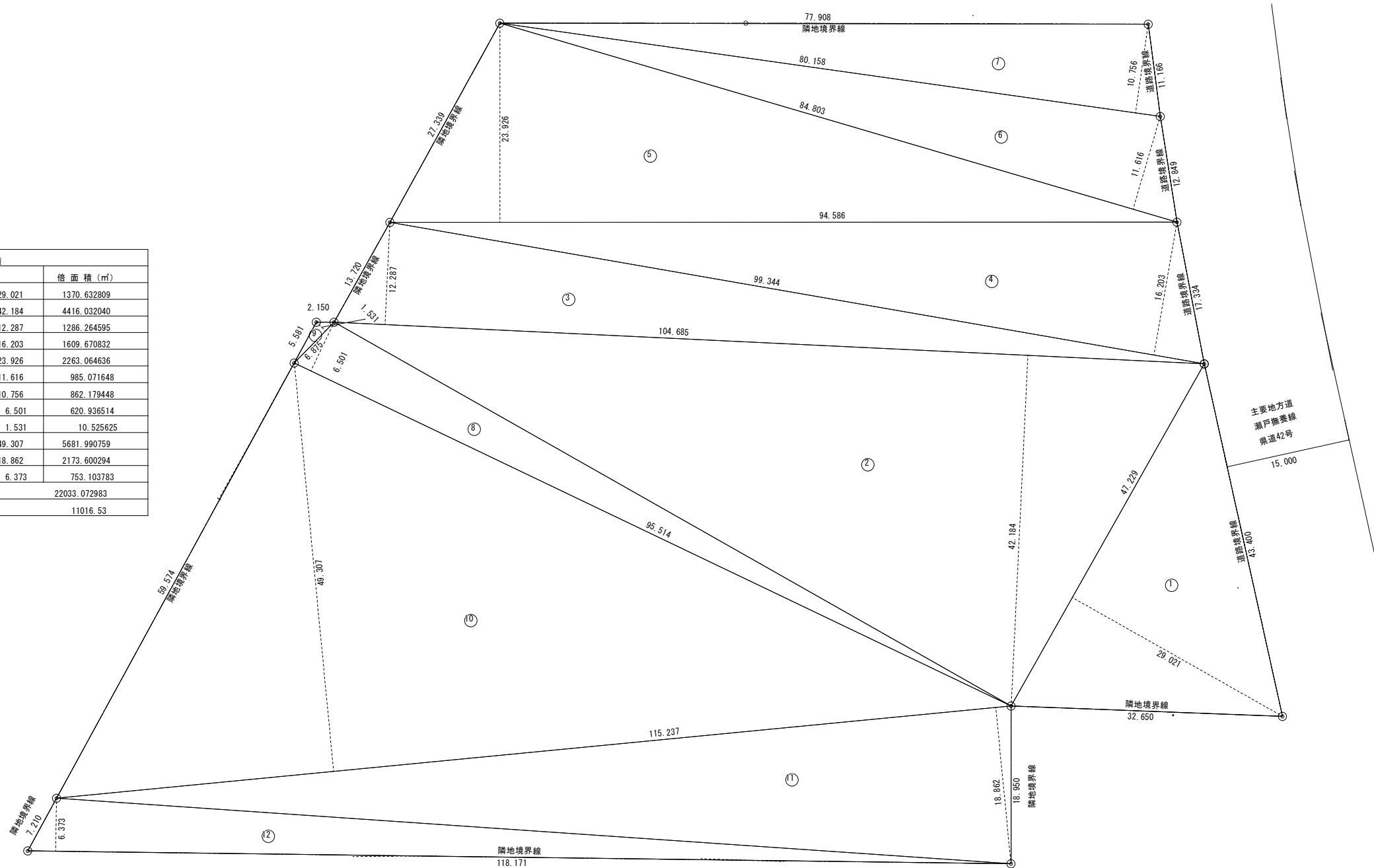


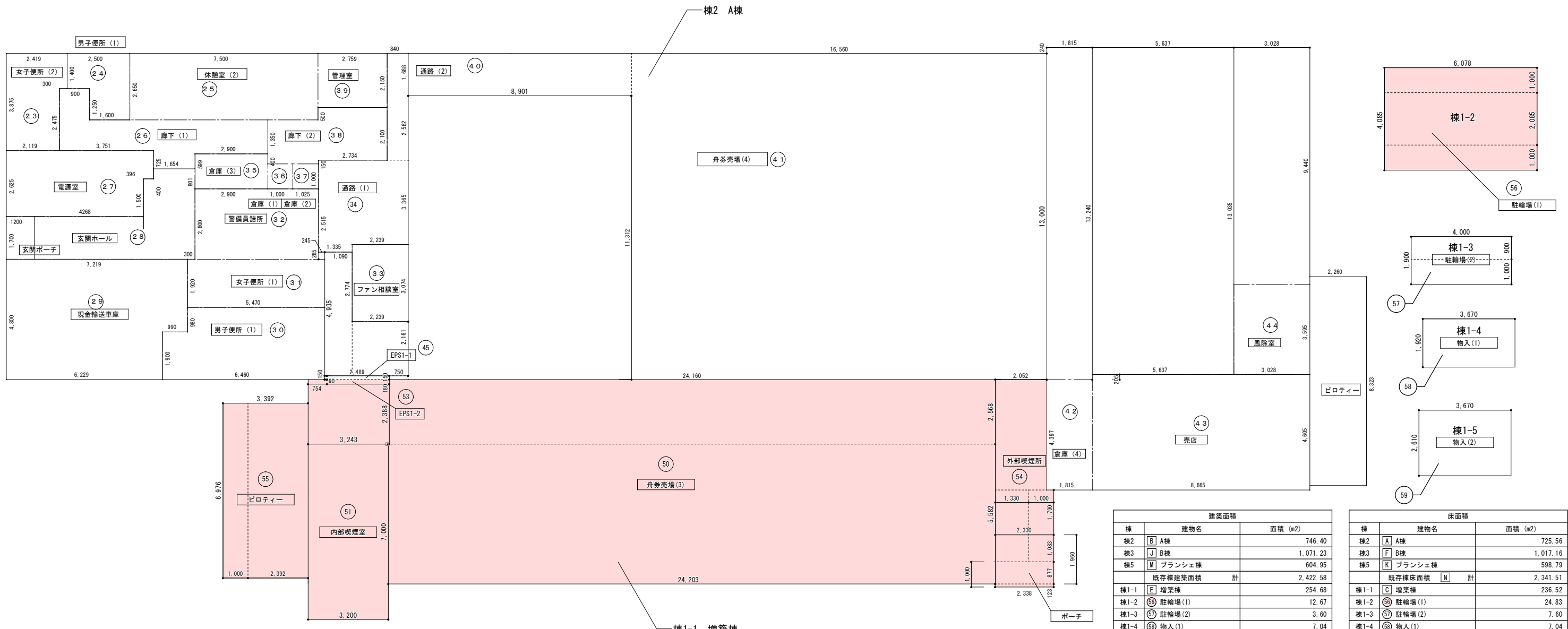
工事場所—鳴門市撫養町大桑島湾岩浜
48-30.48-31.48-35.48-62.48-64.48.67

訂正	鳴門市企業局ボートレース事業課			株式会社サデザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大庭登良 164276号 中野 知哉 〒761-8501 徳島県鳴門市大桑島1-14-6 ロータスビル3F TEL:091-3926-8284 FAX:091-3926-8289		作成	原簿	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	図面No.	実地No.
	発行	図名 附近見取図	図尺	図面No.	A-005					



敷地面積			
	底辺 (m)	高さ (m)	倍面積 (㎡)
①	47.229	29.021	1370.632809
②	104.685	42.184	4416.032040
③	104.685	12.287	1286.264595
④	99.344	16.203	1609.670832
⑤	94.586	23.926	2263.064636
⑥	84.803	11.616	985.071648
⑦	80.158	10.756	862.179448
⑧	95.514	6.501	620.936514
⑨	6.875	1.531	10.525625
⑩	115.237	49.307	5681.990759
⑪	115.237	18.862	2173.600294
⑫	118.171	6.373	753.103783
倍面積 計			22033.072983
敷地面積 (㎡)			11016.53





建築面積		
棟	建物名	面積 (m ²)
棟2	B A棟	746.40
棟3	J B棟	1,071.23
棟5	M プランシェ棟	604.95
既存棟建築面積		計 2,422.58
棟1-1	E 増築棟	254.68
棟1-2	56 駐輪場(1)	12.67
棟1-3	57 駐輪場(2)	3.60
棟1-4	58 物入(1)	7.04
棟1-5	59 物入(2)	9.57
増築棟建築面積		計 287.56
合計		2,710.14

床面積		
棟	建物名	面積 (m ²)
棟2	A A棟	725.56
棟3	F B棟	1,017.16
棟5	K プランシェ棟	598.79
既存棟床面積		計 2,341.51
棟1-1	C 増築棟	236.52
棟1-2	56 駐輪場(1)	24.83
棟1-3	57 駐輪場(2)	7.60
棟1-4	58 物入(1)	7.04
棟1-5	59 物入(2)	9.57
増築棟床面積		計 285.56
[N] + [L] 合計		2,627.07

部屋名	辺長 m	面積 m ²
23 女子便所(2)	2.419, 1.400	3.386
24 男子便所(2)	2.119, 1.400	2.966
25 休憩室	1.600, 1.250	2.000
26 廊下(1)	7.500, 2.650	19.875
27 電源室	2.119, 1.400	2.966
28 玄関ホール	1.600, 1.250	2.000
29 現金輸送車庫	6.229, 1.900	11.835
30 男子便所(1)	7.219, 2.900	20.935
31 女子便所(1)	6.460, 1.900	12.274
32 警備員詰所	5.470, 0.980	5.360
33 ファン相談室	5.470, 1.920	10.502
34 通路(1)	4.925, 2.800	13.790
35 倉庫(3)	0.245, 0.285	0.069
36 倉庫(1)	2.239, 3.074	6.882
37 倉庫(2)	1.335, 3.665	4.892
38 倉庫(3)	2.239, 3.365	7.534
39 倉庫(4)	0.84, 4.250	3.570
40 倉庫(5)	2.900, 1.400	4.060
41 倉庫(6)	1.000, 1.000	1.000

部屋名	辺長 m	面積 m ²
50 舟券売場(3)	2.568, 24.160	62.043
51 内部喫煙室	5.582, 24.203	135.101
52 欠番	2.388, 3.243	7.744
53 EPS1-2	2.489, 0.180	0.448
54 外部喫煙所	4.397, 2.052	9.022
55 外部喫煙所	2.330, 1.790	4.170
床面積		計 240.928
建築面積		ピロティー 6.976*2.392=16.686
外部喫煙所		1.330*1.083=1.440
合計		18.126
合計		254.68
床面積		計 725.560
建築面積		計 746.400

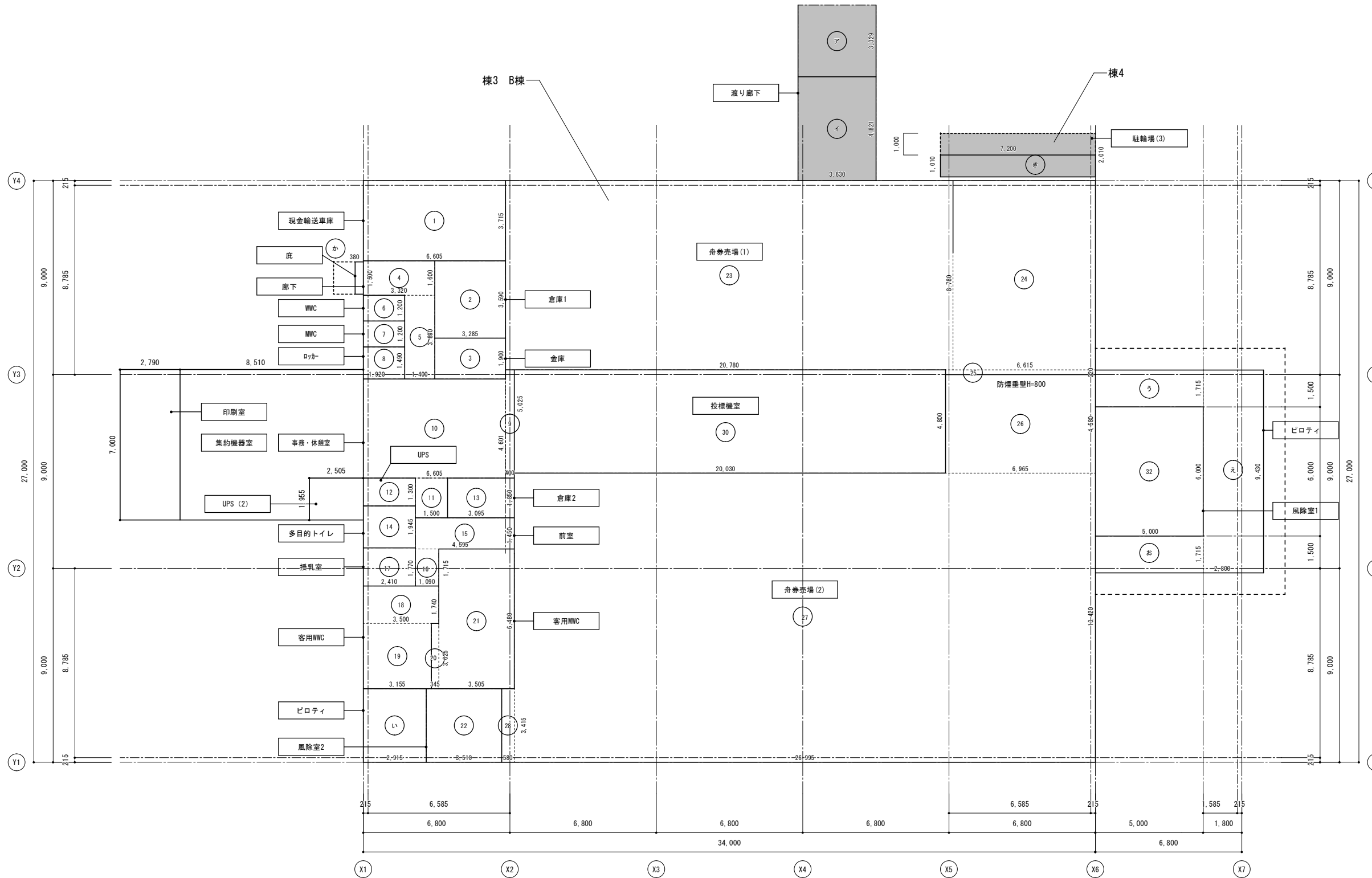
部屋名	辺長 (m)	面積 (m ²)
56 駐輪場(1)	4.085, 6.078	24.829
床面積	合計	24.83
建築面積	合計	12.673

部屋名	辺長 (m)	面積 (m ²)
57 駐輪場(2)	1.900, 4.000	7.600
床面積	合計	7.60
建築面積	合計	3.600

部屋名	辺長 (m)	面積 (m ²)
58 物入(1)	1.920, 3.670	7.046
床面積	合計	7.04
建築面積	合計	7.046

部屋名	辺長 (m)	面積 (m ²)
59 物入(2)	2.610, 3.670	9.578
床面積	合計	9.57
建築面積	合計	9.578

増築範囲を示す。

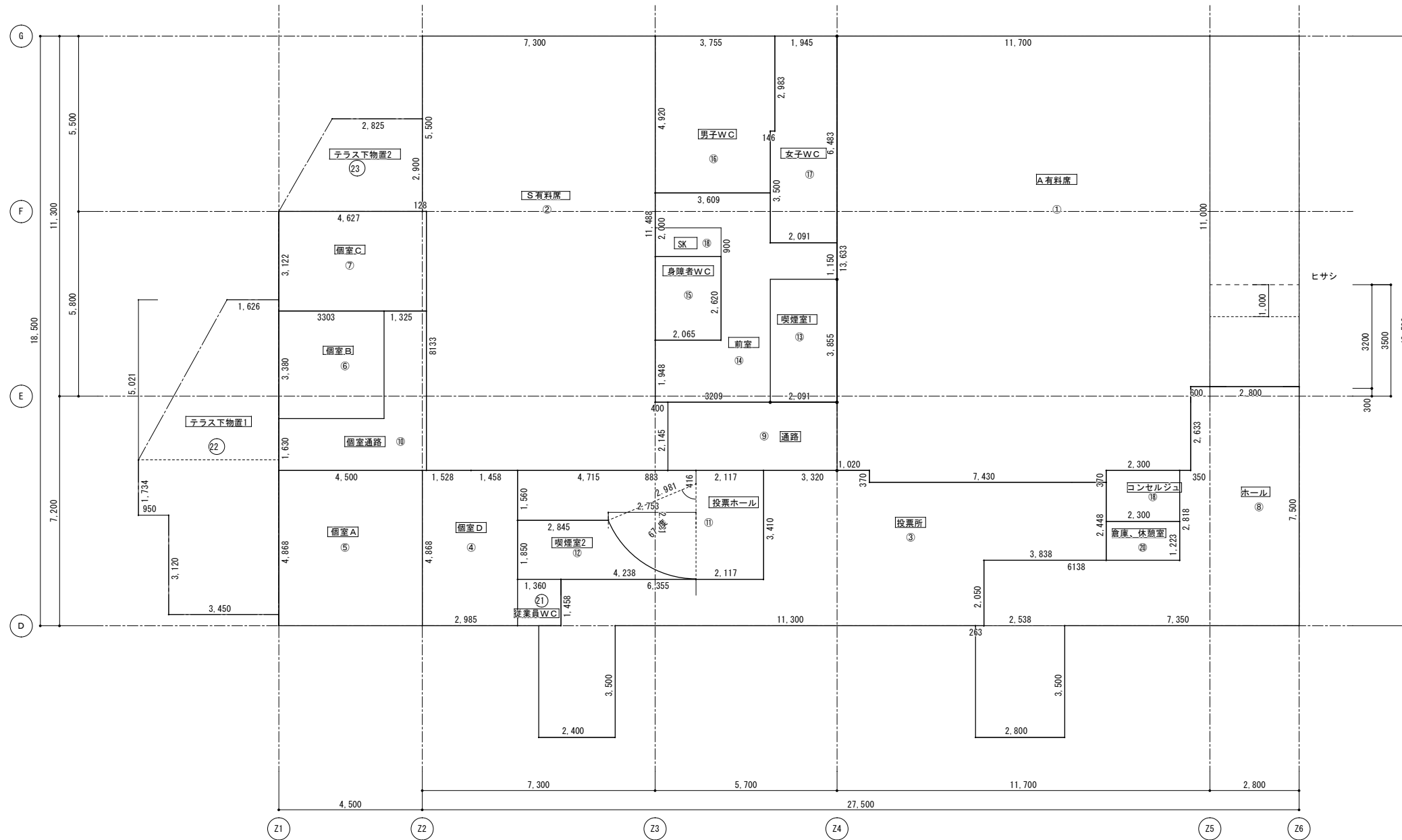


棟3 B棟面積表			
部屋名	辺長 (m)		面積 (m ²)
① 現金輸送車庫	6.605	3.715	24.538
② 倉庫1	3.285	3.590	11.793
③ 倉庫	3.285	1.900	6.242
④ 廊下	3.320	1.600	5.312
⑤ 廊下	1.400	3.890	5.446
⑥ WWC	1.920	1.200	2.304
⑦ WWC	1.920	1.200	2.304
⑧ ロッカー	1.920	1.490	2.861
⑨	0.400	5.025	2.010
⑩ 事務・休憩室	6.605	4.601	30.390
⑪	1.500	1.850	2.775
⑫	欠番		35.175
⑬ UPS	2.410	1.300	3.133
⑭ 倉庫2	3.095	1.850	5.726
⑮ 多目的トイレ	2.410	1.945	4.687
⑯ WWC前室	4.595	1.450	6.663
⑰ 授乳室	1.090	1.715	1.869
⑱ 授乳室	2.410	1.770	4.266
⑲ 客用WWC	3.500	1.740	6.090
⑳ 客用WWC	3.155	3.025	9.544
㉑ 客用WWC	0.345	3.025	1.044
㉒ 客用WWC	3.505	6.480	22.712
㉓ 風除室2	3.510	3.415	11.987
㉔	20.780	8.780	182.448
㉕ 舟券売場(1)	6.615	8.780	58.083
㉖	6.965	0.220	1.53
㉗	6.965	4.580	31.900
㉘ 舟券売場(2)	26.995	13.420	362.273
㉙	0.580	3.415	1.981
㉚ 投票機室	20.030	4.800	96.144
㉛	欠番		
㉜ 風除室1	5.000	6.000	30.000
㉝ 集約機器室	8.510	7.000	59.570
㉞ 印刷室	2.790	7.000	19.530
㉟ UPS(2)	2.505	1.955	4.897
㊱ 床面積 計 ①~㉚			1,017.16
㊲ 渡り廊下	3.630	3.329	12.084
㊳ 渡り廊下	3.630	4.821	17.500
㊴ 撤去面積 計 ㊲・㊳			29.58
㊵	欠番		
㊶ ビロティ	2.915	3.415	9.954
㊷ ビロティ	5.000	1.715	8.575
㊸ ビロティ	2.800	9.430	26.404
㊹ ビロティ	5.000	1.715	8.575
㊺ 庇	1.500	0.380	0.570
㊻	欠番		
㊼	欠番		
㊽	欠番		
㊾	欠番		
㊿	欠番		
Ⅱ 計			54.07
Ⅲ 建築面積 合計	Ⅱ + ㊵ + ㊶ + ㊷ + ㊸ + ㊹ + ㊺		1,071.23

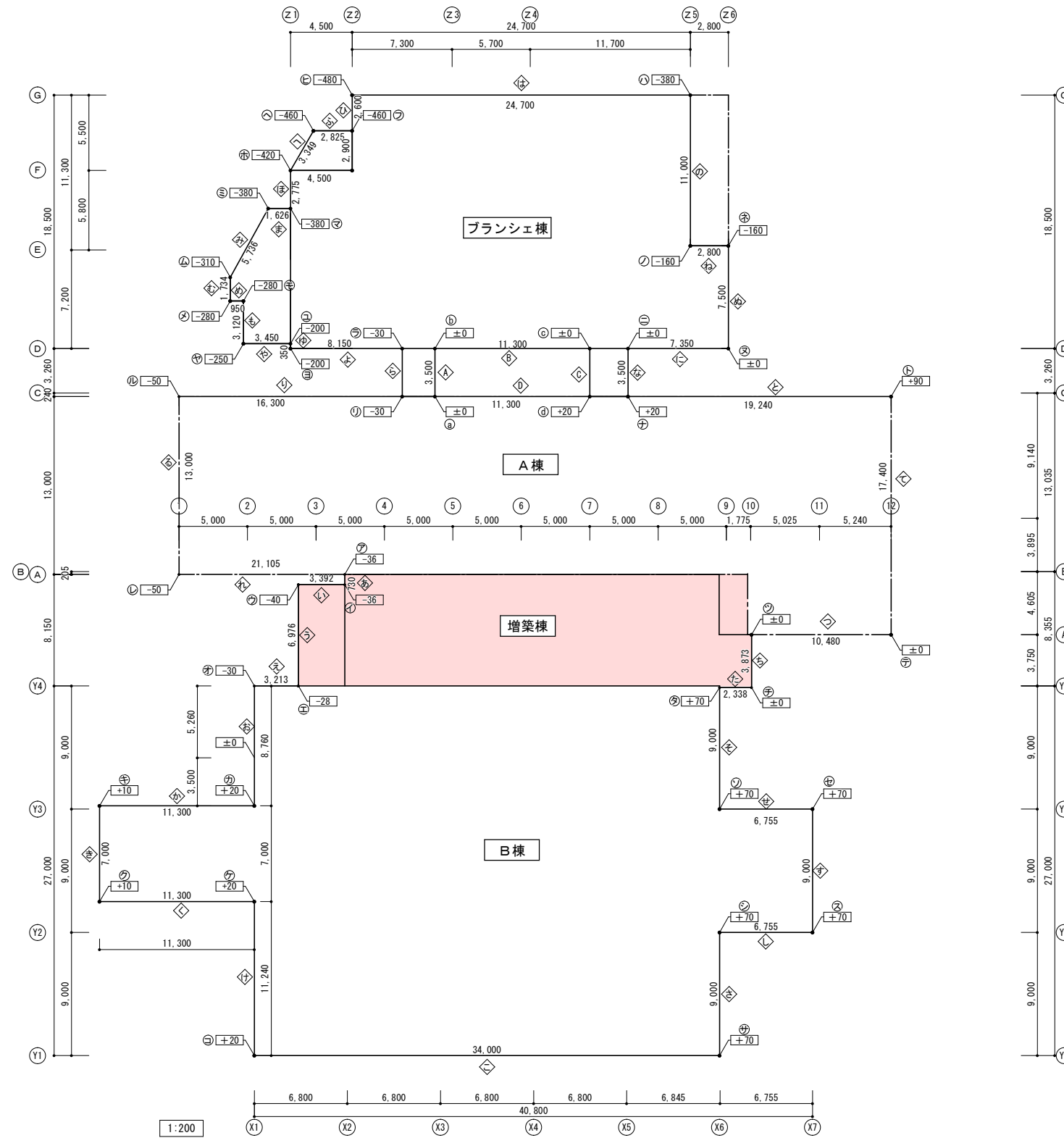
棟4 駐輪場(3)面積表			
部屋名	辺長 (m)		面積 (m ²)
㊿ 駐輪場(3)	7.200	2.010	14.472
床面積 合計			14.47
建築面積 合計			7.27

撤去面積			
式	面積 (m ²)		
Ⅱ + ㊵	合計		44.05

撤去床面積 (既存面積から減する)



棟5 プランシエ様面積積算表				
部屋名	辺長 m		面積 m ²	
① A有料席	0.600	11.000	6.600	160.671
	2.650	13.632	36.124	
	7.430	14.003	104.042	
② S有料席	1.020	13.633	13.905	99.337
	7.300	5.500	40.150	
	7.172	8.133	58.392	
③ 投票所	0.400	2.145	0.858	59.377
	3.838	2.448	9.395	
	3.592	4.498	16.156	
	3.320	4.868	16.161	
	6.355	1.458	9.265	
④ 個室D	2.400	3.500	8.400	14.530
	2.985	4.868	14.530	
⑤ 個室A	4.500	4.868	21.906	21.906
⑥ 個室B	3.302	3.380	11.160	11.160
⑦ 個室C	4.628	3.122	14.448	14.448
⑧ ホール	3.400	2.633	8.952	49.589
	3.750	2.818	10.567	
	9.888	2.050	20.270	
	2.800	3.500	9.800	
	2.800	3.500	9.800	
⑨ 通路	5.300	2.145	11.368	11.368
⑩ 個室通路	4.628	1.630	7.543	12.021
	1.325	3.380	4.478	
⑪ 投票ホール	2.117	3.410	7.218	19.568
	2.981+2.981+3.14+67/360		5.193	
	0.416+1.560+2.753+0.5		2.919	
⑫ 喫煙室2	2.845	1.560	4.438	6.740
⑬ 喫煙室1	3.410*7.715-19.568		6.740	8.060
⑭ 前室	2.091	3.855	8.060	18.841
	3.609	1.948	7.030	
	1.545	3.52	5.438	
⑮ 身障者WC	2.091	1.150	2.404	5.410
	3.609	1.10	3.969	
	2.065	2.620	5.410	
⑯ 男子WC	3.609	4.920	17.756	18.191
⑰ 女子WC	0.146	2.983	0.435	7.318
⑱ コンセルジュ	2.091	3.500	7.318	3.668
	1.945	2.983	5.801	
⑲ SK	2.300	1.595	3.668	1.858
⑳ 倉庫・休憩室	2.065	0.90	1.858	2.812
㉑ 従業員WC	2.300	1.223	2.812	1.982
㉒ テラス下物置1	1.360	1.458	1.982	33.521
	1.626+4.400+5.021+0.5		15.128	
㉓ テラス下物置2	3.450	4.854	16.746	10.621
	0.95	1.734	1.647	
合計				598.798
床面積				598.79
建築面積				604.95
598.79+2.2*2.8				604.95
合計				604.95



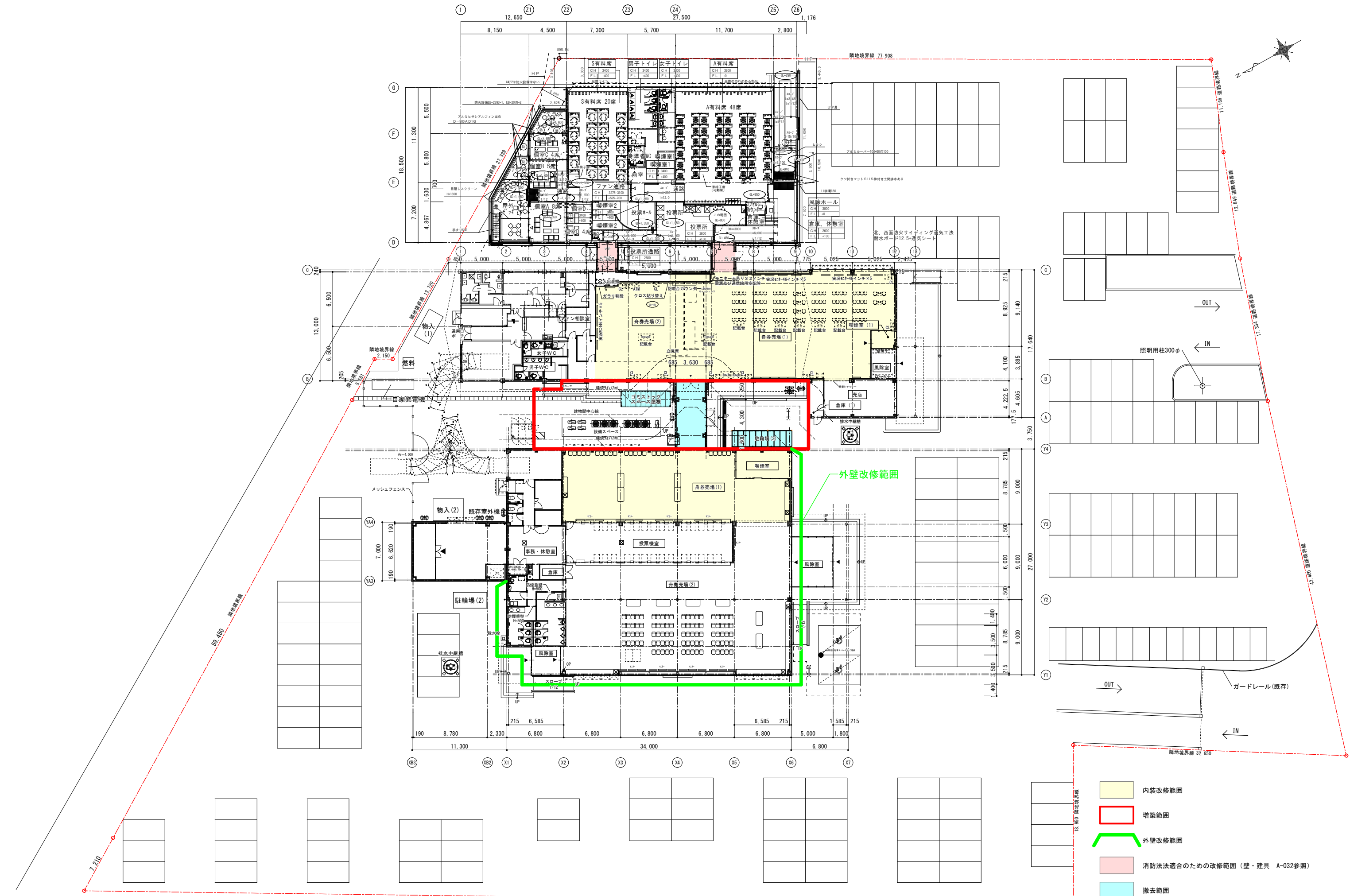
平均地盤算定表		
符号	計算式	計
あ	-0.036×0.73	-0.0262 m ²
い	$(-0.036 + -0.04) \times 3.392 \div 2$	-0.1280 m ²
う	$(-0.04 + -0.028) \times 6.976 \div 2$	-0.2371 m ²
え	$(-0.028 + -0.03) \times 3.213 \div 2$	-0.0931 m ²
お	$(3.5 \times 0.02 \div 2) + (5.26 \times -0.03 \div 2)$	-0.0439 m ²
か	$(0.01 \times 0.020) \times 11.300 \div 2$	0.1695 m ²
き	7.000×0.01	0.0700 m ²
く	$(0.01 + 0.02) \times 11.300 \div 2$	0.1695 m ²
け	11.420×0.02	0.2248 m ²
こ	$(0.02 + 0.07) \times 34.000 \div 2$	1.5300 m ²
さ	9.000×0.07	0.6300 m ²
し	6.755×0.07	0.4728 m ²
す	9.000×0.07	0.6300 m ²
せ	6.755×0.07	0.4728 m ²
そ	9.000×0.07	0.6300 m ²
た	$2.338 \times 0.07 \div 2$	0.0818 m ²
ち	3.873×0	0 m ²
つ	10.480×0	0 m ²
て	$17.400 \times 0.09 \div 2$	0.7830 m ²
と	$19.240 \times 0.09 \div 2$	0.8658 m ²
な	$3.500 \times 0.02 \div 2$	0.0350 m ²
に	7.350×0	0 m ²
ぬ	7.500×-0.16	-0.6000 m ²
ね	2.800×-0.16	-0.4480 m ²
の	$(-0.16 + -0.380) \times 11.000 \div 2$	-2.9700 m ²
ほ	$(-0.38 + -0.48) \times 24.700 \div 2$	-10.621 m ²
ひ	$(-0.48 + -0.46) \times 2.600 \div 2$	-1.2220 m ²
ふ	2.825×-0.46	-1.2995 m ²
へ	$(-0.46 + -0.42) \times 3.349 \div 2$	-1.4735 m ²
ほ	$(-0.42 + -0.38) \times 2.775 \div 2$	-1.1100 m ²
ま	1.626×-0.38	-0.6178 m ²
み	$(-0.38 + -0.31) \times 5.736 \div 2$	-1.9789 m ²
む	$(-0.31 + -0.28) \times 1.734 \div 2$	-0.5115 m ²
め	0.95×-0.28	-0.2660 m ²
も	$(-0.28 + -0.25) \times 3.12 \div 2$	-0.8268 m ²
や	$(-0.25 + -0.2) \times 3.45 \div 2$	-0.7762 m ²
ゆ	0.35×-0.2	-0.0700 m ²
よ	$(-0.2 + -0.03) \times 8.15 \div 2$	-0.9372 m ²
ら	3.5×-0.03	-0.1050 m ²
り	$16.300 \times -0.05 \div 2$	-0.4075 m ²
る	13.000×-0.05	-0.6500 m ²
れ	$(-0.05 + -0.036) \times 21.105 \div 2$	-0.9075 m ²
ア	3.5×0	0 m ²
イ	11.3×0	0 m ²
ウ	$3.5 \times 0.02 \div 2$	0.035 m ²
エ	11.3×0	0 m ²
合計		-21.526 m ²
建物周長		368.772 m
		$-21.526 \text{ m}^2 \div 368.772 \text{ m} = -0.058 \text{ m}$
		平均GL=設計GL-58mm=1FL-508mm

凡例
 *** の数値は設計GLからのレベルとする

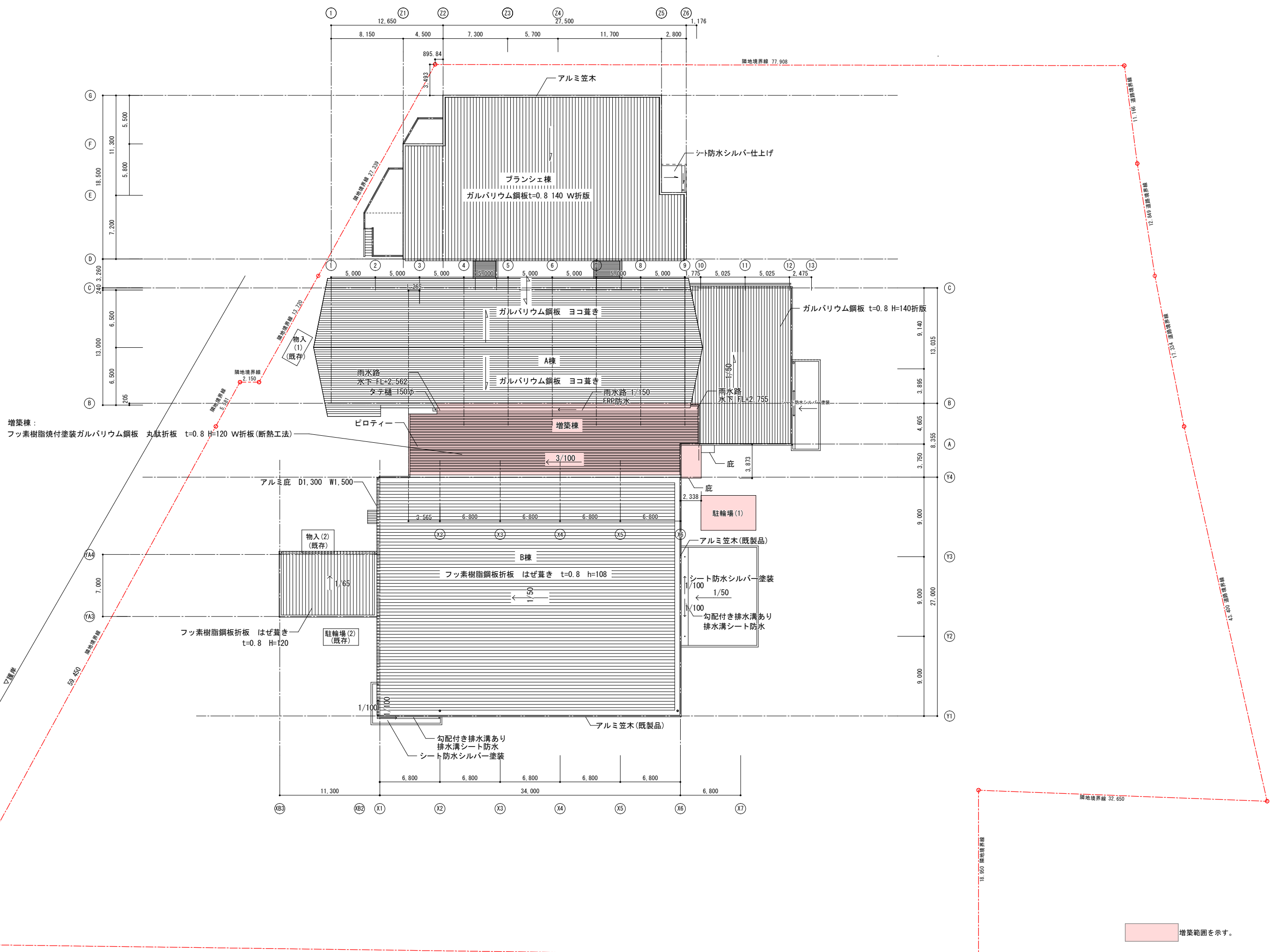
増築範囲を示す。

訂正	年月日	内容	鳴門市企業局ポートレース事業課	備考 ※諸官庁指図書等により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大庭登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 平均地盤算定図 縮尺 A1 1:200 A3 1:400	設計NO 整理NO	図面NO A-010
----	-----	----	-----------------	--	---	-------------	--	--------------	---------------

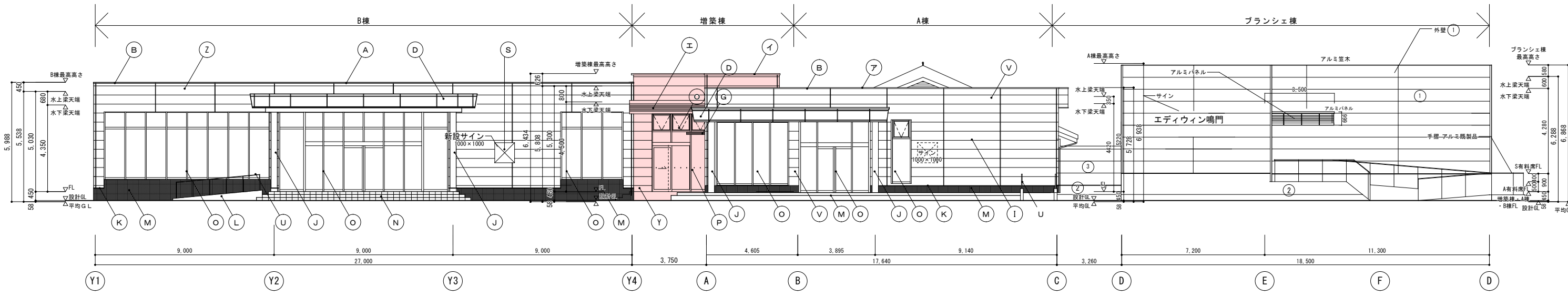
工種	工事内容	本工事	別途工事			工種	工事内容	本工事	別途工事			工種	工事内容	本工事	別途工事				
			投票	映像、音響 成績、通信	その他				投票	映像、音響 成績、通信	その他				投票	映像、音響 成績、通信	その他		
開発 駐車場・外構 工事	建築	1 設計 2 舗装、圍障、排水、植栽	●		●	分電盤・端子盤設備	1 別途工事に関わる盤の設計 2 上記以外のすべて		●	●		投票システム (設計共別途※)	1 自動機の用意及び設置 2 通信ケーブル配線、接続 3 電源送り、コンセント設置、通信ケーブルのルート確保 4 自動機と窓枠間の隙間埋め 5 上記以外のすべて		●		●	電気工事	
	電気設備	1 なし				CVCF(UPS)設備	1 別途工事に関わる盤の設計 2 上記以外のすべて		●	●									
	機械設備	1 なし				照明設備	1 施設の照明工事 2 駐車場の照明工事						映像システム (設計共別途※)	1 モニター、壁掛金物の用意及び設置 2 モニター用取付下地設置 3 投票所内ラック用ベース、吊モニター金物、映像ケーブルの支給 4 投票所内ラック用ベース、吊モニター金物、映像ケーブルの設置 5 映像ケーブル接続 6 電源送り、コンセント設置、通信ケーブルのルート確保 7 吊モニター金物取付、点検口設置 8 上記以外のすべて	●		●		
解体 工事	建築	1 既存建物、アスファルト舗装、境界フェンス	●			コンセント設備	1 全工事					音響・放送システム (設計共別途※)	1 スピーカーの用意及び設置、音響ケーブル支給 2 音響ケーブル配線 3 音響ケーブル接続 4 スピーカー天井開口(補強共) 5 電源送り、コンセント設置(必要な場合)、通信ケーブルのルート確保 6 上記以外のすべて			●		●	
	電気設備	1 既存建物に関わる部分が必要な場合	●			電話設備	1 構内から端子盤までの配線ルート確保 2 構内から端子盤までの通信ケーブル配線 3 端子盤から接続機器までの通信ケーブル配線、接続 4 回線申し込み											●	●
	機械設備	1 既存建物に関わる部分が必要な場合	●			TV共聴設備	1 なし												
建築 工事	天井	1 全工事	●			インターホン設備	1 全工事					成績表示システム (設計共別途※)	1 モニター、壁掛金物の用意及び設置 2 モニター用取付下地設置 3 投票所内ラック用ベース、吊モニター金物、映像ケーブルの支給 4 投票所内ラック用ベース、吊モニター金物、映像ケーブルの設置 5 映像ケーブル接続 6 電源送り、コンセント設置、通信ケーブルのルート確保 7 吊モニター金物取付、点検口設置 8 上記以外のすべて	●		●		●	
	壁	1 全工事	●			消火器設備	1 全工事												●
	柱	1 全工事	●			自動火災報知設備	1 全工事					光通信設備 (設計共別途※)	1 構内から端子盤までの配線ルート確保 2 構内から端子盤までの通信ケーブル配線 3 端子盤から接続機器までの通信ケーブル配線、接続 4 上記以外のすべて		●	●		●	
	床	1 全工事	●			非常警報設備	1 全工事												●
	内部造作	1 全工事	●			非常照明・誘導灯設備	1 全工事					有料席入退室 管理システム	1 全工事	●					
	防煙垂壁	1 全工事	●			給水設備	1 全工事					有料席座席 管理システム	1 全工事	●					
	外部・外構	1 コンクリート舗装 2 設備スペース(基礎、目隠しフェンス)	●			排水設備	1 全工事					監視カメラ設備	1 監視カメラ、監視カメラ設置、監視カメラケーブル支給 2 天井開口(補強共) 3 監視カメラケーブル配線 4 監視カメラケーブル接続 5 電源送り、コンセント設置 6 上記以外のすべて	●		●		●	
	サイン	1 上記以外のすべて	●			衛生設備	1 全工事												●
	電気 設備 工事	受変電設備	1 全工事			電気工事	換気設備	1 全工事					機械警備 (設計共別途)	1 配線ルート確保 2 上記以外のすべて	●				●
		幹線設備	1 全工事			電気工事	空調設備	1 全工事											



訂正	年月日		鳴門市企業局ポートルース事業課 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大田登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO 図面NO	整理NO A-014
	図面名称 工事範囲図(カラー)	縮尺 A1 1:200 A3 1:400						

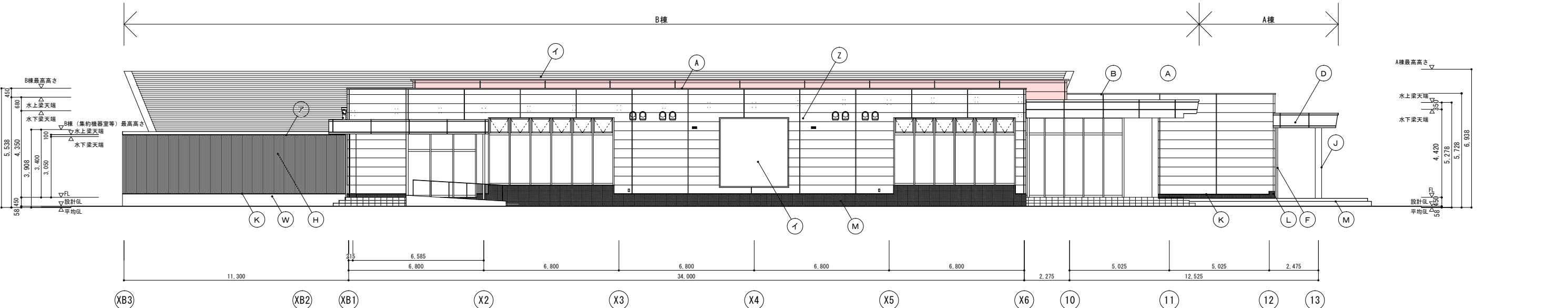


訂正	年月日	内容	備考 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大田登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認	発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO	図面NO
								図面名称 全体屋根伏図	縮尺 A1 1:200 A3 1:400



南側立面図

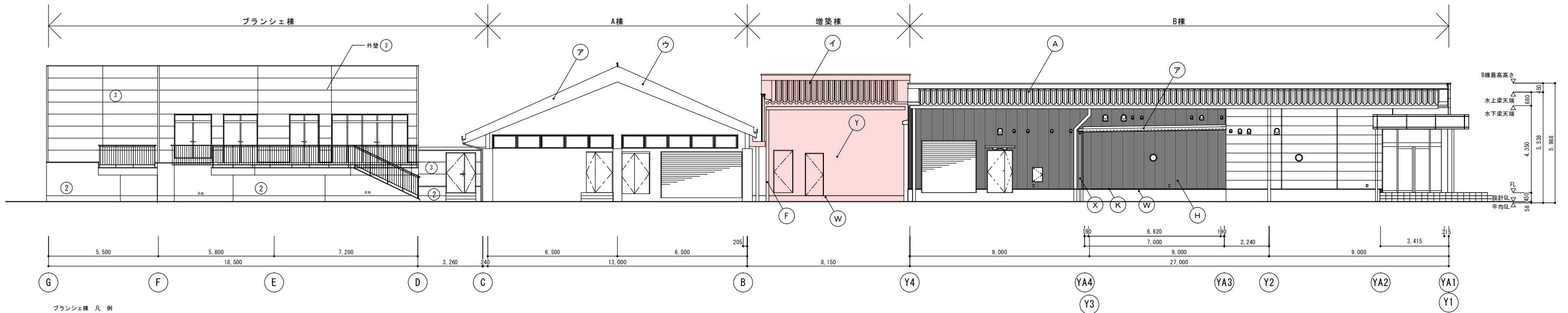
- ブランシェ棟 凡例
- ① 外壁 ① : 東面及び南面は押出成形セメント板 ア 60の上フッ素塗装(白色)
 - ② 基礎幅木 ② : コンクリート打ち出し、フッ素塗装H=300目地切
 - ③ 外壁 ③ : 北面、西面及び遮廊下はサイディング張り



西側立面図

増築範囲を示す。
この範囲においては詳細別図による。

凡例					
(A) 屋根 フッ素樹脂塗装鋼板折板 はげ葺 t=0.8 H=108	(F) 縦樋 カラー-VU 150φ	(K) 水切 フッ素鋼板	(P) 欠番	(U) 手すり ステンレス HL	(Z) 外壁 既存外壁の上、サイディング張 t=16
(B) 窓木 アルミ既製品	(G) 庇 軒天アルミ	(L) 立ち上がり コンクリートの上50角モザイクタイル貼	(Q) 欠番	(V) 扉板 カラーガルバリウム鋼板	(ア) 屋根 フッ素樹脂塗装折板 はげ葺 t=0.8 H=120
(C) 水切・カバ 包み フッ素鋼板	(H) 外壁 防水ボード12.5下地のフッ素樹脂塗装鋼板 スパンデル K型スパン0.5	(M) 縦壁 コンクリートの上50角モザイクタイル貼	(R) 欠番	(W) 立ち上がり モルタル刷毛引き	(イ) 屋根 フッ素樹脂塗装丸型折板 t=0.8H=120折板
(D) 幕板 アルミパネル貼	(I) 外壁(防火構造: 国交省告示1359号) 同上	(N) 立ち上がり コンクリートの上300角磁器質タイル	(S) サイン 内照式 アルミ枠 インクジェットシート貼	(X) 縦樋 カラー-VU 100φ	(ウ) 水切り・破風板 カラーガルバリウム鋼板
(E) 軒樋 塩ビ既製品	(J) 鉄骨柱 溶融亜鉛メッキの上フッ素樹脂塗装	(O) 器具 アルミサッシ 二次電解着色	(T) サイン ステンレス箱文字 焼付塗装 H=1,000	(Y) 外壁 サイディング張 t=16	(エ) 庇 アルミパネル



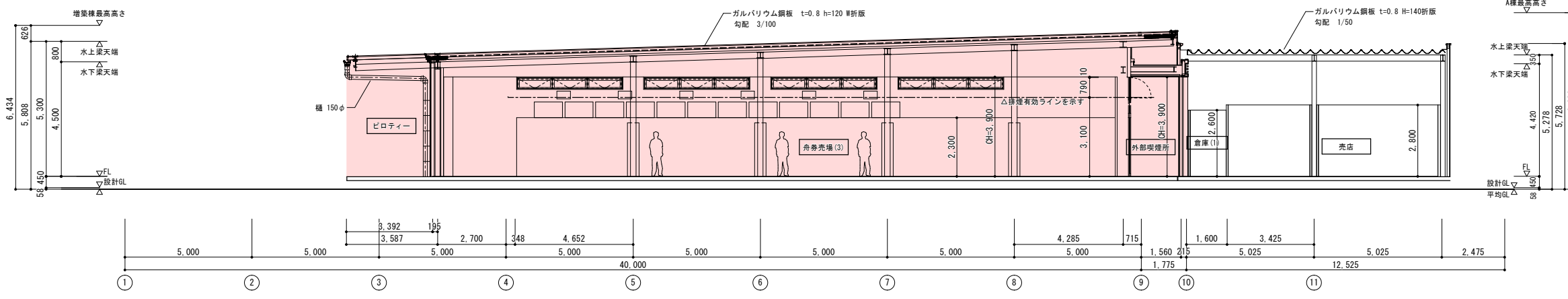
北側立面図

- プランシェ棟 凡例
- ① 外壁 ① : 東面及び南面は押出成形セメント板 ア 60の上フッ素塗装(白色)
 - ② 基礎幅木 ② : コンクリート打ち放し、フッ素塗装H=300目地切
 - ③ 外壁 ③ : 北面、西面及び遠端下はサイディング張り

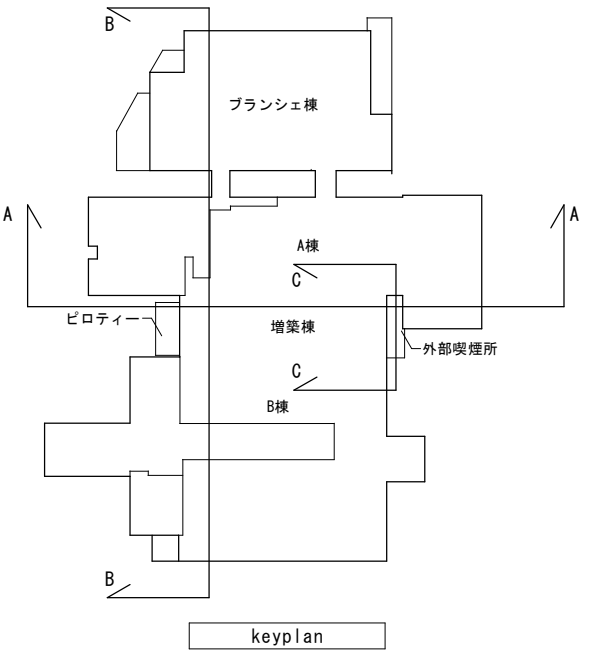
増築範囲を示す。
この範囲においては詳細別図による。

凡例									
(A) 屋根 フッ素樹脂塗装鋼板折板 はず葺 t=0.8 H=108	(F) 縦樋 カラーVU 150φ	(K) 水切 フッ素鋼板	(P) 欠番	(U) 手すり ステンレス HL	(Z) 外壁 既存外壁の上、サイディング張 t=16				
(B) 窓木 アルミ既製品	(G) 庇 軒天アルミ	(L) 立ち上がり コンクリートの上50角モザイクタイル貼	(Q) 欠番	(V) 幕板 カラーガルバリウム鋼板	(ア) 屋根 フッ素樹脂塗装鋼板折板 はず葺 t=0.8 H=120				
(C) 水切・サバ 包み フッ素鋼板	(H) 外壁 耐水ボード12.5下地のフッ素樹脂塗装鋼板 スパンドレル K型スパン0.5	(M) 縦壁 コンクリートの上50角モザイクタイル貼	(R) 欠番	(W) 立ち上がり モルタル刷毛引き	(イ) 屋根 フッ素樹脂塗付塗膜 丸貼折板 t=0.8H=120断板				
(D) 幕板 アルミパネル貼	(I) 外壁(防火構造: 国交省告示1359号) 同上	(N) 立ち上がり コンクリートの上300角磁器質タイル	(S) サイン 内照式 アルミ枠 インクジェットシート貼	(X) 縦樋 カラーVU 100φ	(ウ) 水切り・破風板 カラーガルバリウム鋼板				
(E) 軒樋 塩ビ既製品	(J) 鉄骨柱 溶融亜鉛メッキの上フッ素樹脂塗装	(O) 器具 アルミサッシ 二次電解着色	(T) サイン ステンレス箱文字 焼付塗装 H=1,000	(Y) 外壁 サイディング張 t=16	(エ) 庇 アルミパネル				

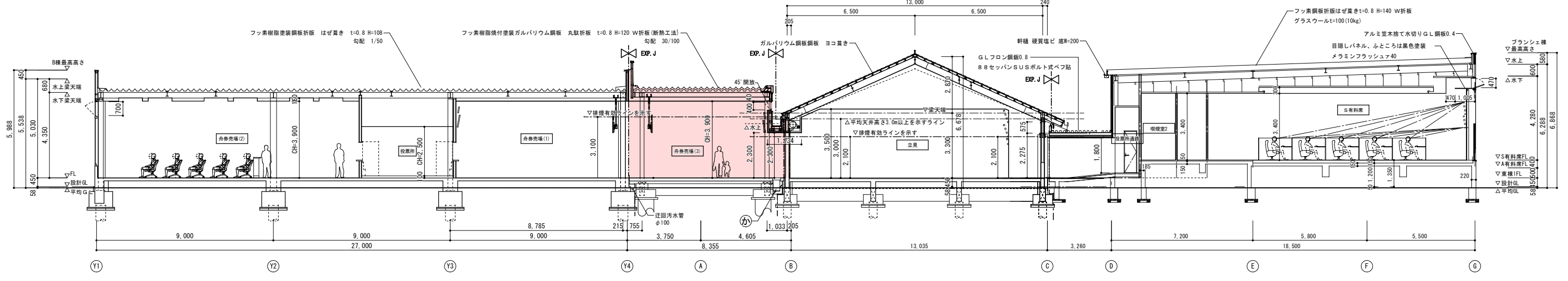
訂正	年月日	内容	鳴門市企業局ポートルース事業課	備考 ※建築仕様等の変更により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※状況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大塚登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 立面図(2)	設計NO 整理NO	図面NO A-018
----	-----	----	-----------------	---	---	-------------	---	--------------	---------------



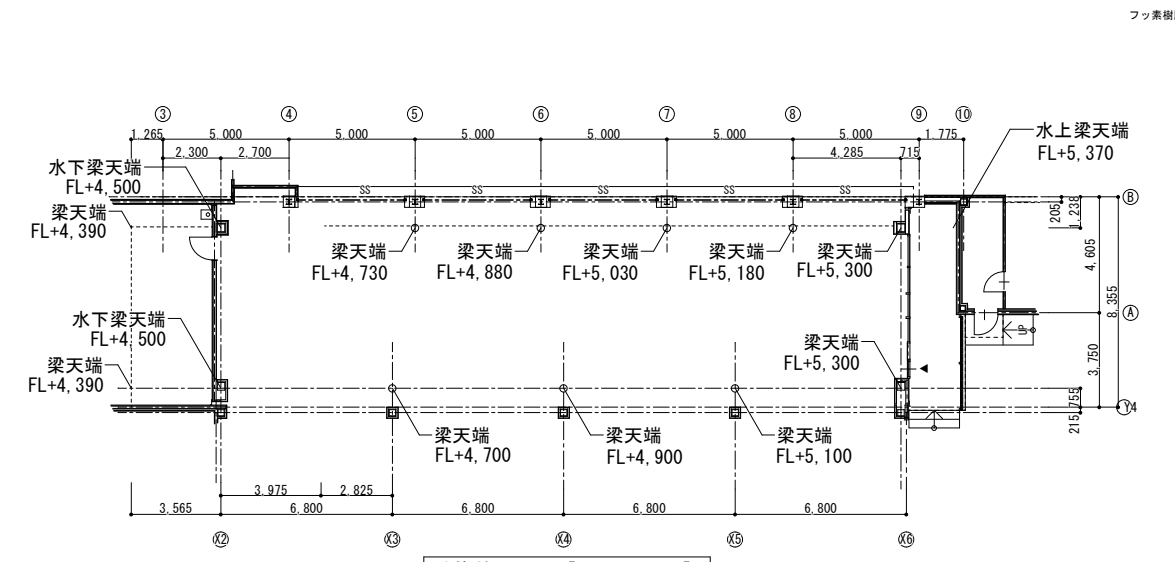
A-A断面図



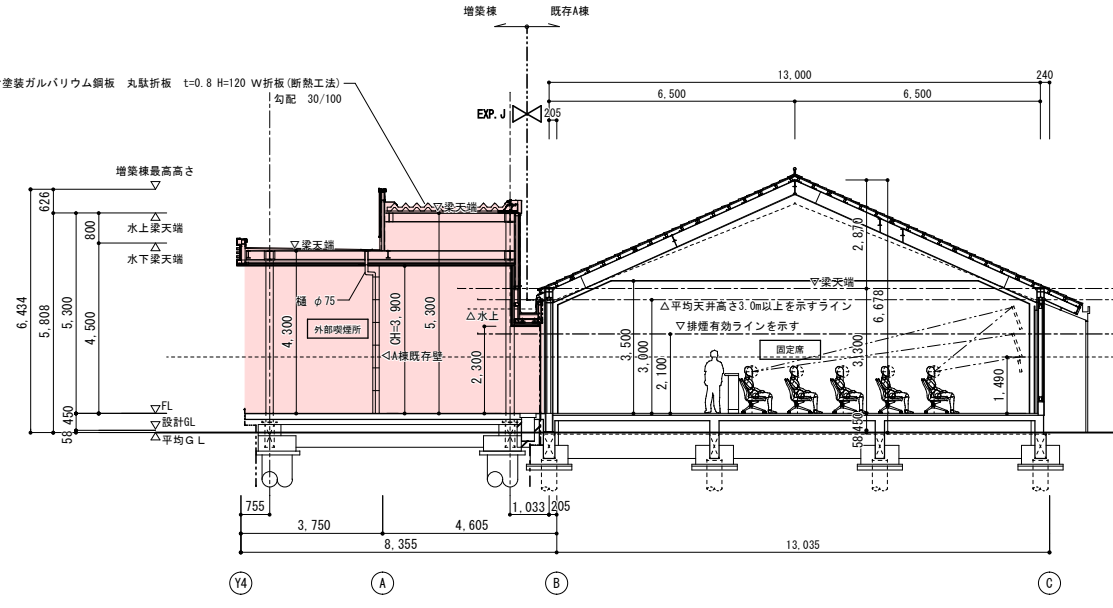
keyplan



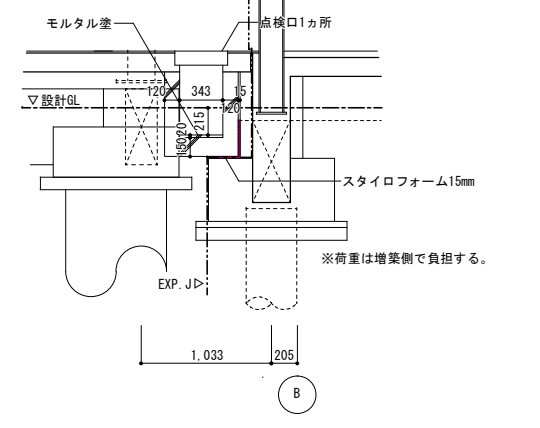
B-B断面図



増築棟平面図【梁天レベル】



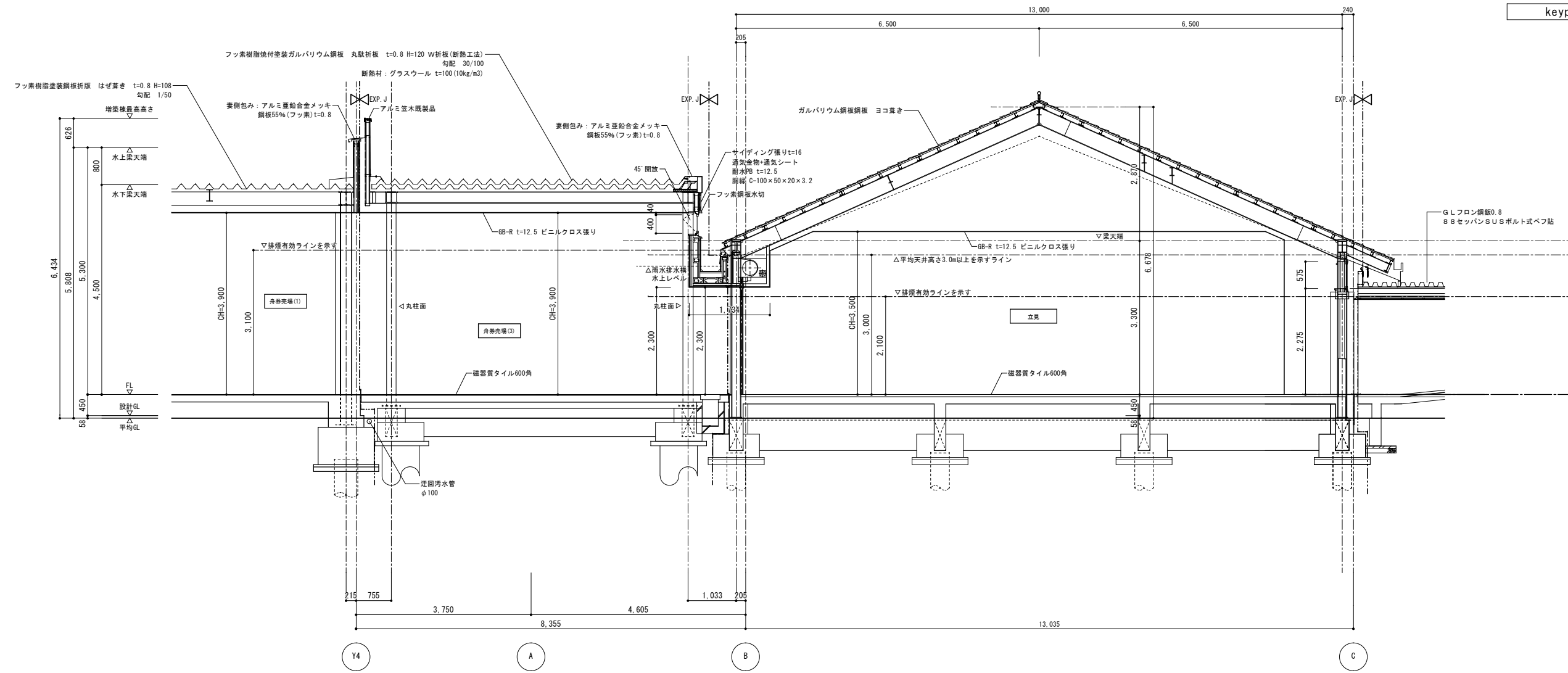
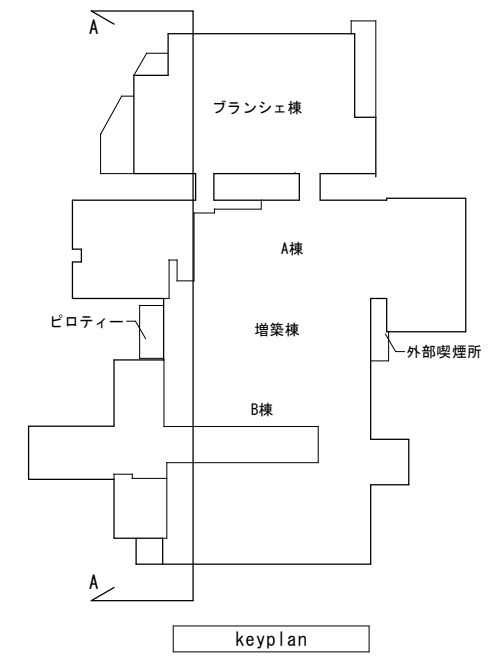
C-C断面図



部詳細図

増築範囲を示す。

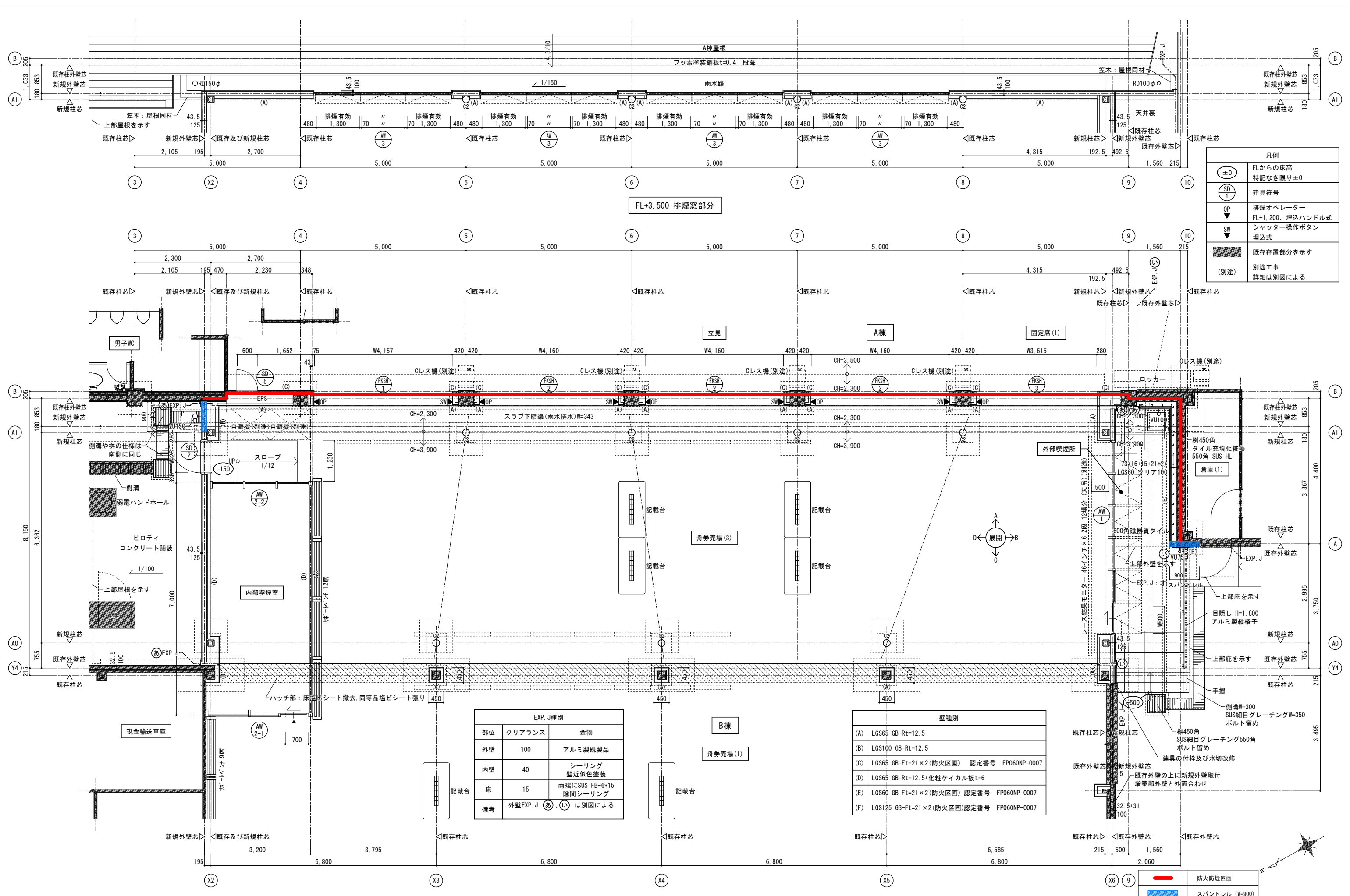
訂正	年月日	内容	備考	作成	承認	発行	工事名称	設計NO	図面NO	
			※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大畑登録第164276号 中野 和敏 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289			エディヴィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事	図面名称 断面図	図面NO A1 1:100 A3 1:200	整理NO A-019



A-A断面詳細図

訂正	年月日		備考 ※仕様等指図等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大沼登録第164276号 中野 和敬 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成	承認	工事名称	設計NO	図面NO	
					発行		エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事	整理NO	A-020	
								断面名称	断面NO	
								断面詳細図	A1 1:50 A3 1:100	

鳴門市企業局ポートルース事業課



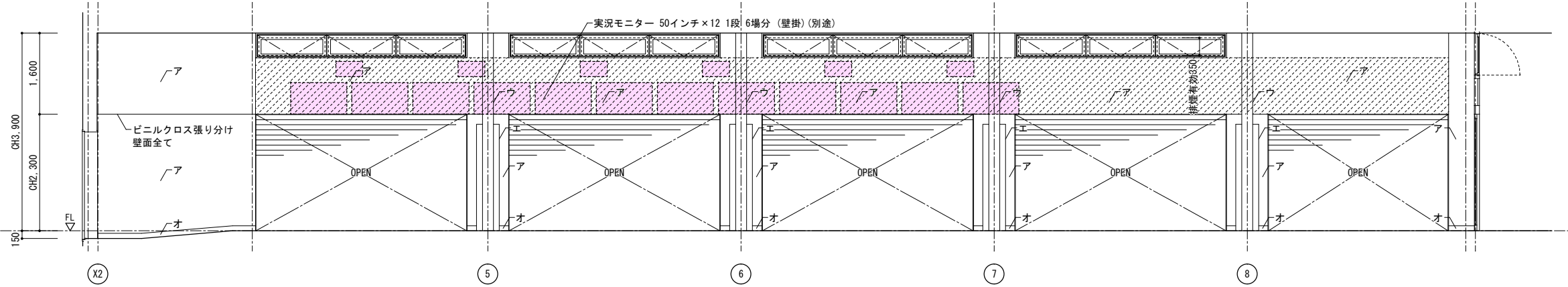
(±0)	FLからの床高 特記なき限り±0
(SD)	建具符号
OP	排煙オペレーター FL+1.200、埋込ハンドル式 シャッター操作ボタン
SW	埋込式
(陰影)	既存存置部分を示す
(別途)	別途工事 詳細は別図による

部位	クリアランス	金物
外壁	100	アルミ製既製品
内壁	40	シーリング 壁近似色塗装
床	15	両端にSUS FB-6*15 隙間シーリング
備考	外壁EXP. J (ア)、(イ) は別図による	

(A)	LGS65 GB-Rt=12.5
(B)	LGS100 GB-Rt=12.5
(C)	LGS65 GB-Ft=21×2(防火区画) 認定番号 FP060NP-0007
(D)	LGS65 GB-Rt=12.5+化粧化粧板t=6
(E)	LGS60 GB-Ft=21×2(防火区画) 認定番号 FP060NP-0007
(F)	LGS125 GB-Ft=21×2(防火区画)認定番号 FP060NP-0007

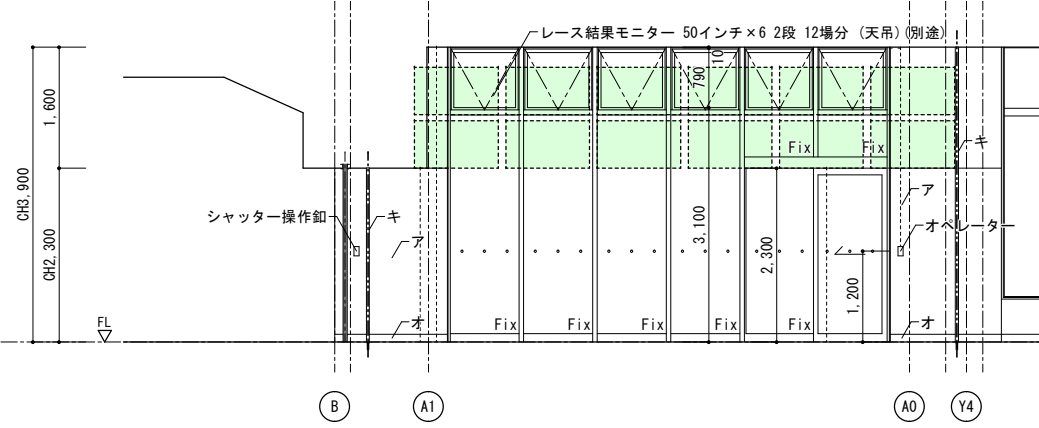
(赤線)	防火防煙区画
(青線)	スバンドレル (W=900)

舟券売場(3) A

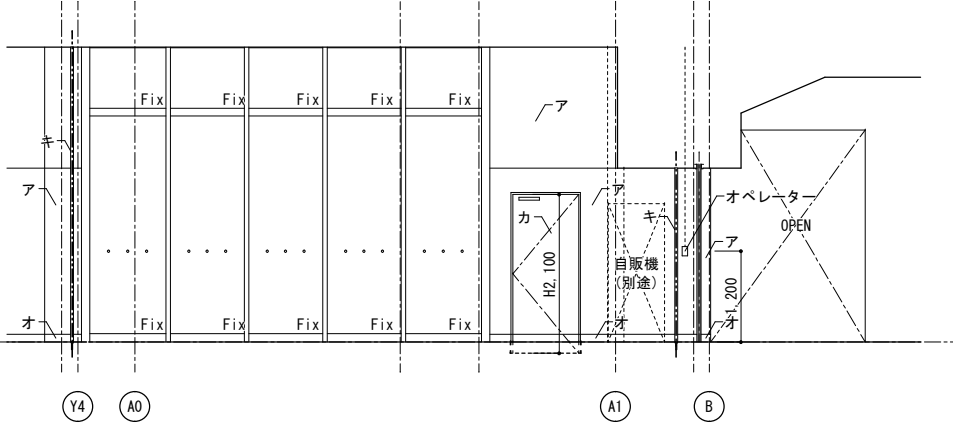


凡例		
ア	壁	ピニルクロス GB-Rt=12.5下地
イ	壁	化粧ケイカル板t=6 GB-Rt=12.5下地
ウ	丸柱	防錆塗装の上SOP
エ	コンクリート柱	下地処理の上AEP
オ	巾木	ピニル巾木 H=100
カ	建具	防錆塗装の上SOP
キ	EXP. J	シーリング 壁面近似色塗装

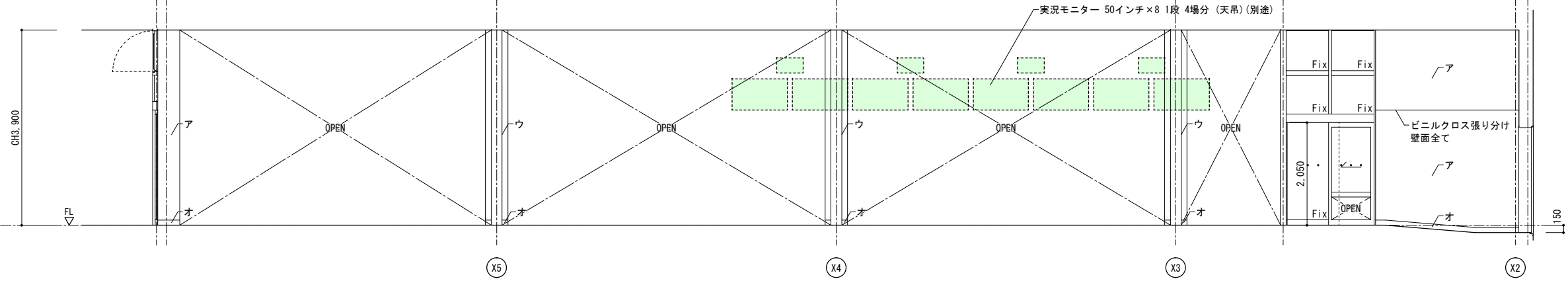
B



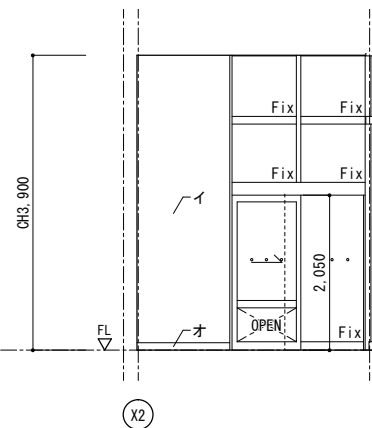
D



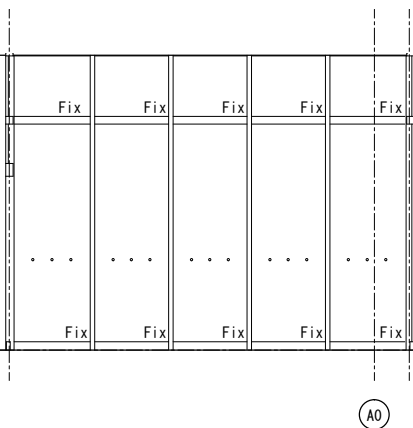
C



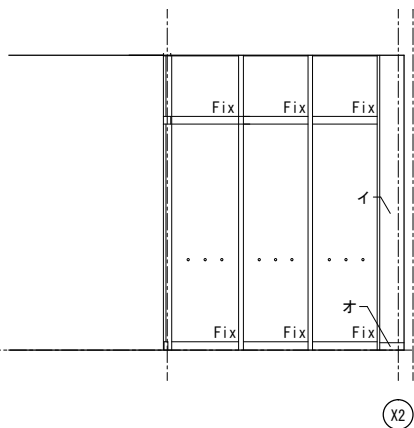
内部喫煙室 A



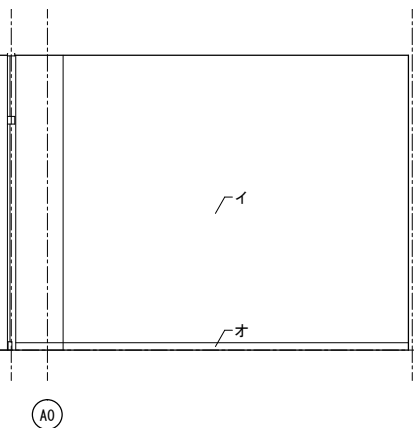
B

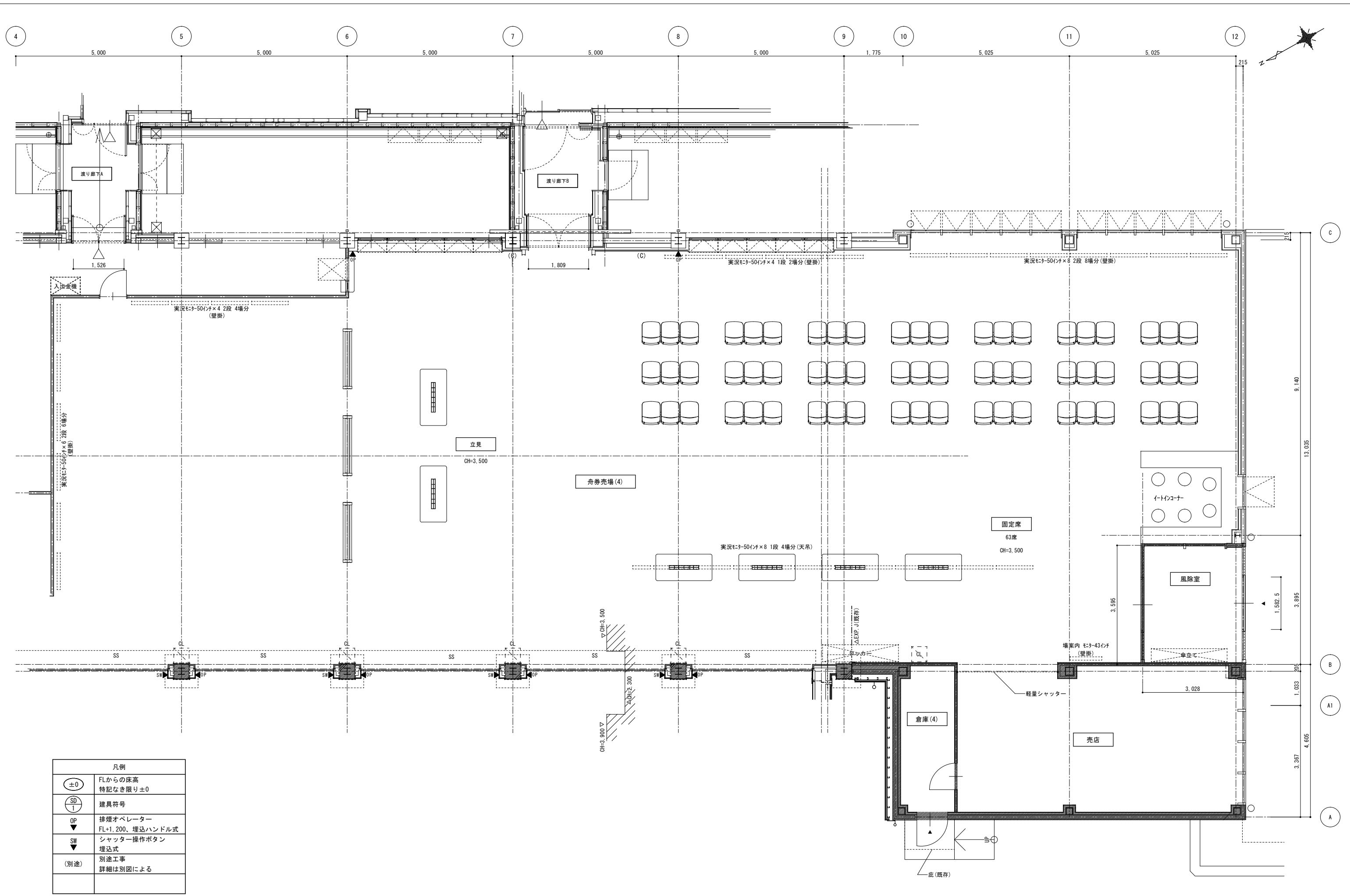


C



D

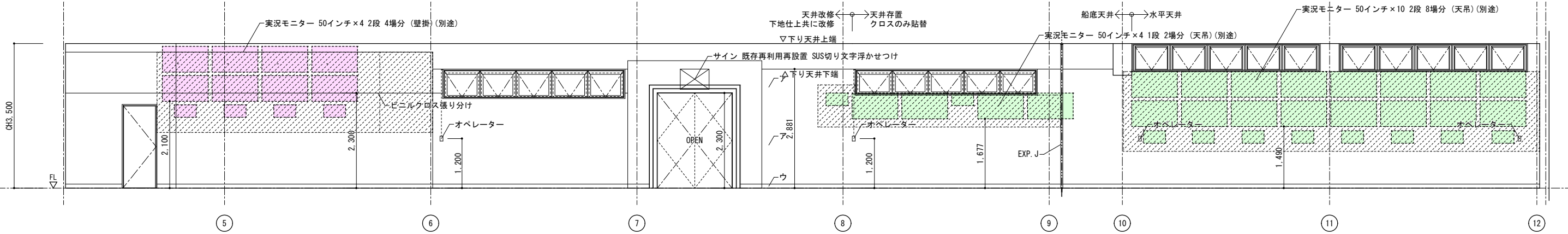




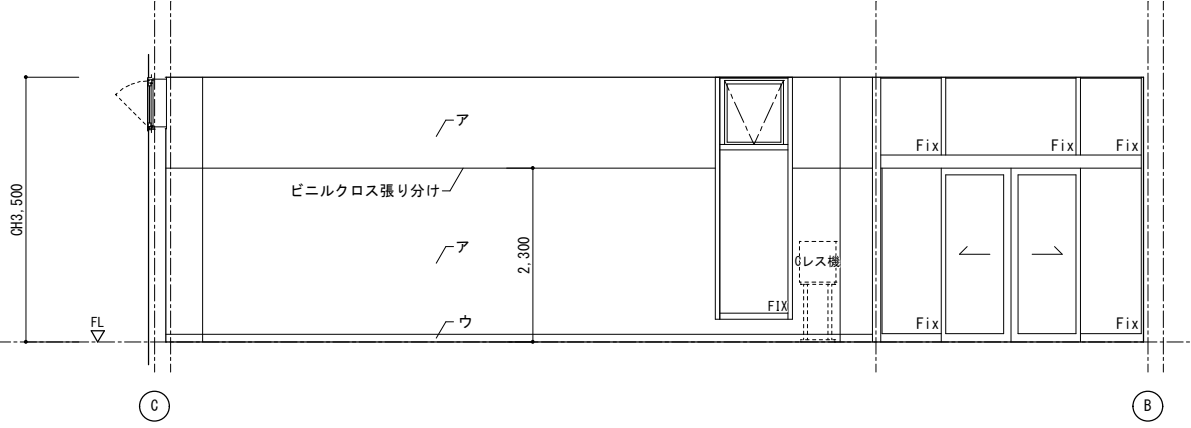
凡例	
±0	FLからの床高 特記なき限り±0
SD I	建具符号
DP ▼	排煙オペレーター FL+1,200、埋込ハンドル式
SW ▼	シャッター操作ボタン 埋込式
(別途)	別途工事 詳細は別図による

訂正	年月日	内容	備考	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大田登録第164276号 中野 和敬 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認	発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 A棟 平面詳細図(改修)	設計NO 整理NO	図面NO A-023
----	-----	----	----	---	-------	----	--	--------------	---------------

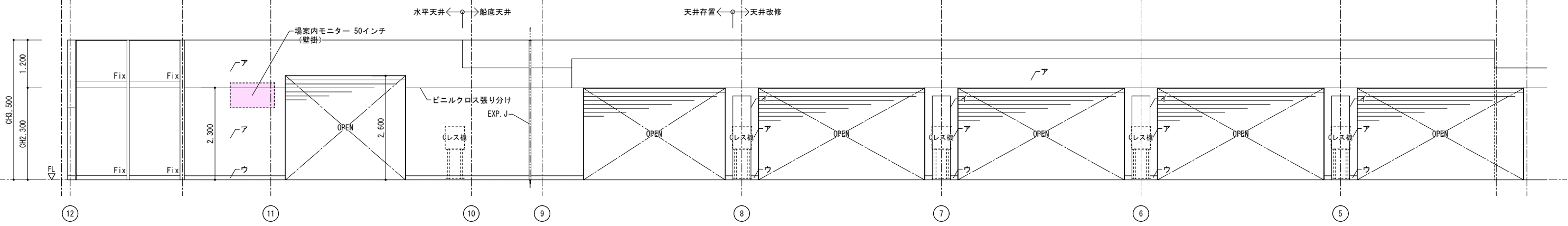
固定席(1). 立見. 固定席(2) A



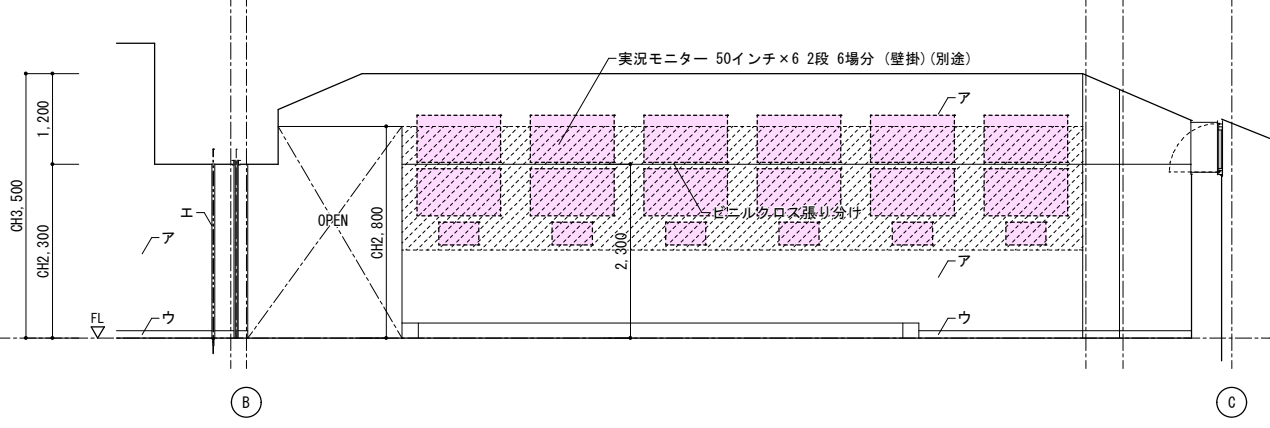
B



C

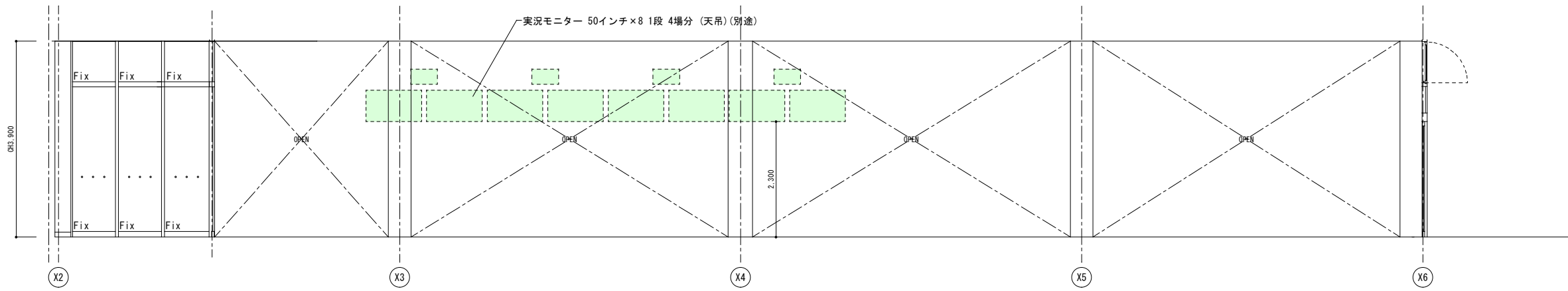


D

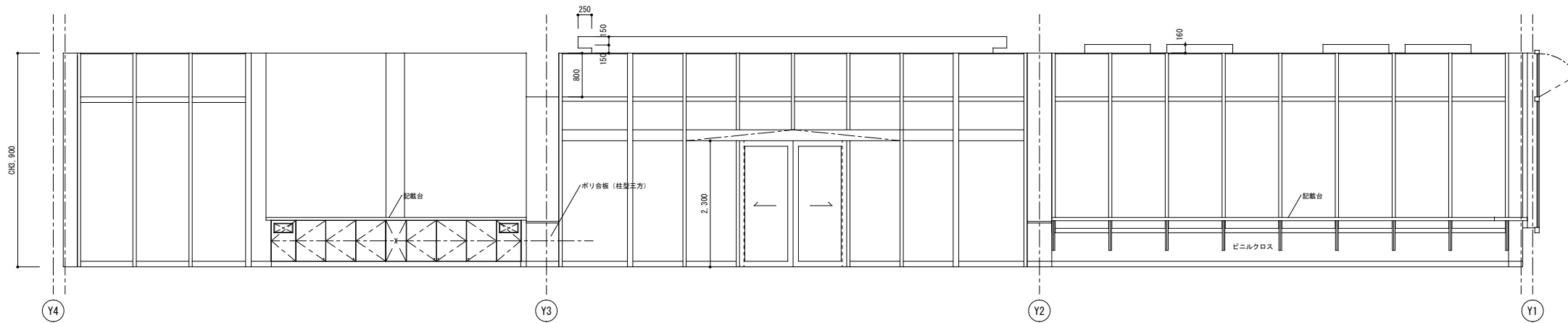


凡例		
ア	壁	ピニルクロス GB-Rt=12.5下地
イ	コンクリート柱	下地処理の上AEP
ウ	巾木	ビニル巾木 H=100
エ	EXP. J	シーリング 壁面近似色塗装
既存壁のピニルクロスとビニル巾木は張り替え		

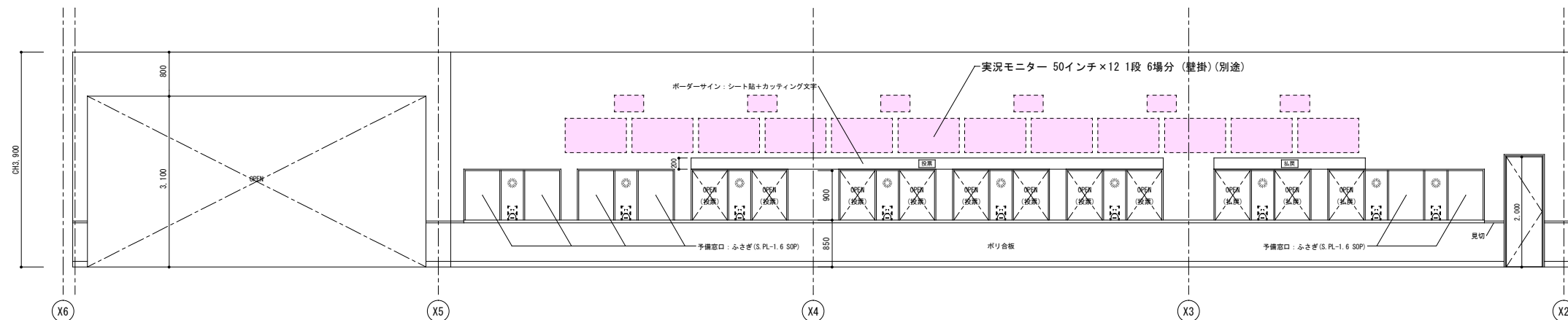
壁掛モニター設置箇所は、GB-Rt=12.5×1枚の下に合板=12×1枚(計2枚張り)その他の同面壁はGB-R増し張り(2枚張り)仕上面を同面とする。



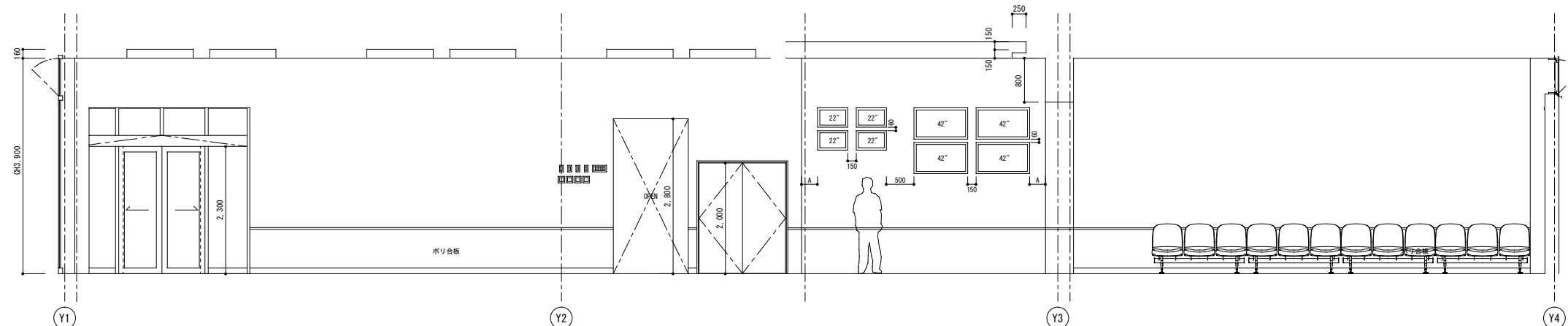
船券売場(1) A



船券売場(1) (2) B



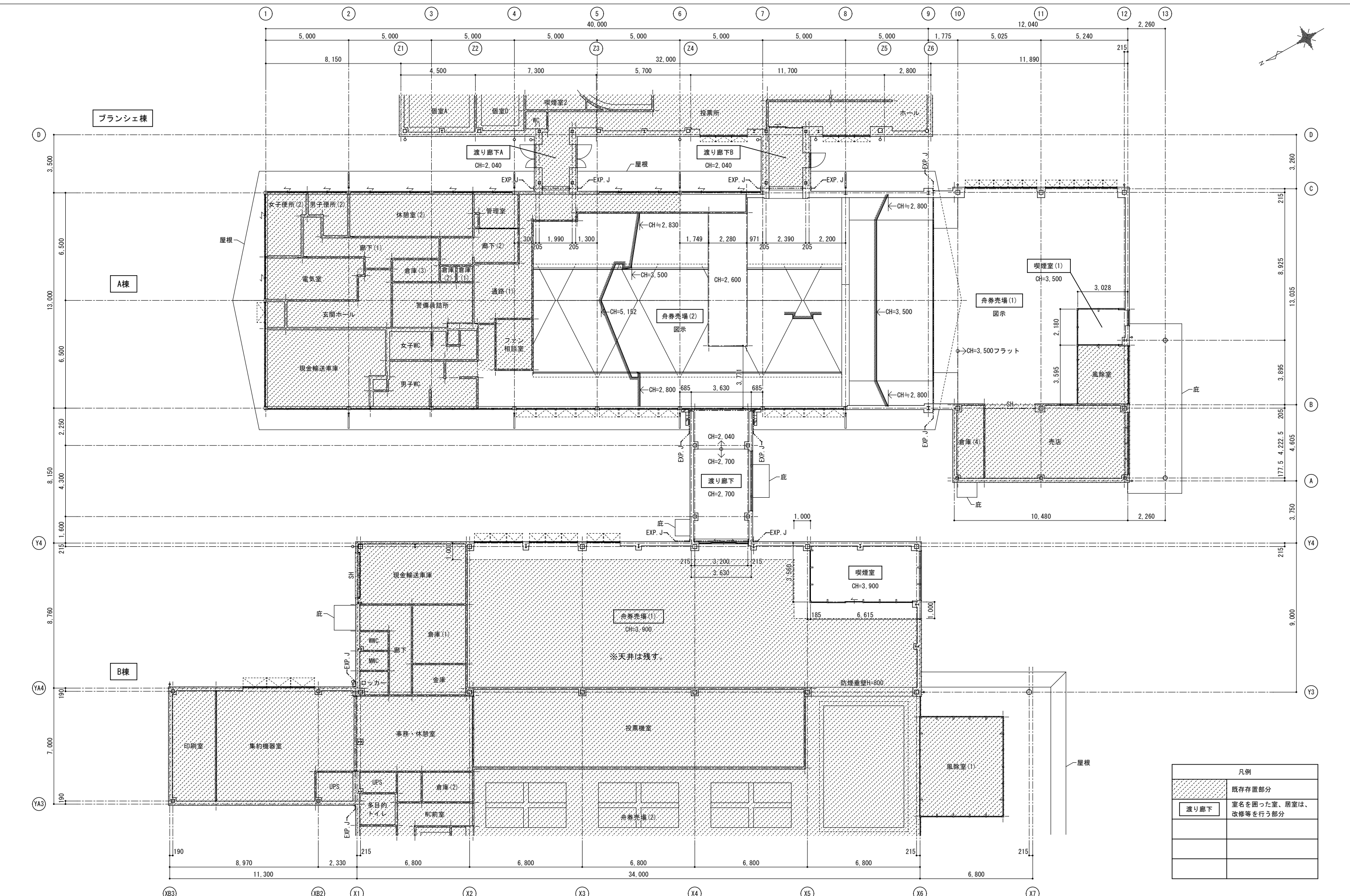
船券売場(1) C



船券売場(1) (2) D



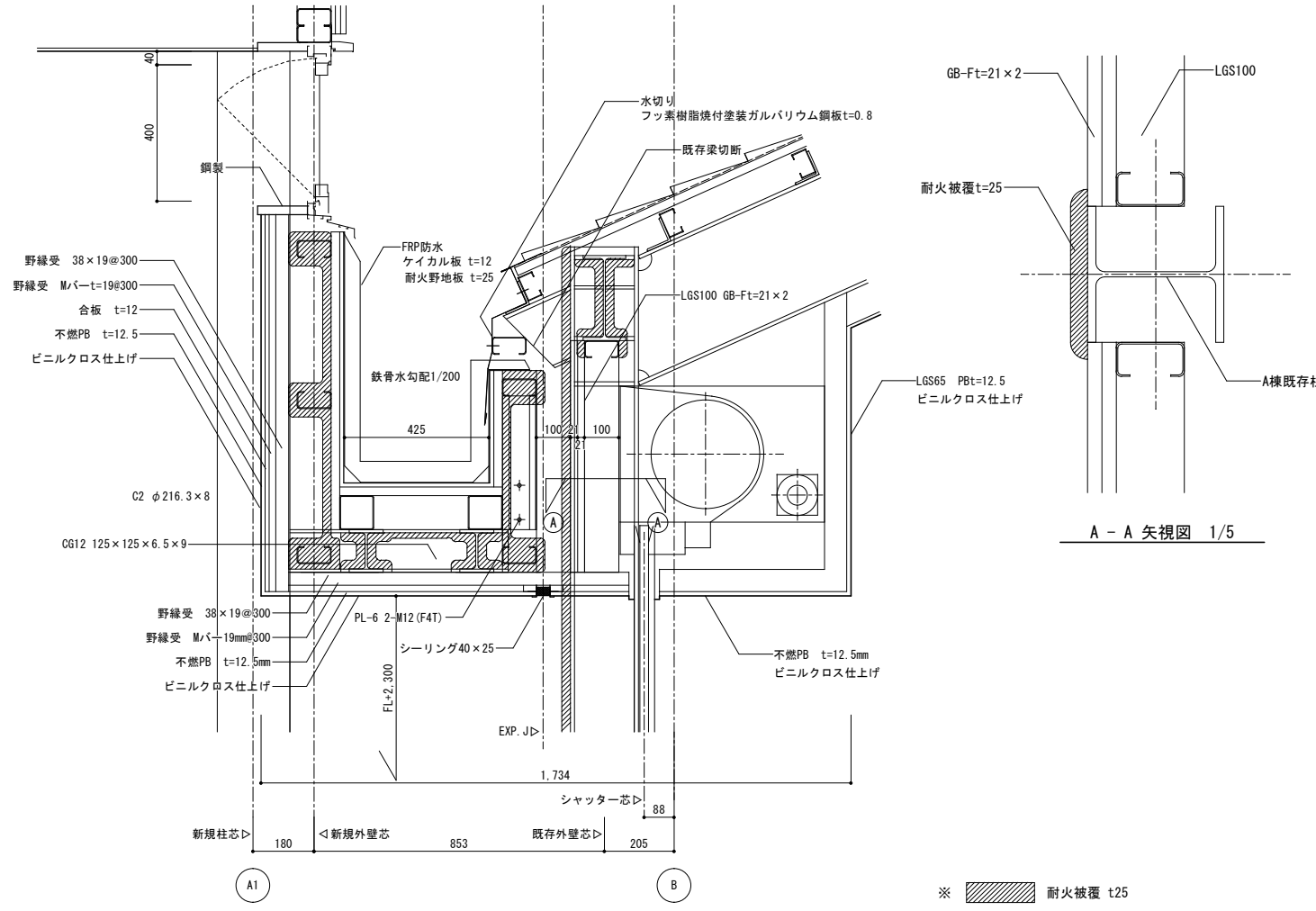
訂正	年月日		備考 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	備考 株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都墨田区東甲2-14-6 ロータスビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成	承認	工事名称	設計NO	図面NO
					発行		図面名称	縮尺	整理NO
							B棟 展開図(改修)	A1 1:50 A3 1:100	



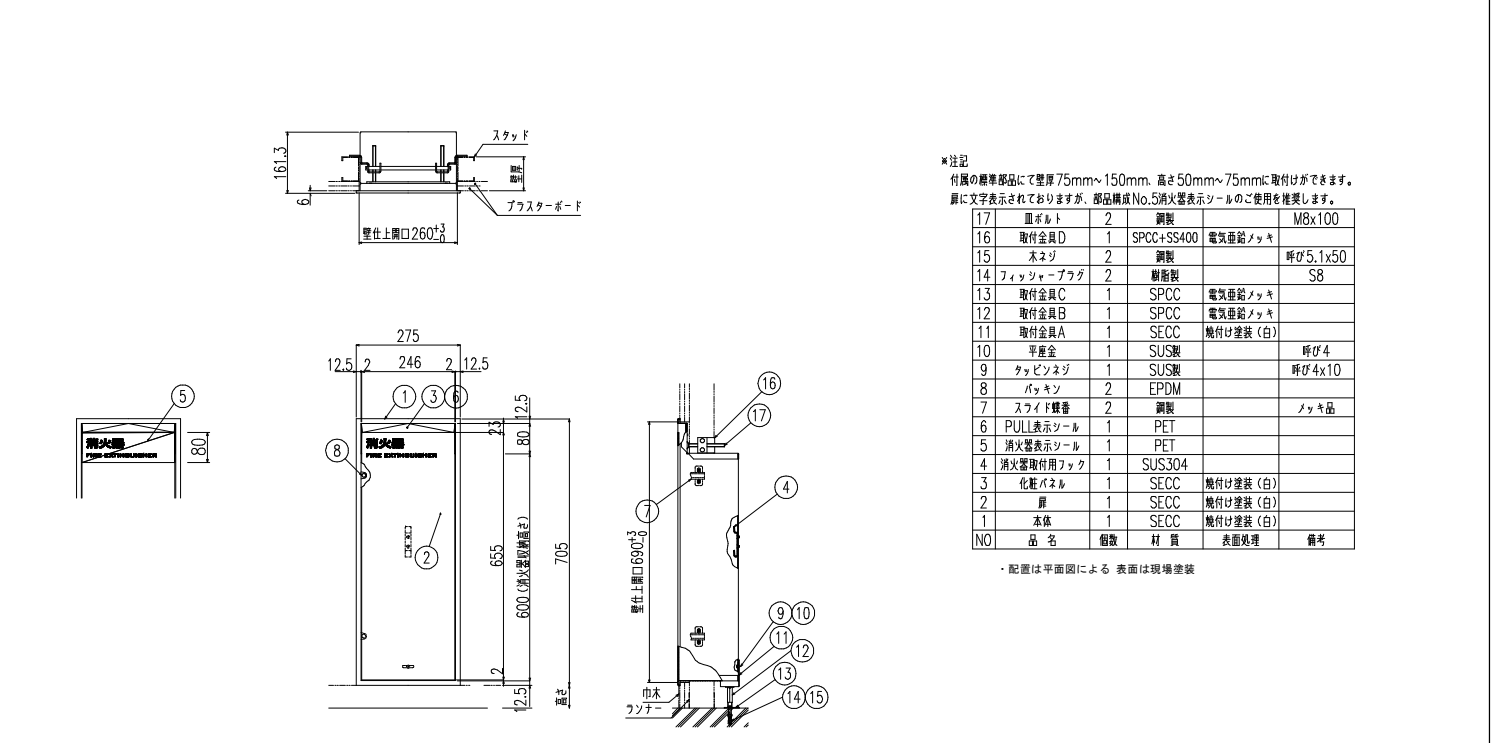
凡例	
	既存存置部分
	室名を囲った室、居室は、改修等を行う部分

特記仕様・凡例		建具種類	建具形式	法規制	AW	1	AW	2-1	AW	2-2	AW	2-2					
		建具符号	使用場所	数量	AW	1	AW	2-1	AW	2-2	AW	2-2					
■ 建具種類 WD 木製戸 SMD 鋼製枠木製戸 SD 鋼製戸 LSD 軽量鋼製戸 FSD 防火戸 AD アルミ製戸 SSD ステンレス製戸 TSD 強化ガラス戸 WW 木製窓 SW 鋼製窓 AW アルミ製窓 SSW ステンレス製窓 SH スチール製シャッター FKSH 防火防煙シャッター FSH 防火シャッター KSH 防煙シャッター ASH アルミ製シャッター OS オーバースライダー SHD 鋼製ハンガー戸 LSDH 軽量鋼製ハンガー戸 AHD アルミ製ハンガー戸 WGR 木製ガラリ SG 鋼製ガラリ AG アルミ製ガラリ SS ステンレス製ガラリ PGR プラスチック製ガラリ S 三方枠 F ふすま TF 戸ぶすま SJ 紙障子 SPT 鋼製パーテーション APT アルミ製パーテーション BT 固定式防煙垂壁 BTL 昇降式防煙垂壁 BTF 可倒式防煙垂壁 ■ 法規制 特 特定防火設備 防 防火設備 排煙 自然排煙 消防 消防有窓 常閉 常時閉鎖式 ヒ 温度ヒューズ連動 煙 煙感知器連動 進 非常用進入口 ■ 枠形状 A B C D E F G H (AT) エアタイト ■ 番指形状 A B C D E ガイドレール F G H I への字 (AT) エアタイト ■ 引合わせ形状 A B C D E エアタイト F モヘヤ ■ 鍵 箱 シリンダー箱錠 イ インテグラルロック モ シリンダーモノロック 本 シリンダー本錠錠 鍵 鍵錠 非 非常錠 ホ ホテル錠 電 電気錠 O かぎ △ サムターン × かぎなし カ サムターンカバー ■ 支持金物 T 丁番 ピ ビポットヒンジ フ フロアヒンジ オ オートヒンジ 傾 傾斜レール 傾ス 傾斜レールストップ付 ■ その他金物 DC ドアクローザー DCス ドアクローザーストップ付 DCヒ ドアクローザーヒューズ付 DCコ ドアクローザーコンシールド型 ア アームストップ 落 フランス落とし 当 戸当たり 順 順位調整器 OP 排煙オペレーター ■ 把手 握 握玉 レ レバーハンドル 押 押板・把手 握 握込引手 引 引手 ケ ケースハンドル ■ 材質・仕上 SUS ステンレス製 AL アルミ製 S 鋼製 W 木製 O 合成樹脂製 SOP 合成樹脂調合ペイント塗り FE フタル酸エナメル塗り LC クリアラッカー塗り LE ラッカーエナメル塗り OS スティン塗り OSW スティンワックス塗り B-AE 焼付アクリル樹脂エナメル塗り B-UE 焼付ポリウレタンエナメル塗り 2-UE 2液形ポリウレタンエナメル塗り B-FUE 焼付フッ素樹脂エナメル塗り 2-FUE 常温乾燥型エナメル塗り HL ヘアライン ■ ガラス種類 FLG フロートガラス FG 型板ガラス TG 強化ガラス FWG 網入型板ガラス PWG 網入磨きガラス HWG 網入熱線吸収ガラス HG 熱線吸収ガラス RG 熱線反射ガラス PG 複層ガラス ■ ガラス留め付け種類 シ シーリング グチ グレージングチャンネル グビ グレージングビード ■ 姿図中凡例 煙 排煙に有効な部分 光 採光に有効な部分 進 代替進入口に有効な部分 消 消防有窓に有効な部分 □ ドアクローザー(姿図側設置) □□□ ドアクローザー(姿図反対側設置)		姿図 		建具の性能(耐風圧、気密、水密、遮音、断熱) S-5、A-3、W-4 枠 材質・見込・仕上・形状 AL・200・二次電界着色・標準色 番指 材質・厚み・仕上・形状 SUS HL・1.5・E 水抜パイプ(最寄掛へ接続) 扉・障子 材質・見込・仕上・引合わせ形状 AL・二次電界着色・標準色 ガラス 種類・厚さ・留め付け 下段:PG(TG5+A12+TG5)・シ、上段:PG(FLG6+A12+FLG4)・シ ガラリ 材質・仕上・開口率 - 水切 材質 - 額縁 材質・仕上 S・SOP 錠 本(△-○) 支持金物 旗丁番・SUS、ダンパー(隠べい) 付属金物一式 備考 外倒し窓90度開き、結露水排水機構、屋外側AL付枠、衝突防止シール(SUS鏡面30φ H=1,200 @300)		姿図 		建具の性能(耐風圧、気密、水密、遮音、断熱) S-5、A-3、W-4 枠 材質・見込・仕上・形状 AL・70・二次電界着色・標準色 番指 材質・厚み・仕上・形状 - 扉・障子 材質・見込・仕上・引合わせ形状 AL・二次電界着色・標準色 ガラス 種類・厚さ・留め付け AL・3(障子同色)・シ ガラリ 材質・仕上・開口率 AL 水切 材質 AL 額縁 材質・仕上 S・SOP 錠 排煙オペレーター(手動ハンドル、壁埋込) 支持金物 旗丁番・SUS、ダンパー(隠べい) 付属金物一式 備考 90度開き、既存建具を撤去し新設、屋外側AL付枠		姿図 		建具の性能(耐風圧、気密、水密、遮音、断熱) S-5、A-3、W-4 枠 材質・見込・仕上・形状 AL・70・二次電界着色・標準色 番指 材質・厚み・仕上・形状 S・291・防錆塗装の上SOP・B 扉・障子 材質・見込・仕上・引合わせ形状 SUS HL・1.5・A ガラス 種類・厚さ・留め付け S・40・防錆塗装の上SOP ガラリ 材質・仕上・開口率 - 水切 材質 - 額縁 材質・仕上 - 錠 本(○-○) 支持金物 レ・SUS HL 備考 旗丁番・SUS・3 DCス・付属金物一式 備考 旗丁番・SUS・3 DCス・付属金物一式		姿図 		建具の性能(耐風圧、気密、水密、遮音、断熱) S-5、A-3、W-4 枠 材質・見込・仕上・形状 AL・70・二次電界着色・標準色 番指 材質・厚み・仕上・形状 S・325・防錆塗装の上SOP・B 扉・障子 材質・見込・仕上・引合わせ形状 SUS HL・1.5・A ガラス 種類・厚さ・留め付け S・40・防錆塗装の上SOP ガラリ 材質・仕上・開口率 - 水切 材質 - 額縁 材質・仕上 - 錠 本(△-○) 支持金物 レ・SUS HL 備考 旗丁番・SUS・3 DCス・付属金物一式	
		建具の種類 建具形式 法規制 建具符号 使用場所 数量		(FKSH) 1 電動防火防煙シャッター 舟券売場(3)		特 1 (FKSH) 2 電動防火防煙シャッター 舟券売場(3)		特 3 (FKSH) 3 電動防火防煙シャッター 舟券売場(3)		特 1 (FKSH) 1 電動防火防煙シャッター 舟券売場(3)							
		平成12年建設省告示第1369号 例示仕様品 		平成12年建設省告示第1369号 例示仕様品 		平成12年建設省告示第1369号 例示仕様品 											
		建具の性能(耐風圧、気密、水密、遮音、断熱) - 枠 材質・見込・仕上・形状 まぐさ: S SOP 番指 材質・厚み・仕上・形状 ガイドレール: SUS HL 扉・障子 材質・見込・仕上・引合わせ形状 スラット: S SOP ガラス 種類・厚さ・留め付け 座板: S SOP ガラリ 材質・仕上・開口率 - 水切 材質 - 額縁 材質・仕上 - 錠 操作スイッチ(壁埋込) 支持金物 巻取機: 露出、電動式 付属金物一式 備考 取付下地(鉄骨、防火構造壁)、自動火災報知設備連動、認定番号: CAS-1137		建具の性能(耐風圧、気密、水密、遮音、断熱) - 枠 材質・見込・仕上・形状 まぐさ: S SOP 番指 材質・厚み・仕上・形状 ガイドレール: SUS HL 扉・障子 材質・見込・仕上・引合わせ形状 スラット: S SOP ガラス 種類・厚さ・留め付け 座板: S SOP ガラリ 材質・仕上・開口率 - 水切 材質 - 額縁 材質・仕上 - 錠 操作スイッチ(壁埋込) 支持金物 巻取機: 露出、電動式 付属金物一式 備考 取付下地(鉄骨、防火構造壁)、自動火災報知設備連動、認定番号: CAS-1137		建具の性能(耐風圧、気密、水密、遮音、断熱) - 枠 材質・見込・仕上・形状 まぐさ: S SOP 番指 材質・厚み・仕上・形状 ガイドレール: SUS HL 扉・障子 材質・見込・仕上・引合わせ形状 スラット: S SOP ガラス 種類・厚さ・留め付け 座板: S SOP ガラリ 材質・仕上・開口率 - 水切 材質 - 額縁 材質・仕上 - 錠 操作スイッチ(壁埋込) 支持金物 巻取機: 露出、電動式 付属金物一式 備考 取付下地(鉄骨、防火構造壁)、自動火災報知設備連動、認定番号: CAS-1137											

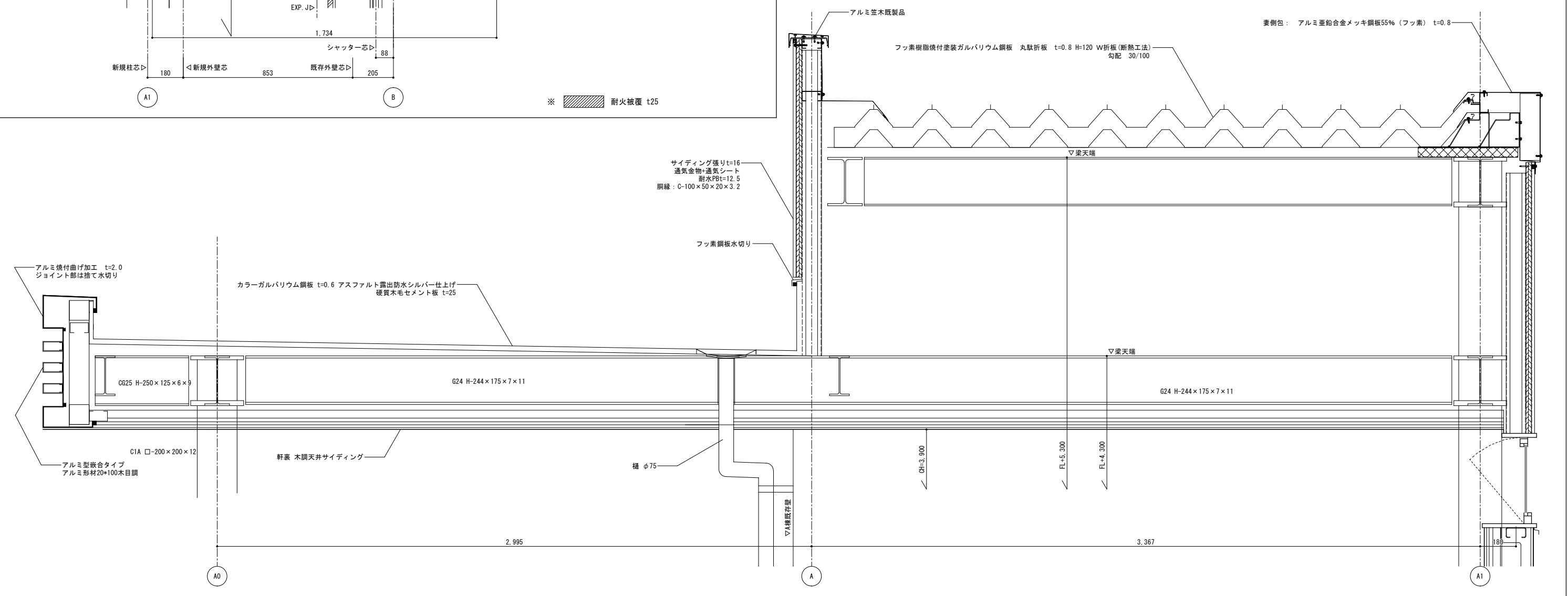
B 通り 雨水排水溝

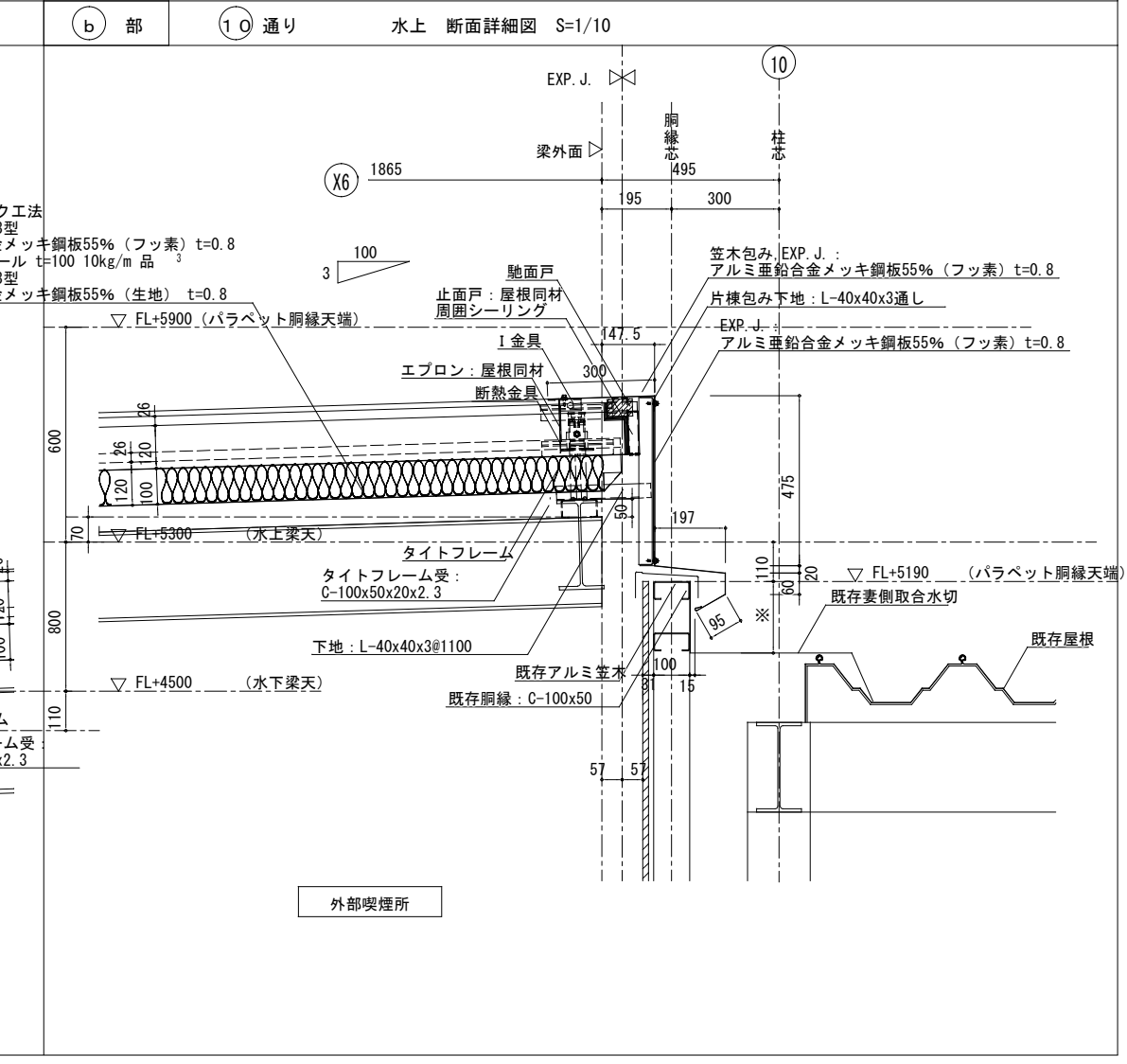
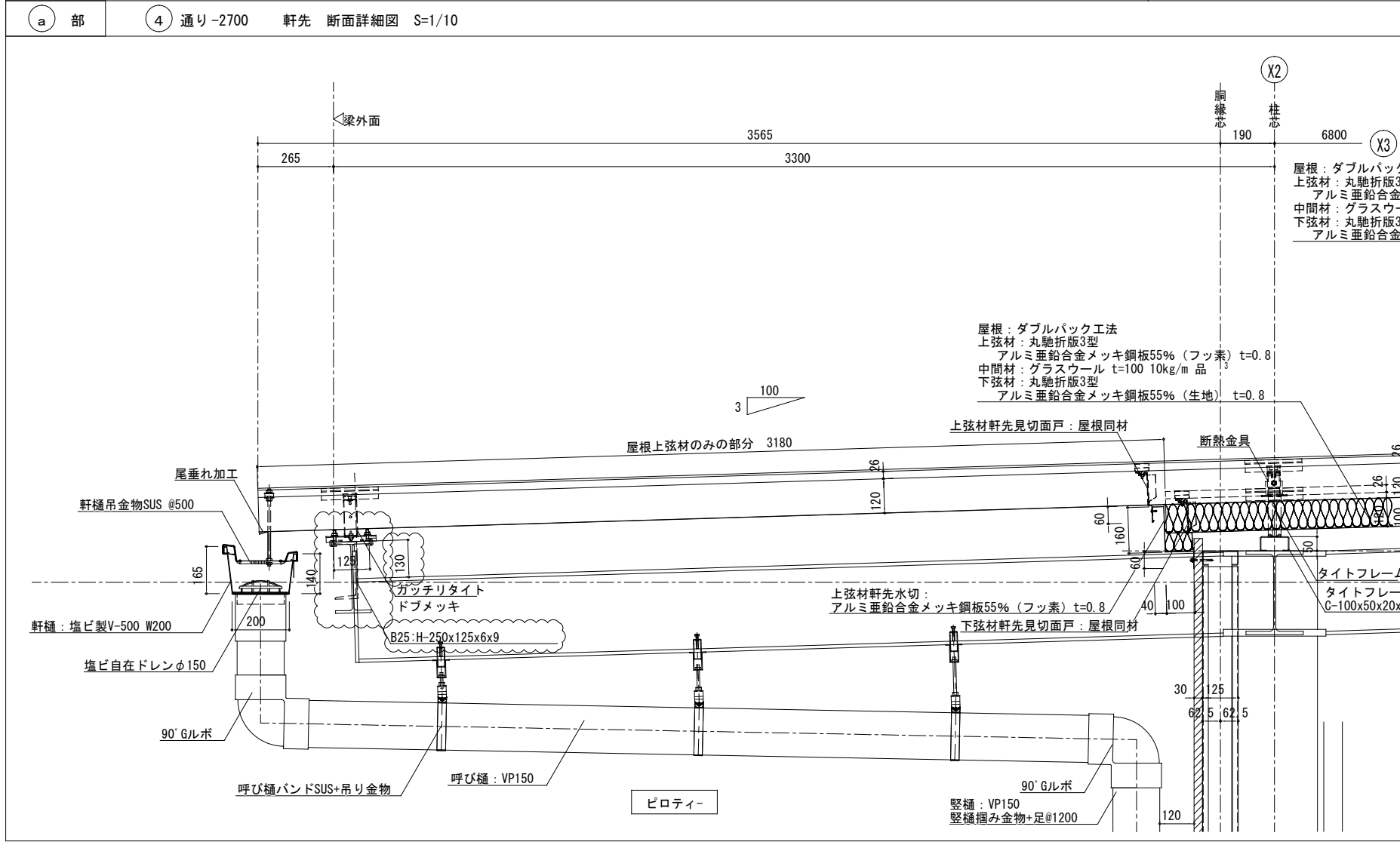
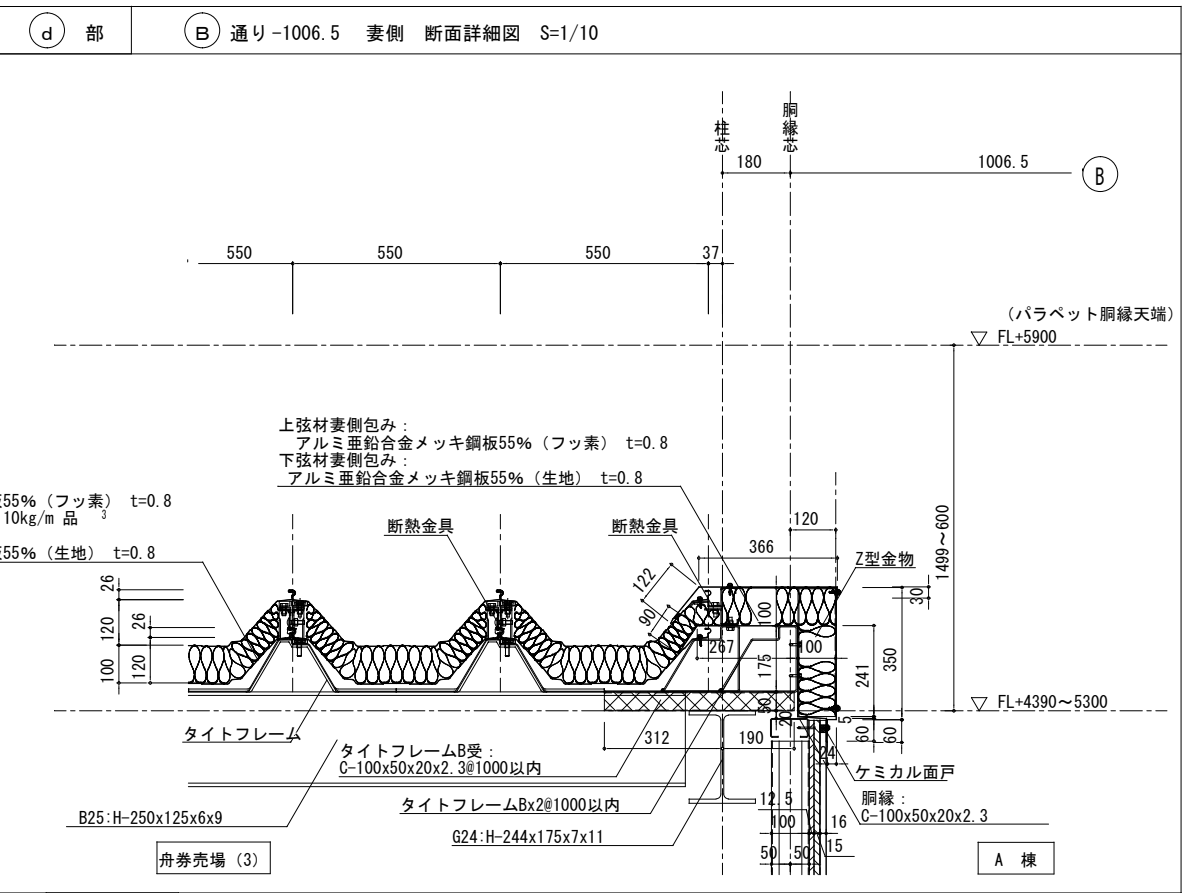
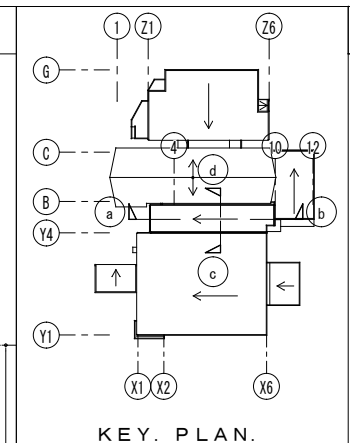
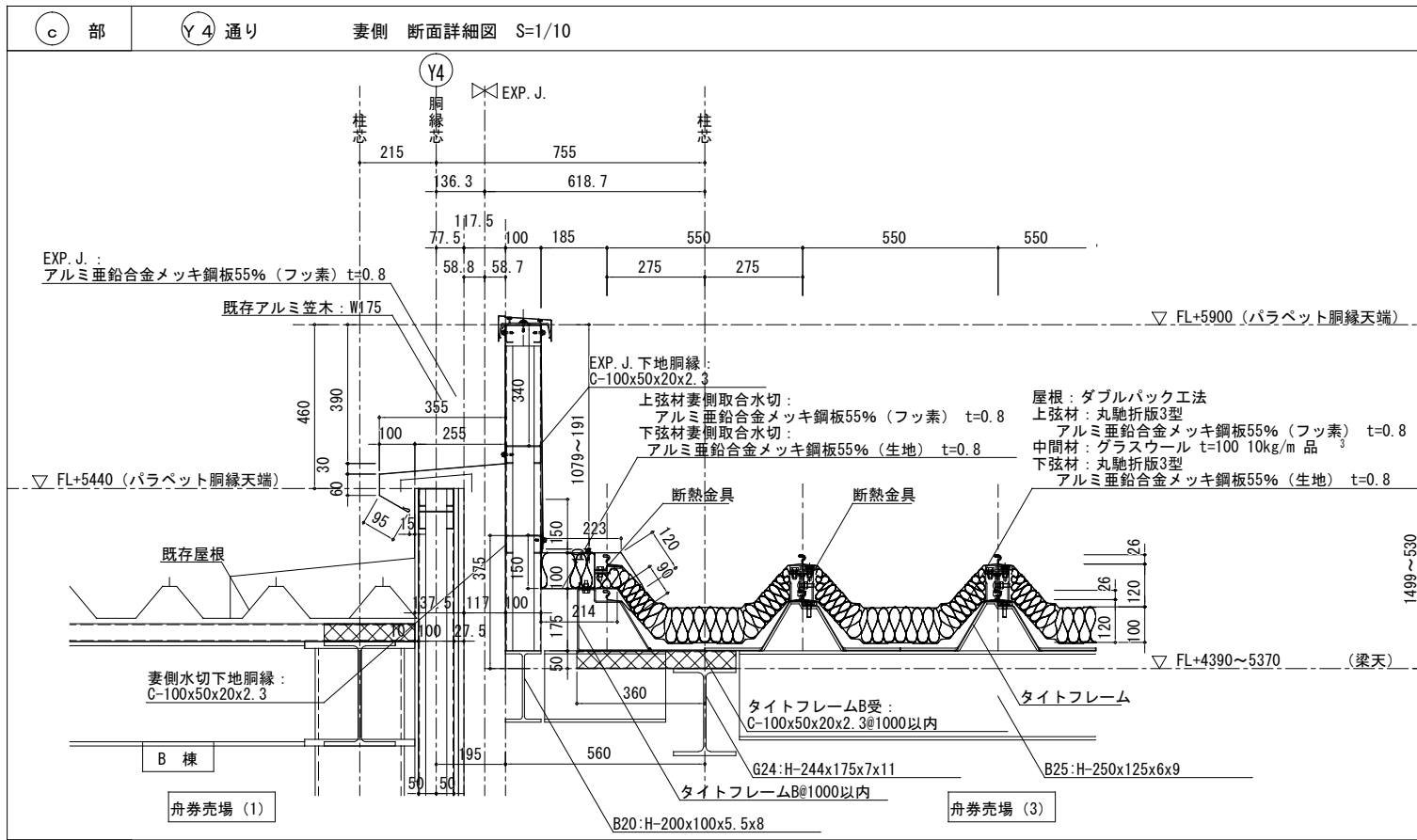


消火器BOX (埋込型消火器BOX (中部CO FB-1T-05 同等品))

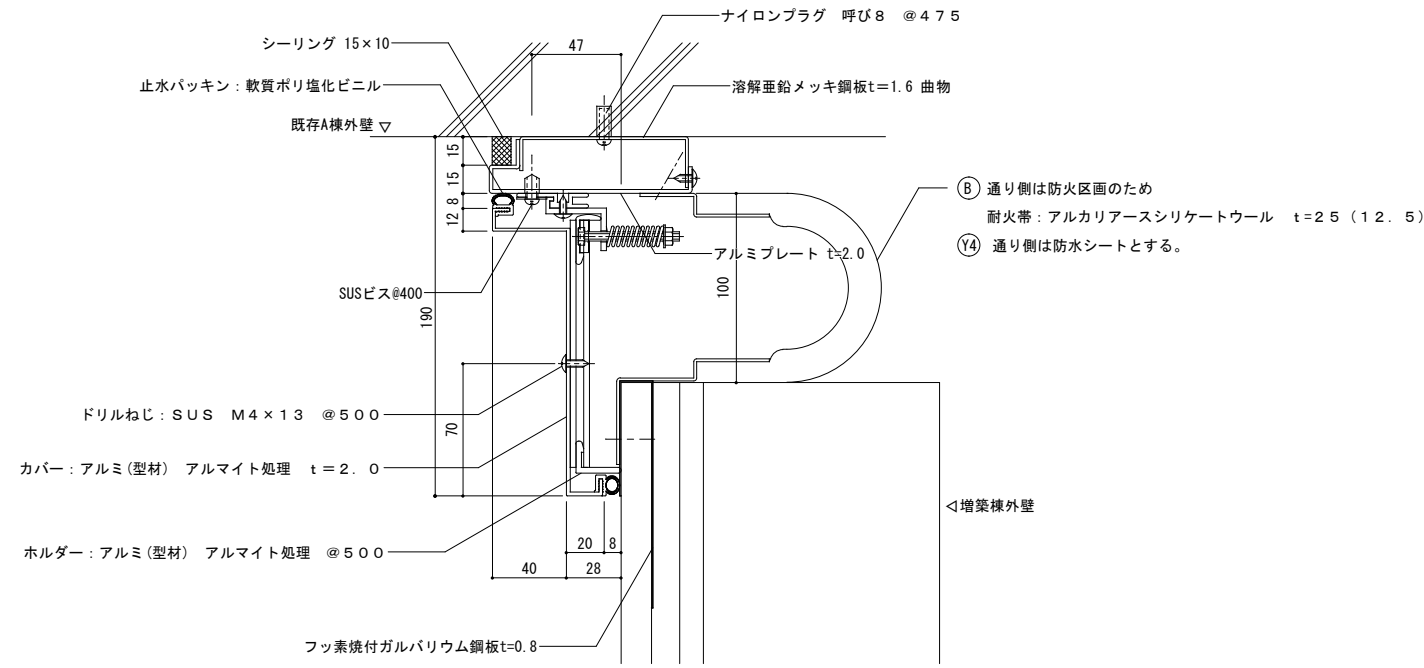


X6 通り 外部喫煙所庇詳細図

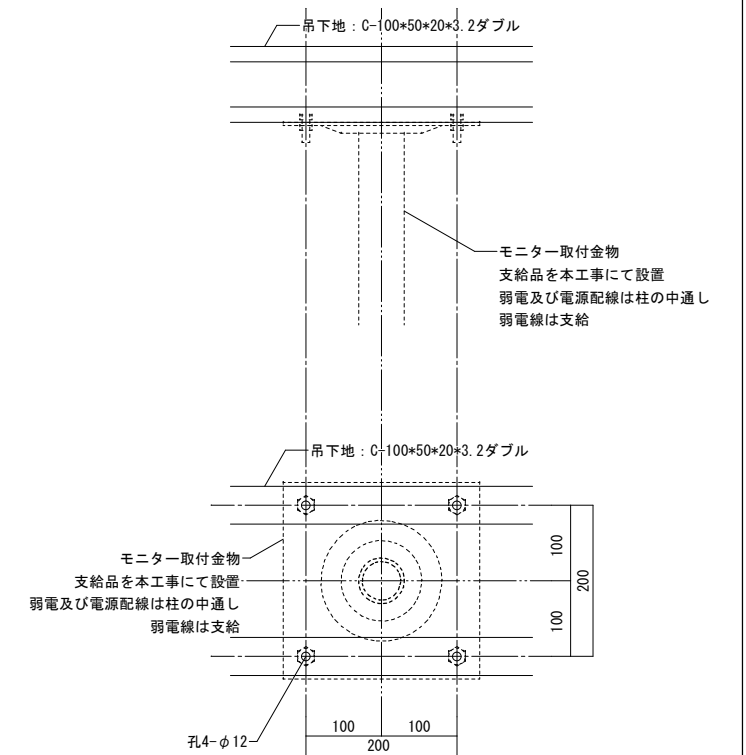
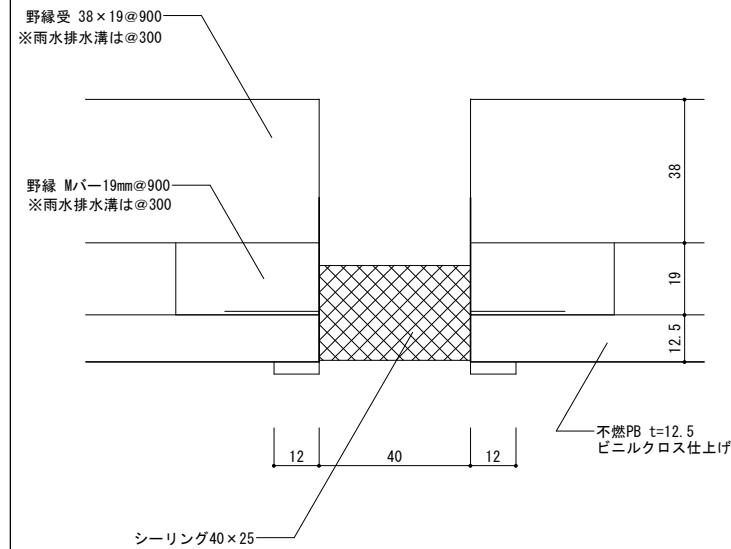
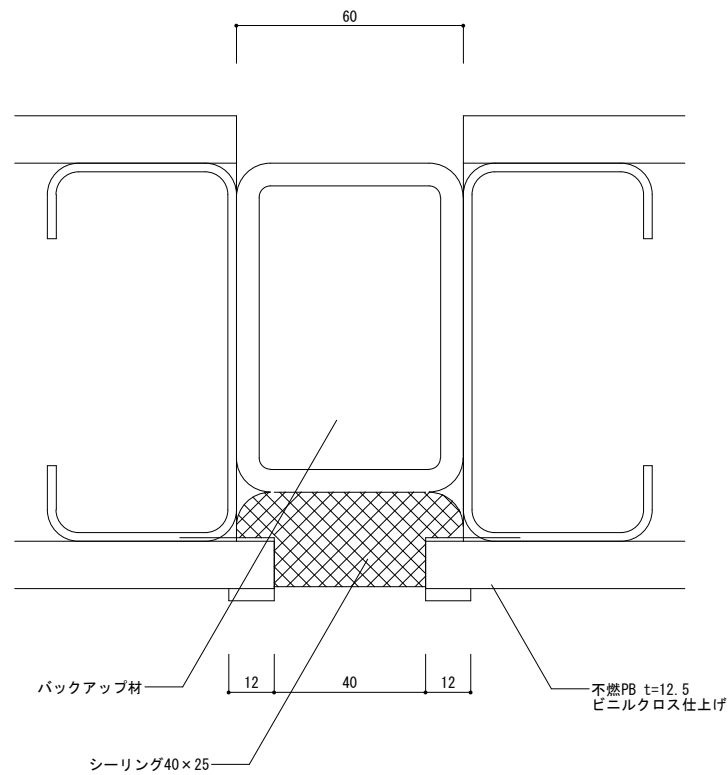
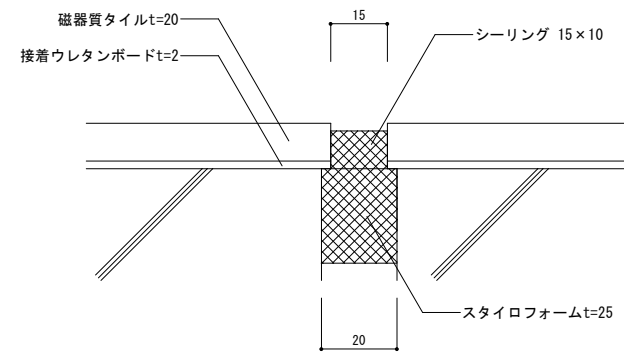
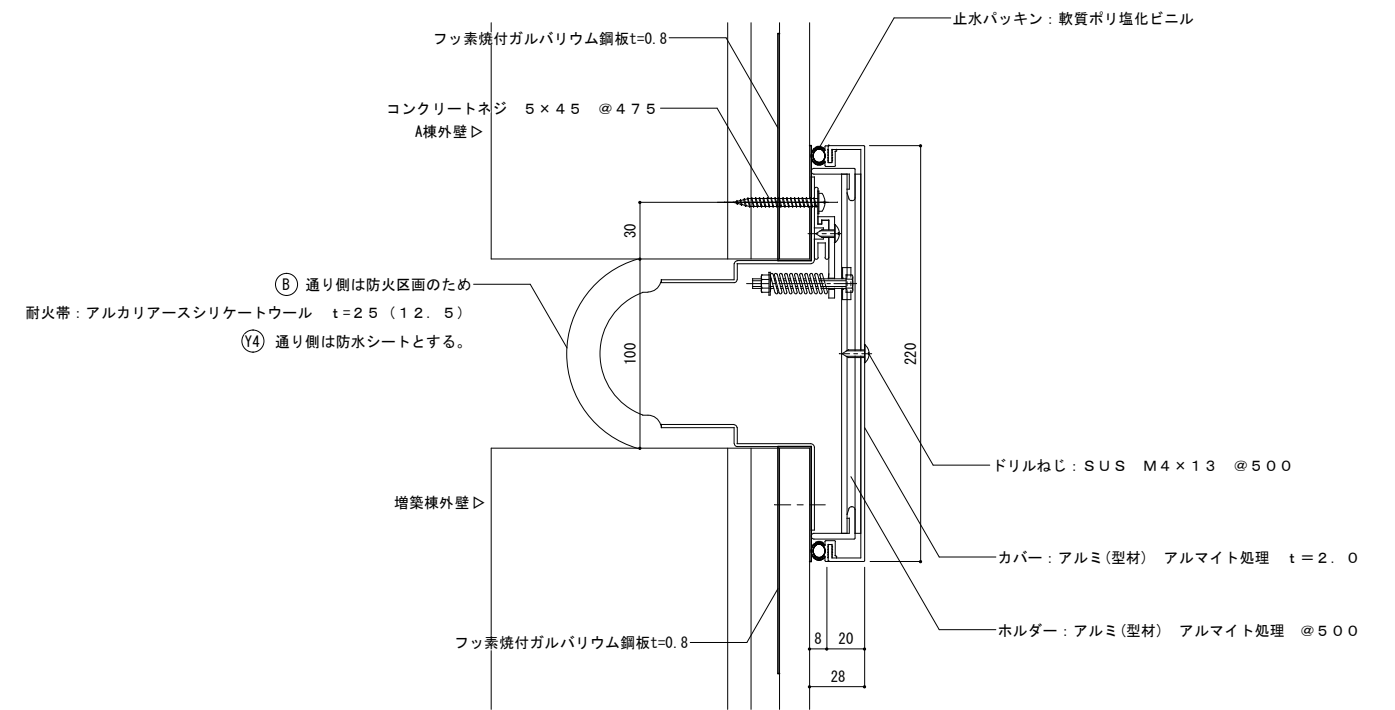




年月日	訂正	鳴門市企業局ポートレース事業課	備考 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都墨田区業平2-14-6ロースビル3F TEL:03-3626-8284 FAX:03-3626-8289	作成承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般庶棟増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 部分詳細図 (3)	縮尺 A1 1:5 A3 1:10	設計NO 整理NO	図面NO A-036
-----	----	-----------------	--	---	------------	--	-------------------------	--------------	---------------

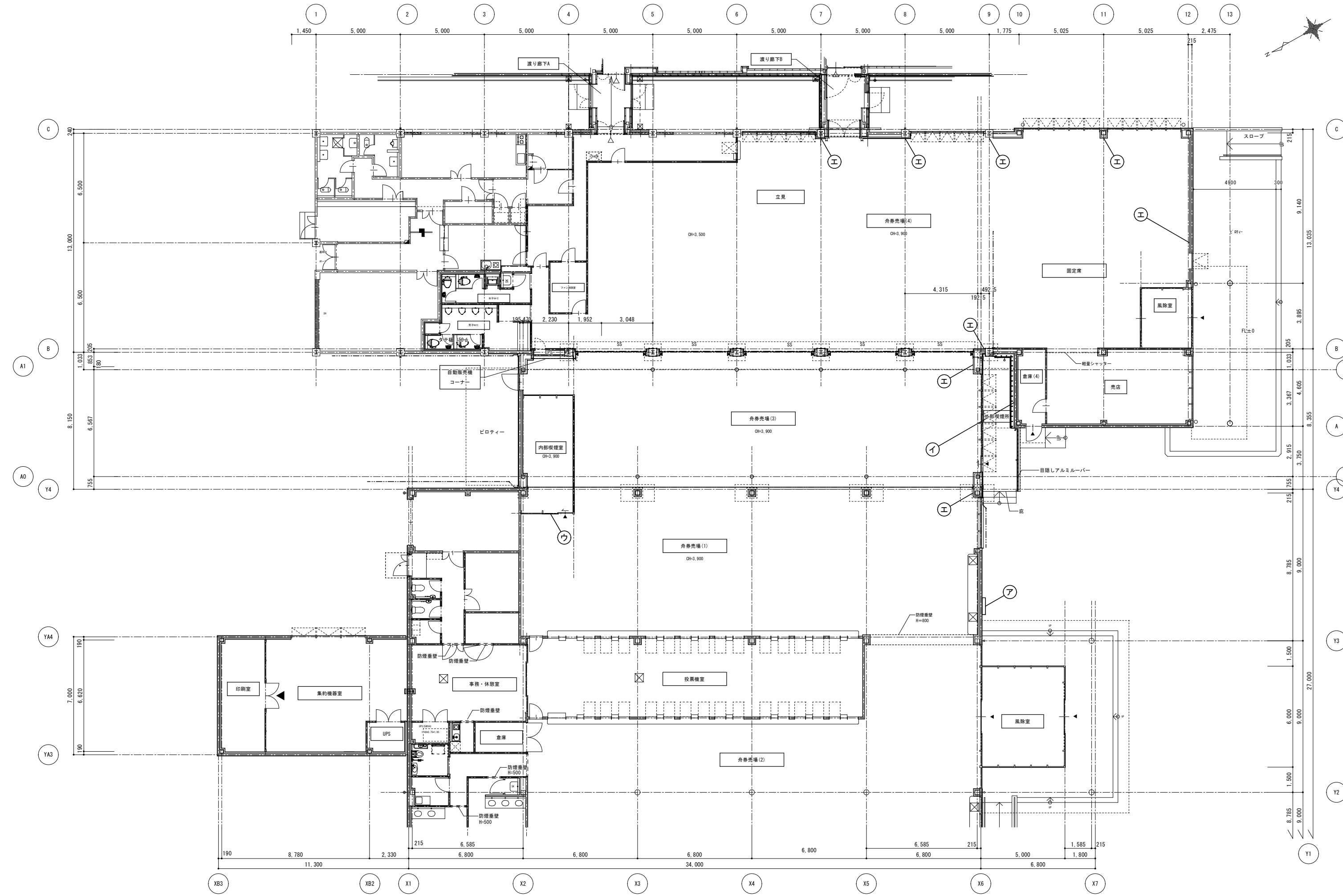


※各EXP.Jの箇所はA-0211に示す。



※配置はA-0271に示す。

訂正	年月日	内容	備考	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大庭登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成	承認	工事名称	設計NO	図面NO
			※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。				エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事		A-037
					発行		図面名称	縮尺	
							部分詳細図(4)	A1 1:10 A3 1:20	整理NO



訂正	年月日		備考 ※建築仕様等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大沼登雄 164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6 ロースビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO	図面NO
							整理NO	A-038

ア	屋外	施設名称	S=1:10	イ	屋外	喫煙所	S=1:3	ウ	屋内	喫煙室	S=1:3

箇所数	1	箇所数	1	箇所数	1
仕様	LED内照式、スチール下地、アルミ枠(シート張り)、FFシート、開閉式	仕様	カラーアクリル板t=3、カットティングシート、アルミ複合板t=3 200*200下地	仕様	カットティングシート
設置面/設置方法	アルミスバンドレル / アンカーボルト	設置面/設置方法	窯業系サイディング / ケミカルアンカー	設置面/設置方法	ガラス / 直貼り

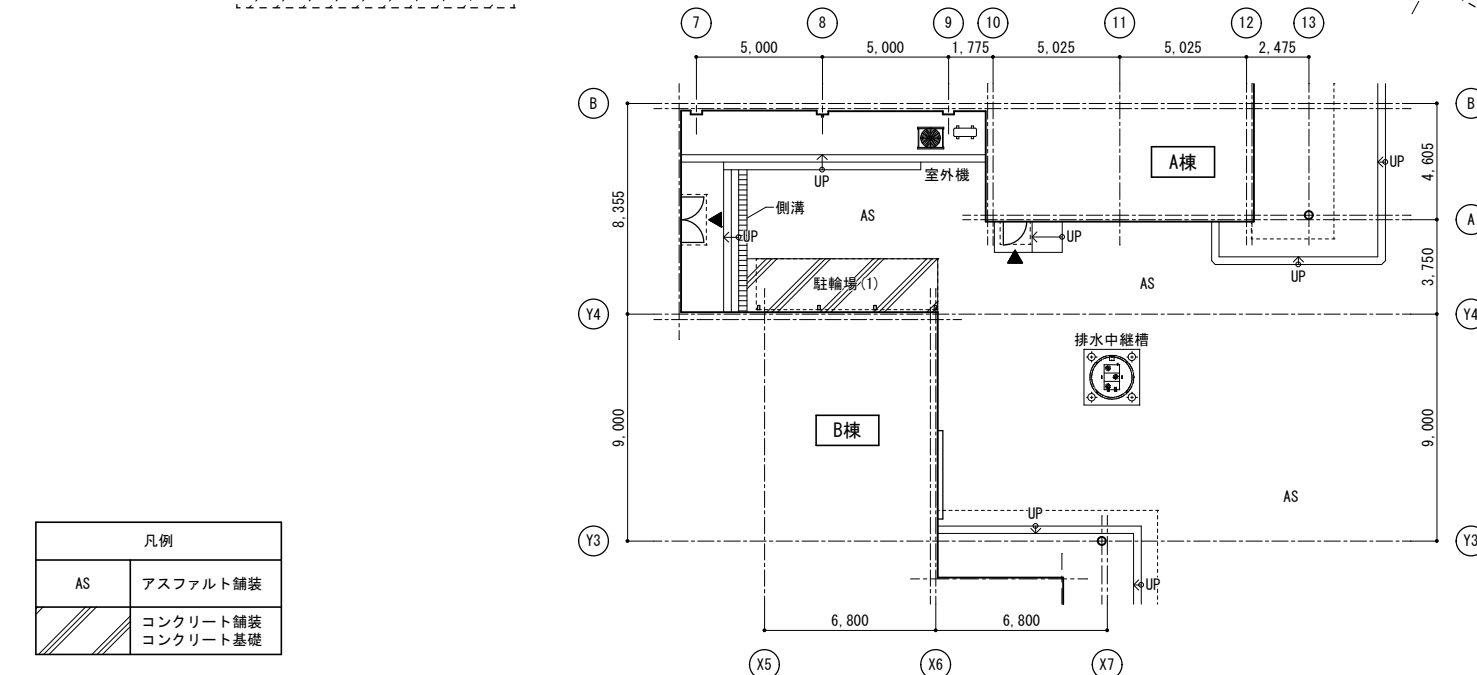
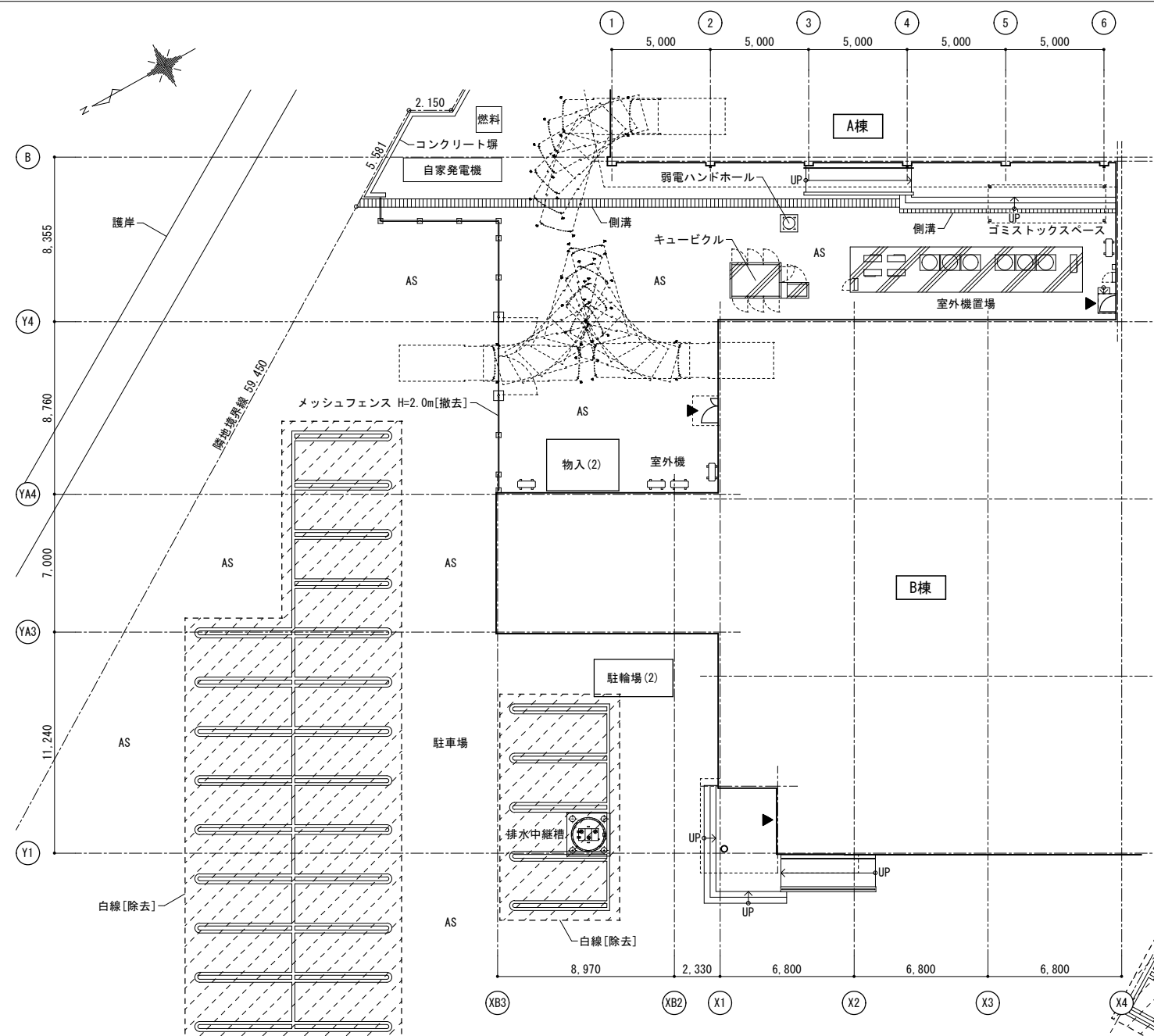
エ	屋内	禁煙	S=1:3				
---	----	----	-------	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--

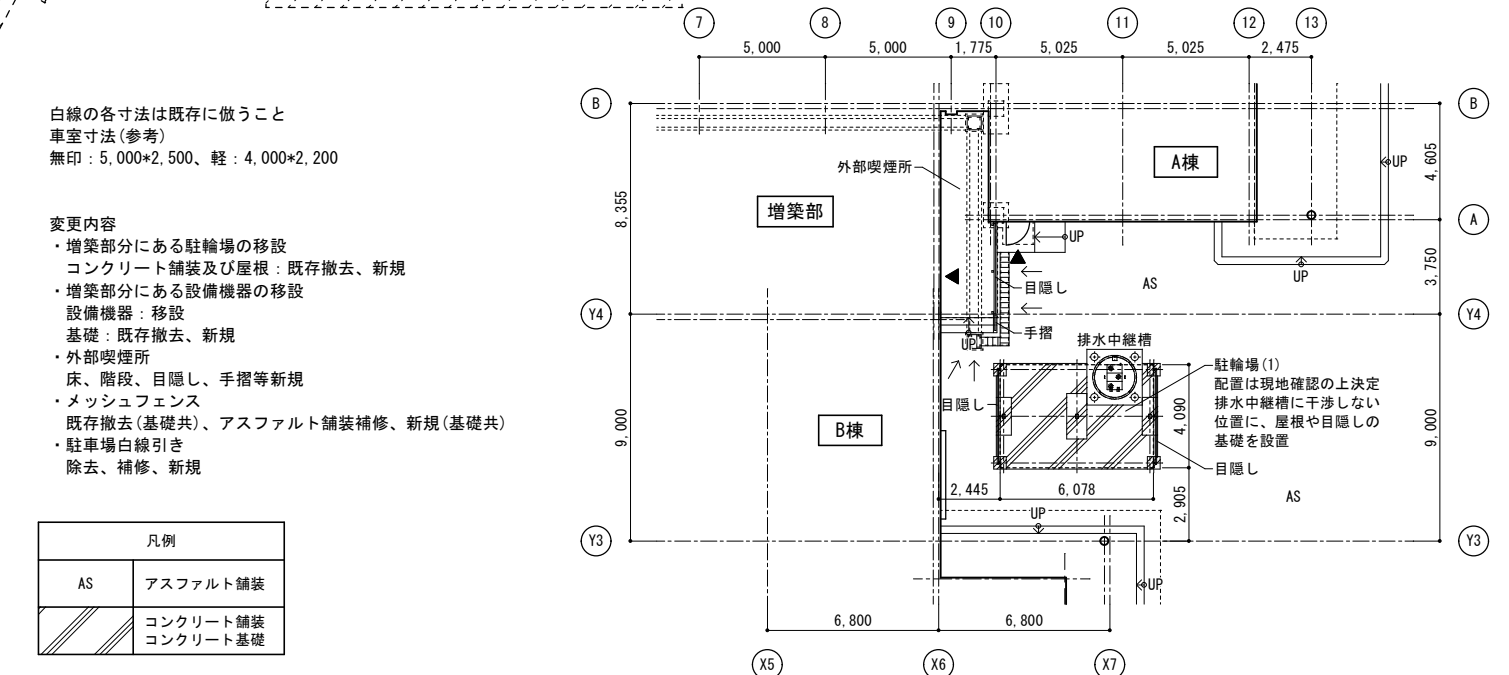
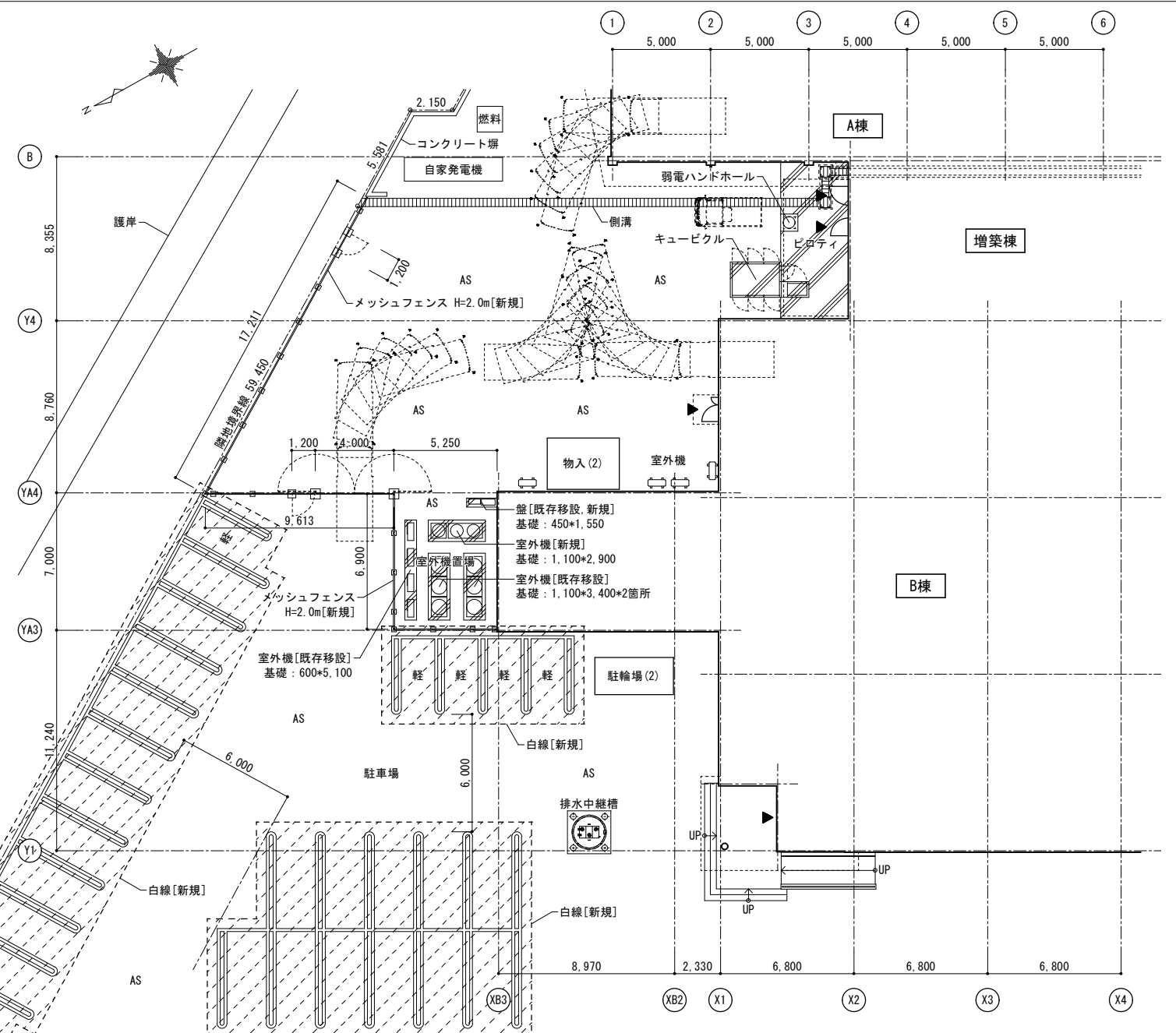
箇所数	8	箇所数		箇所数	
仕様	カラーアクリル板t=3、カットティングシート、アルミ複合板t=3 200*200下地	仕様		仕様	
設置面/設置方法	石膏ボード+ビニルクロス / プラスチックアンカー+粘着テープ	設置面/設置方法		設置面/設置方法	

--	--	--	--	--	--	--	--	--

箇所数		箇所数		箇所数	
仕様		仕様		仕様	
設置面/設置方法		設置面/設置方法		設置面/設置方法	



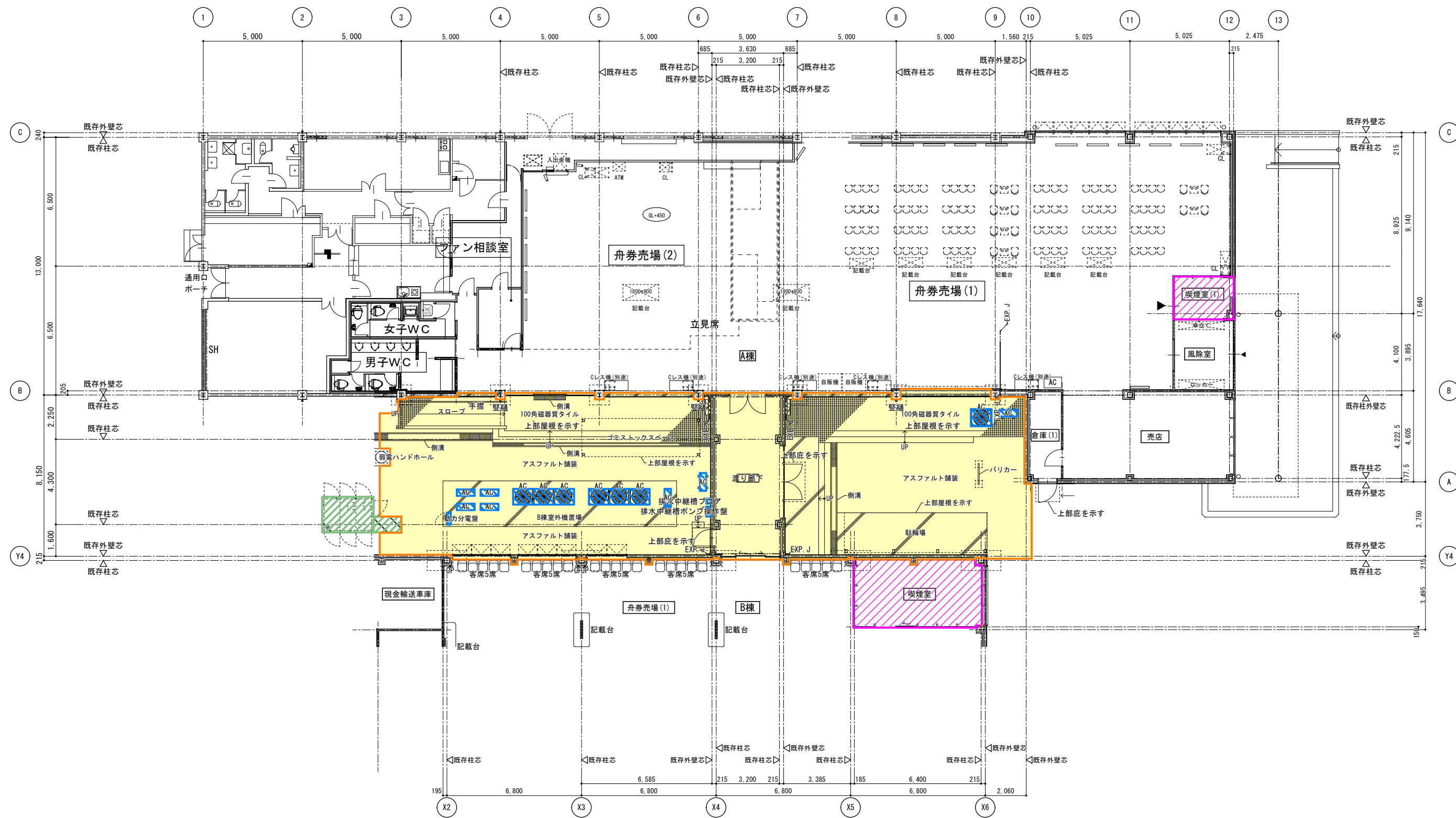
凡例	
AS	アスファルト舗装
	コンクリート舗装
	コンクリート基礎



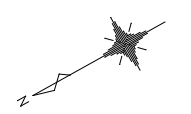
白線の各寸法は既存に倣うこと
車室寸法(参考)
無印: 5,000*2,500、軽: 4,000*2,200

- 変更内容
- 増築部分にある駐輪場の移設
 - コンクリート舗装及び屋根: 既存撤去、新規
 - 増築部分にある設備機器の移設
 - 設備機器: 移設
 - 基礎: 既存撤去、新規
 - 外部喫煙所
 - 床、階段、目隠し、手摺等新規
 - メッシュフェンス
 - 既存撤去(基礎共)、アスファルト舗装補修、新規(基礎共)
 - 駐車場白線引き
 - 除去、補修、新規

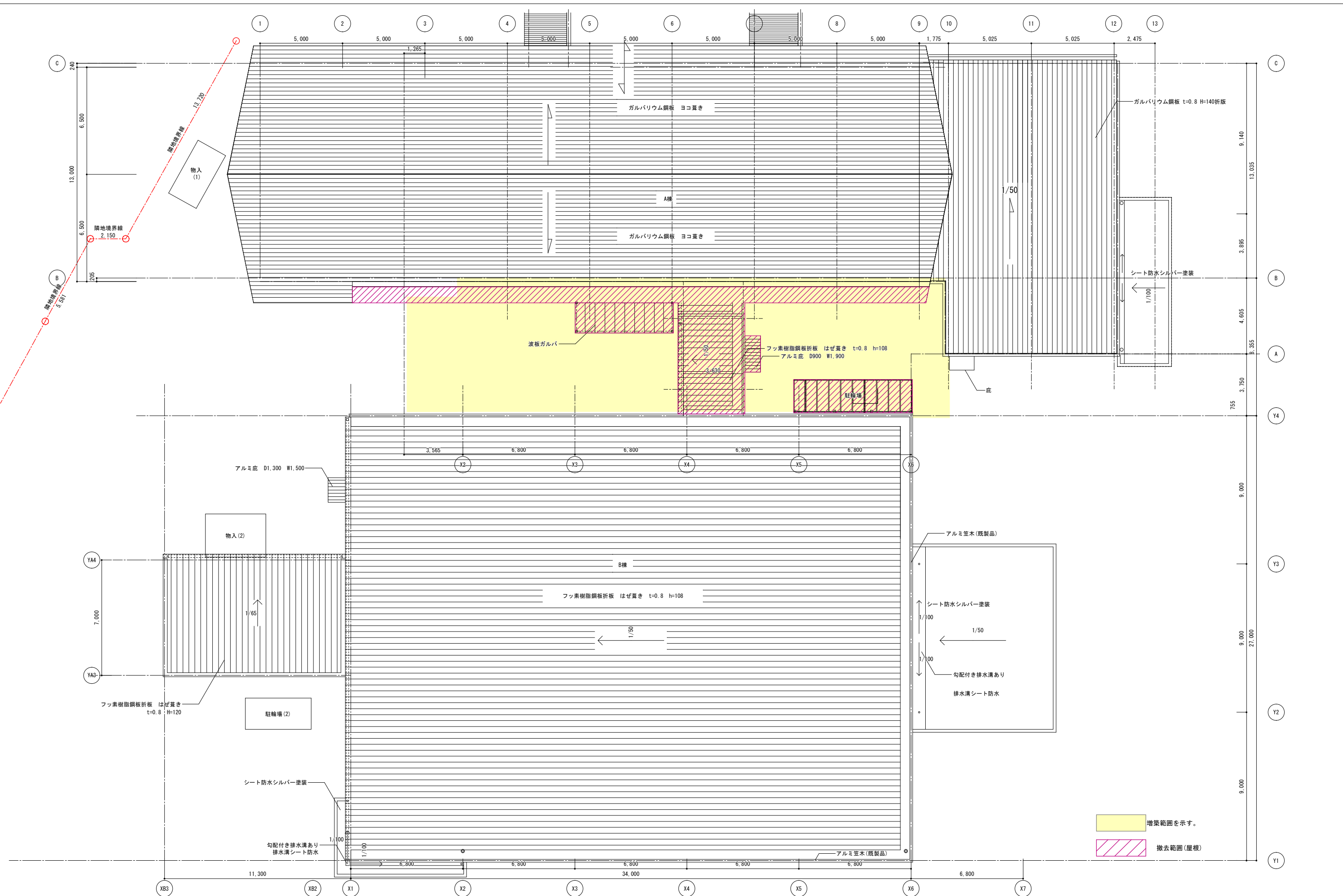
凡例	
AS	アスファルト舗装
	コンクリート舗装
	コンクリート基礎



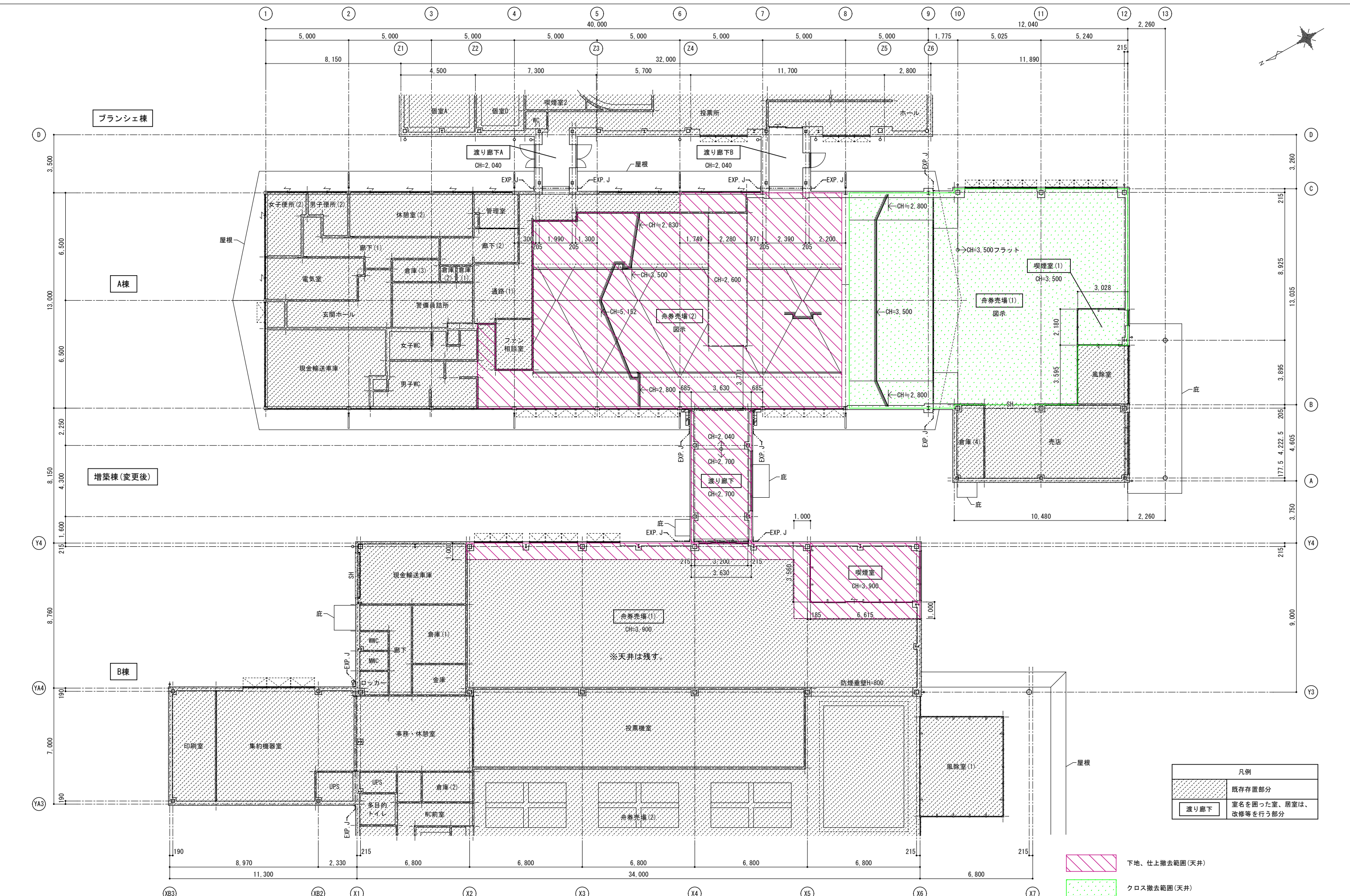
増築範囲 (増築範囲にかかるものは特記なき限り撤去)
 設備機器移設
 存置範囲
 撤去範囲



訂正		鳴門市企業局ポートルース事業課	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大沼登輝 164276号 中野 和敬 東京都墨田区東平2-14-6 ロータスビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 解体範囲図 (1)	設計NO 整理NO 縮尺 A1 1:50 A3 1:100	図面NO A-101
----	--	------------------------	--	----------------	---	---	----------------------



訂正	年月日	鳴門市企業局ポートレース事業課	備考 ※諸官庁指図等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大沼登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区東平2-14-6ロースズビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成	承認	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO	図面NO
					発行		図面名称 解体範囲図(2)	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	整理NO



凡例	
	既存配置部分
	室名を囲った室、居室は、改修等を行う部分

- 下地、仕上撤去範囲(天井)
- クロス撤去範囲(天井)

ソイルセメントコラム工法特記仕様書

『建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針』日本建築センター

1、工法概要

本地業はスラリー状のセメント系固化材を地盤に注入しながら、現地盤土と機械的に攪拌し、固化材の化学反応により所要の強度を持つ改良体(ソイルセメントによるパイル)を構築するものである。

2、一般事項

(1) 工事に先立ち、施工計画書を管理員に提出する。施工計画は次の事項を明記する。

- 1)、建物概要、地盤概要
- 2)、工事内容(改良範囲、パイルの径、長さ、本数、設計基準強度)
- 3)、工事期間及び工程
- 4)、工事要領(使用固化材、配合計画、攪拌羽の昇降速度、噴出量等)
- 5)、施工機器
- 6)、施工管理方法
- 7)、品質管理の方法
- 8)、仮設備とその配置
- 9)、各種作業に従事する主たる人員の組織表
- 10)、施工記録の方法
- 11)、環境の保安対策
- 12)、安全対策
- 13)、建築請負者の本工事責任者名
- 14)、本工事施工業者名及び責任者名

3、特記事項

- (1) 本工事の施工業者は、本工法の施工技術に精通したもので、工事に先立ち試験施工を行った後、管理員の承認を得たものとする。
- (2) 改良範囲、パイルの径、掘削深度(改良長+空堀長)、本数配置等は設計図による。
- (3) ソイルセメントの設計基準強度は $F_c=800\text{kN/m}^2$ とする。
- (4) 支持層はN値11.5以上とする。
- (5) 本工事工法は、改良体強度の品質が変動係数30%以下で(共回り防止翼を装備)あることを『建築技術検査証明協会』に属する機関で証明された技術審査証明取得工法、財団法人建築総合試験所で証明された建築技術性能証明取得工法とする。

4、固化材の配合

- (1) 固化材液に使用する固化材は、セメント系固化材とし、設計基準強度、土質及び使用材用を十分に考慮し、室内配合試験又はメーカー指定配合量により、必要な強度が得られるように決定すること。
- (2) 配合方法: 混合用タンクには始めに所定量の水を入れ、その水を攪拌しながら所定量の固化材を投入し、十分に攪拌する。
- (3) 使用量: 固化材の配合はW/C60~80%とする。

5、施工

- (1) 固化材液の充填方法は、掘削時充填工法とする。
- (2) 施工に対して擬議が生じた場合はただちに管理員と協議し、その指示を受ける。

6、施工機器

- (1) 改良機本体は、本工事に必要な器具(施工管理用測定器を含む)を装備したもので、自走式とする。
- (2) 攪拌ロッドは、曲がりや欠損の無いものとし、共回り防止翼を装備したものである。
- (3) 固化材の混合タンクは所定噴出量を十分供給できるもの。

7、施工管理

- (1) 施工過程における管理方法は次の通りとする。
 パイル鉛直度: 改良機本体に設置された傾斜計で管理する。
 未固化改良体の確認: 抵抗測定ミキシングテスターで管理する(改良50箇所ごとに1箇所)。
 固化材液の作成: (水の計量) 水量計又は、水管計で計測を管理する。

- (固化材の計量) 袋数又は重量計で計測をおこなう。
- (固化材液の吐出量) 流量計で測量し記録する。
- (掘進速度) 改良機本体に設置された速度計で計測し記録する。
- (掘進深度) 改良機本体に設置された速度計で計測し記録する。

8、報告

工事完了後、次の事項について報告書をまとめ、管理員に提出する。

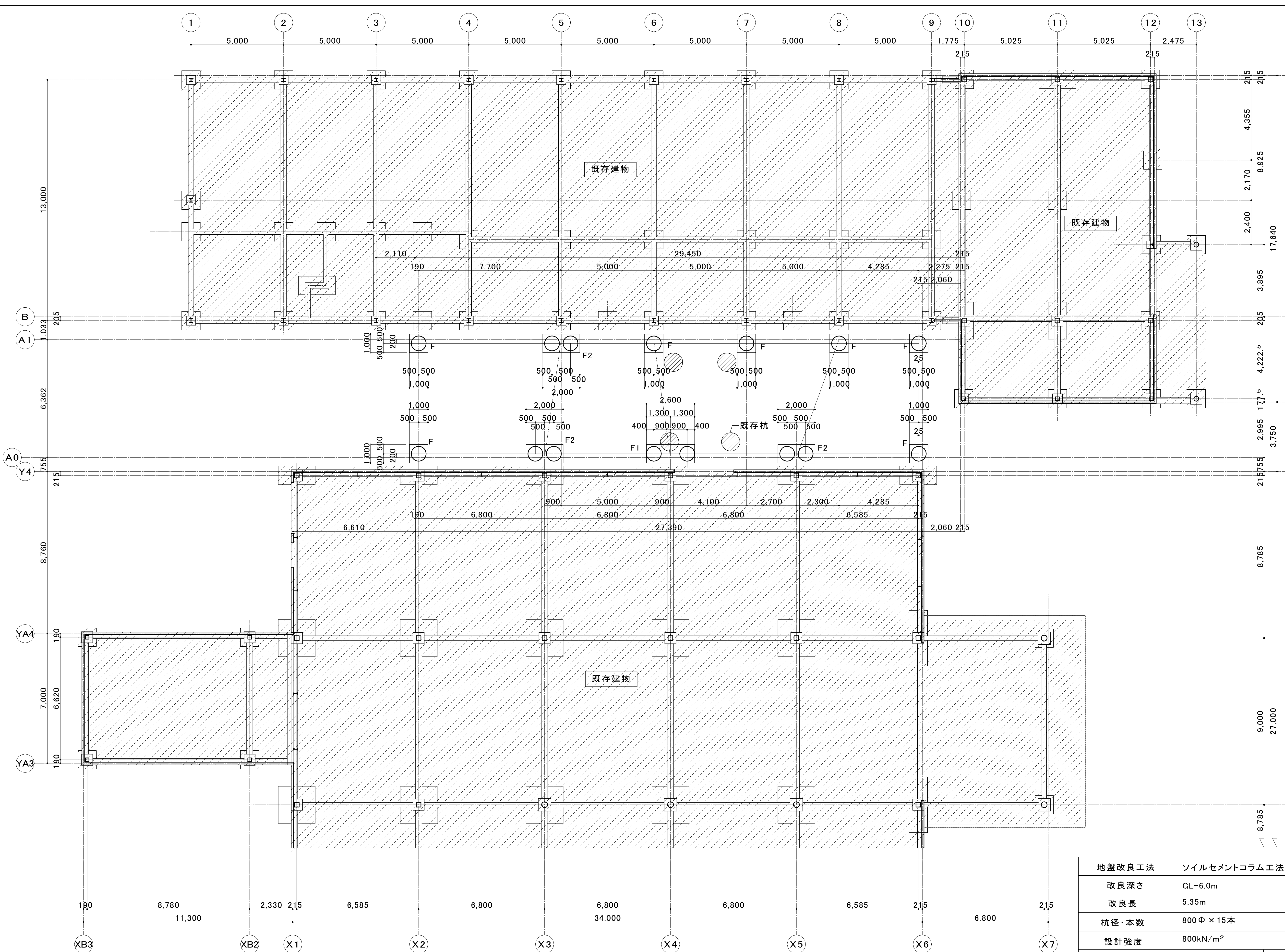
- (1) パイルの伏図及び番号
- (2) パイルの施工日
- (3) パイルの径及び長さ
- (4) 掘削深度
- (5) 掘削速度及び引き抜き速度
- (6) 固化材液の配合と固化材の使用量
- (7) コアの強度管理試験結果
- (8) 未固化改良体の比抵抗測定(ミキシングテスター)の測定結果

供試体(コアの採取)

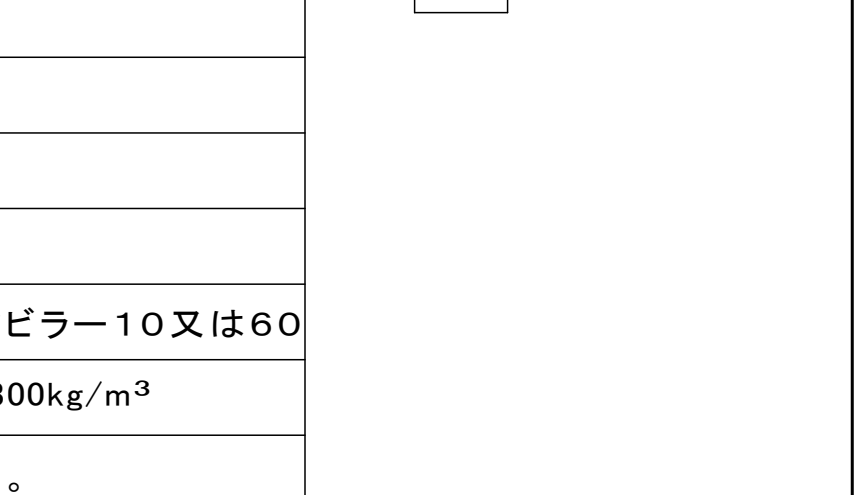
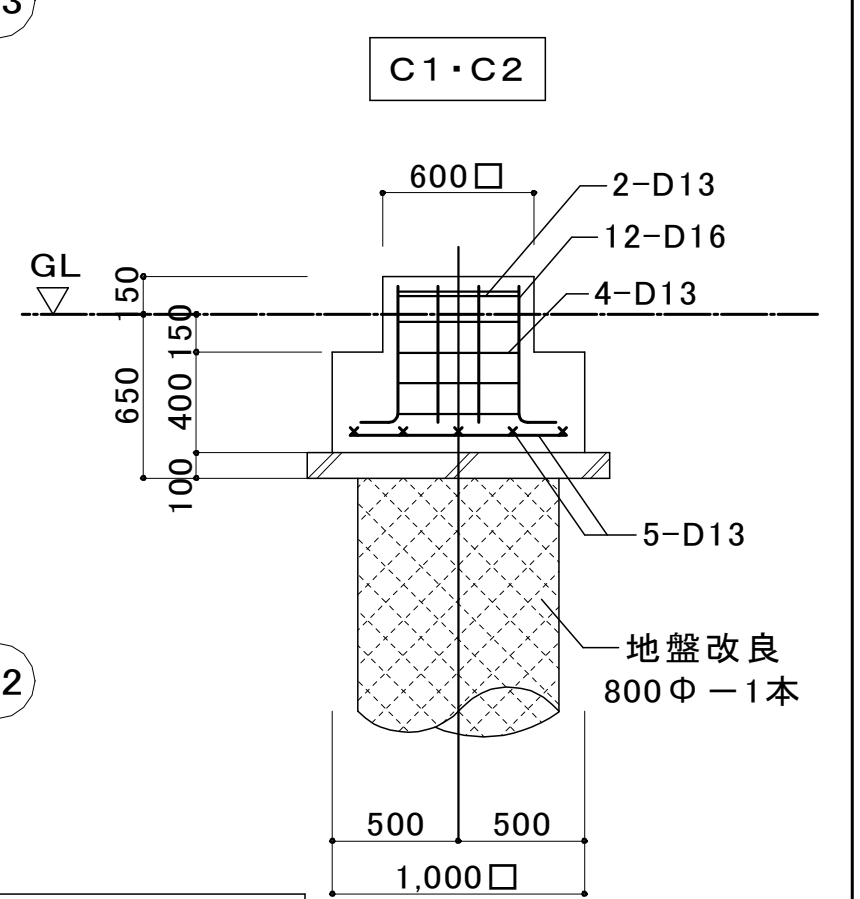
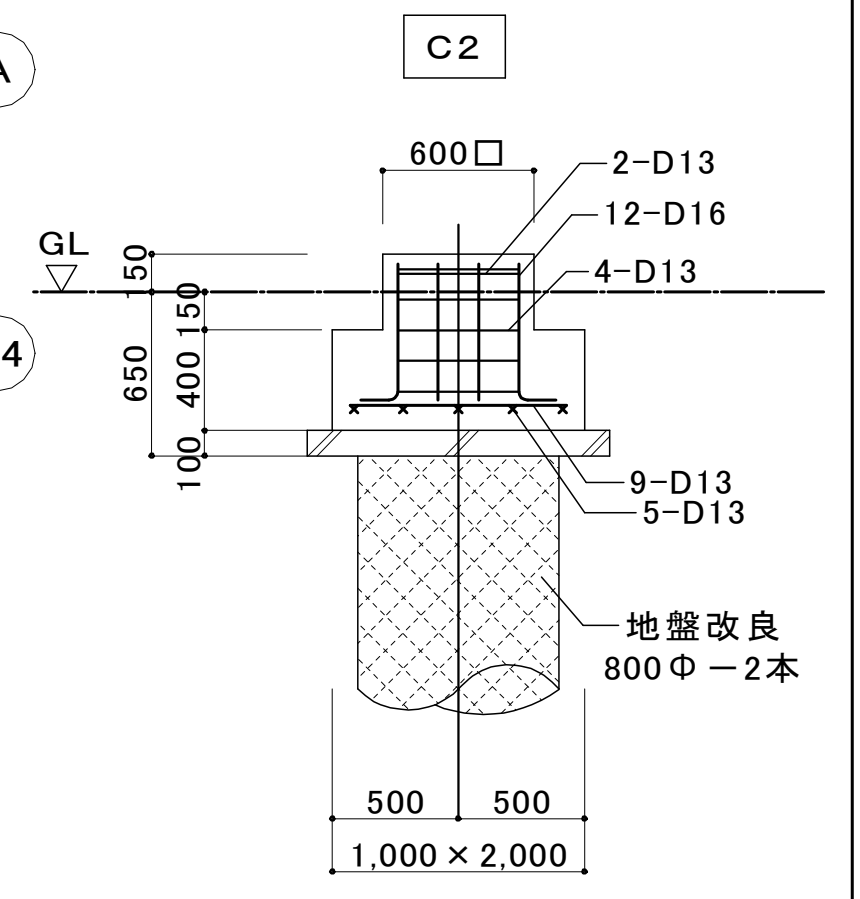
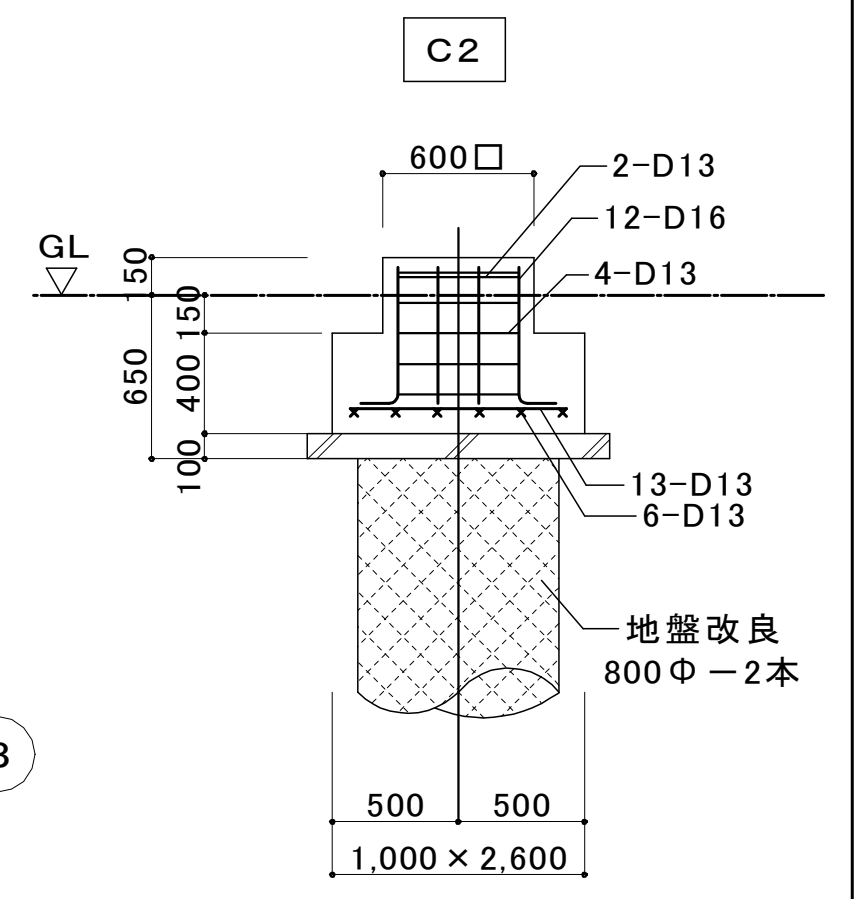
建築センターの指針により、設計時想定する検定結果による変動係数の推定値を30%以下、不良率を10%以下とする。

深度コアの採取は深度モールドコアサンプラーを使用する。

訂正	年	月	日	備 考 ※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都墨田区業平2-14-6 ロータスビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作 成	承 認	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO	図面NO
						発 行		図面名称 縮 尺	整理NO	KS-1
				鳴門市企業局ポートレース事業課				地盤改良特記仕様書		

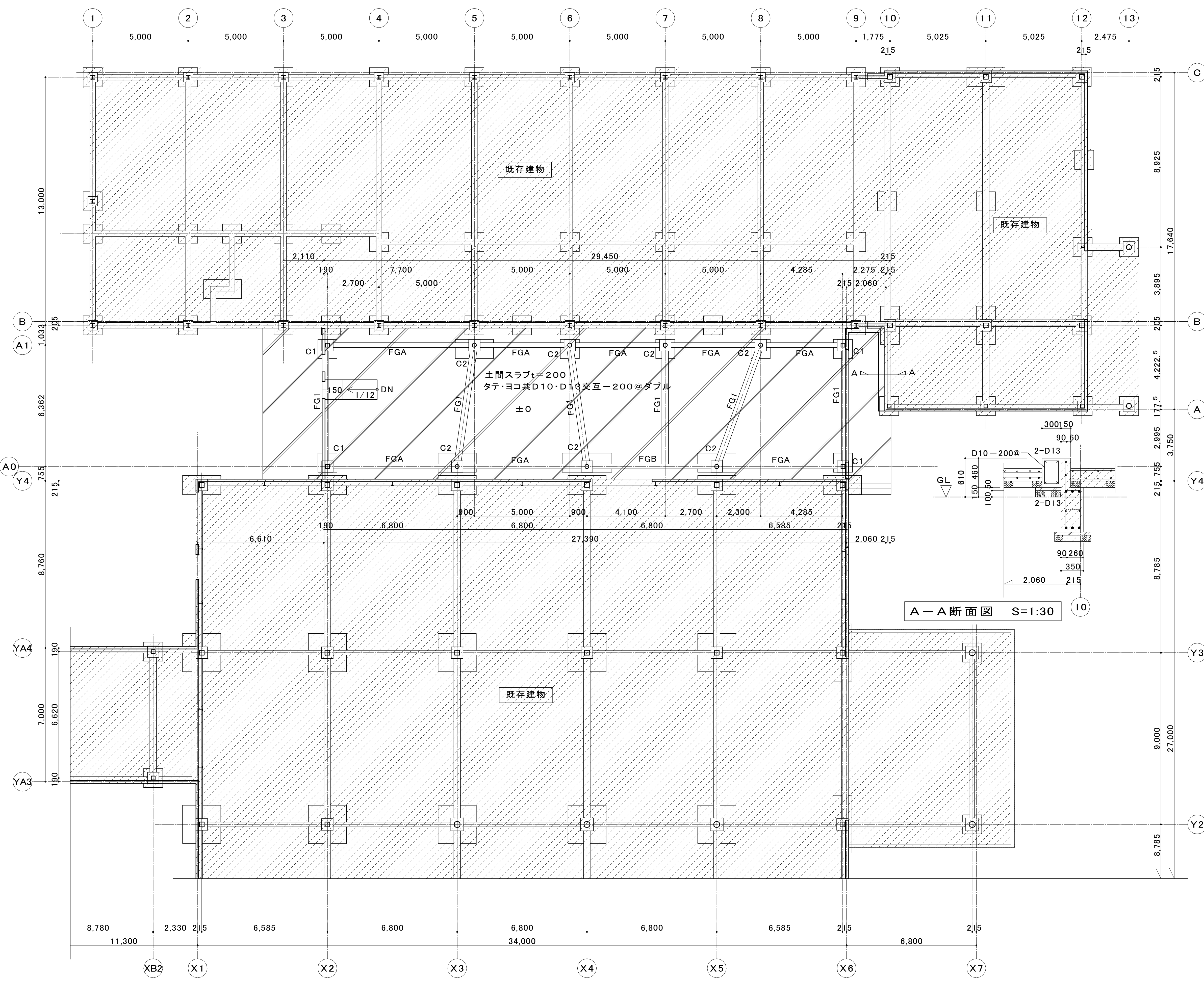


	F・F2	F1
長期許容支持力度	130kN/m ²	100kN/m ²
短期許容支持力度	260kN/m ²	200kN/m ²



地盤改良工法	ソイルセメントコラム工法	
改良深さ	GL-6.0m	
改良長	5.35m	
杭径・本数	800φ × 15本	
設計強度	800kN/m ²	
固化材推定配合量	固化材の種類	ユースタビラー10又は60
	配合量	300kg/m ³
固化剤添加量は、室内配合試験を行い決定すること。		

既存建物
 地盤改良伏図 S=1:100
事前に地中障害物の確認を行うこと。



基礎伏図 S=1:100

既存建物

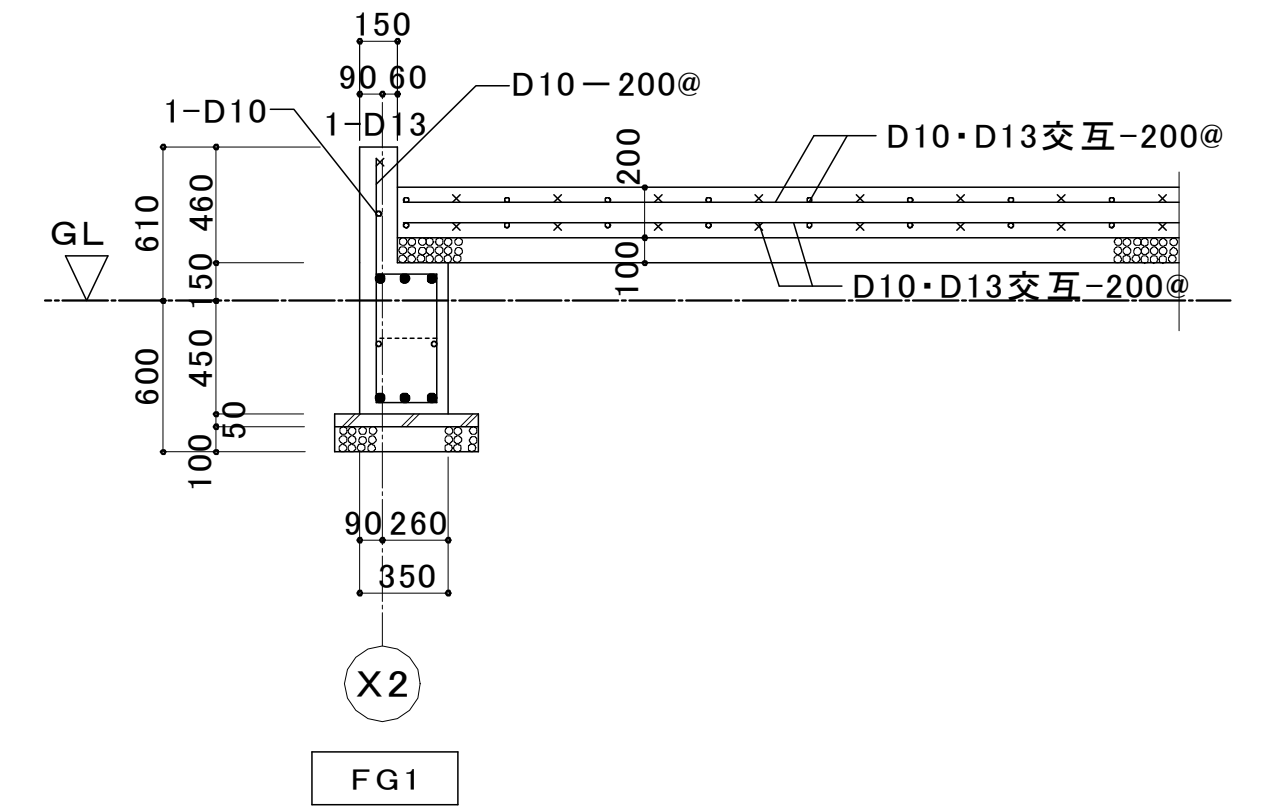
地中梁断面リスト S=1:30

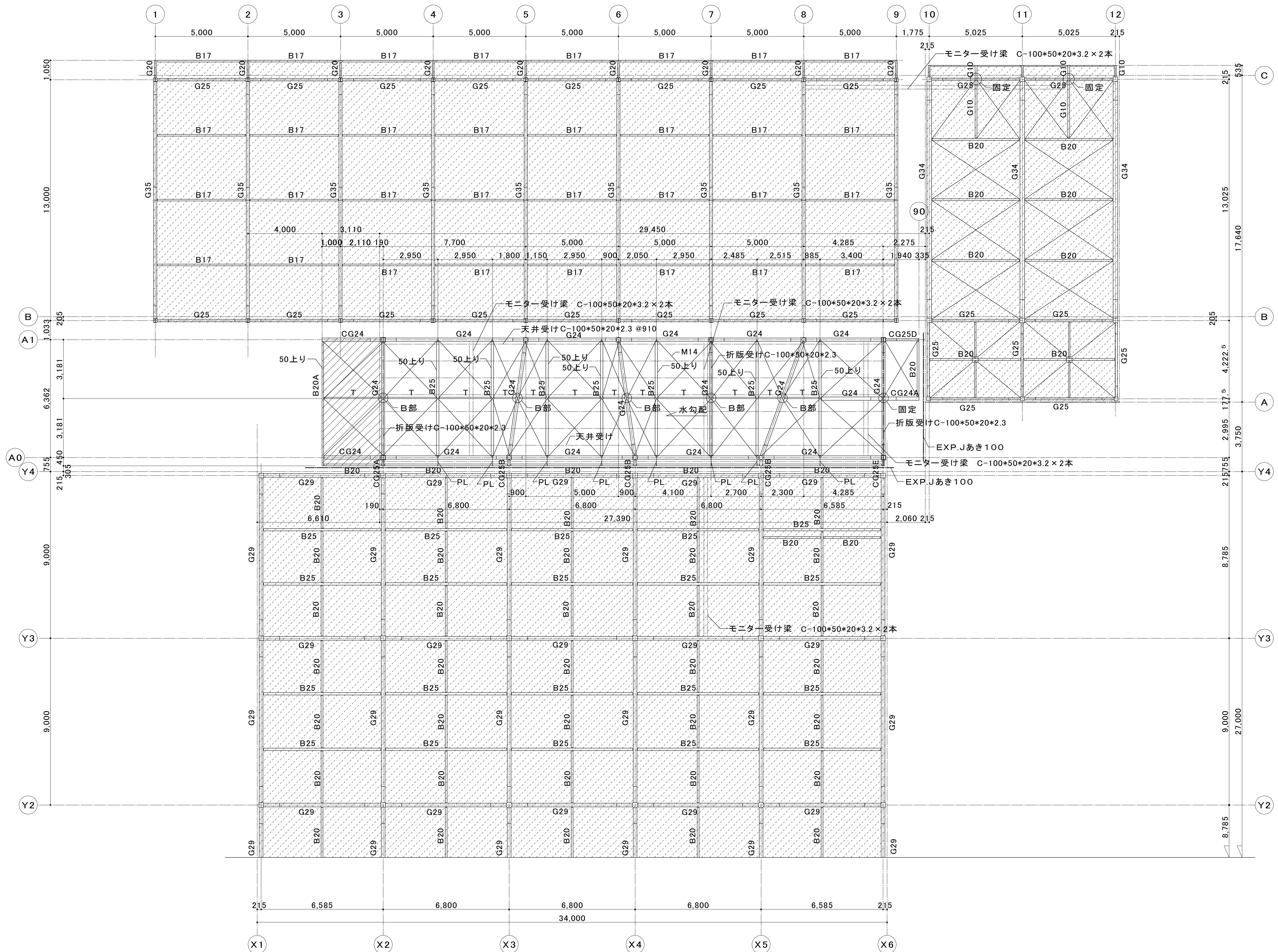
符号	FG1	FGA	FGB
位置	全断面	全断面	全断面
F階			
	()は中央のみ		()は中央のみ
B × D	350 × 600	250 × 600	250 × 600
上端筋	3-D19	2-D19	2-D19
下端筋	3-D19(3/1-D19)	2-D19	2-D19(2/1-D19)
STP	D10-200@	D10-200@	D10-200@
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10

特記無き限り下記による。
巾止め筋はD10@800程度とする。

- 鉄筋コンクリート仕様
- コンクリート
- 普通コンクリートの設計基準強度(N/mm²)
基礎・地中梁・土間スラブ 21
捨てコン 18
 - レディーミクストコンクリートの種別
JIS A 5308 ■ I 類 □ II 類
 - セメントの種類
■ 普通ポルトランドセメント(JIS R 5210)
 - 骨材
砕石及び砕砂(JIS A 5005)アルカリシリカ反応性による区分
■ A
粗骨材の塩化物量(%)
■ 0.04%以下
 - 混和材料の種類
■ 混和剤 AE減水剤(標準形 I 種)
 - 普通コンクリートの調合
所要スランブ(cm) 基礎・地中梁 18
土間スラブ・捨てコン 15
単位水量(最大値) 185kg/m³
単位セメント量(最小値) 270kg/m³
水セメント比(最大値) 65%
粗骨材の最大寸法(mm) 20
 - 試験及び養生方法
■ 圧縮強度試験 標準養生
 - 型枠の存置期間及び取外し
■ コンクリートの材齢による(日)15度C以上 3日
5度C以上 15度C未満 5日
5度C未満 8日
 - 水
■ 上水 上澄水

A-A断面図 S=1:30





R階梁伏図 S=1:100

既存建物
 溶融亜鉛メッキ

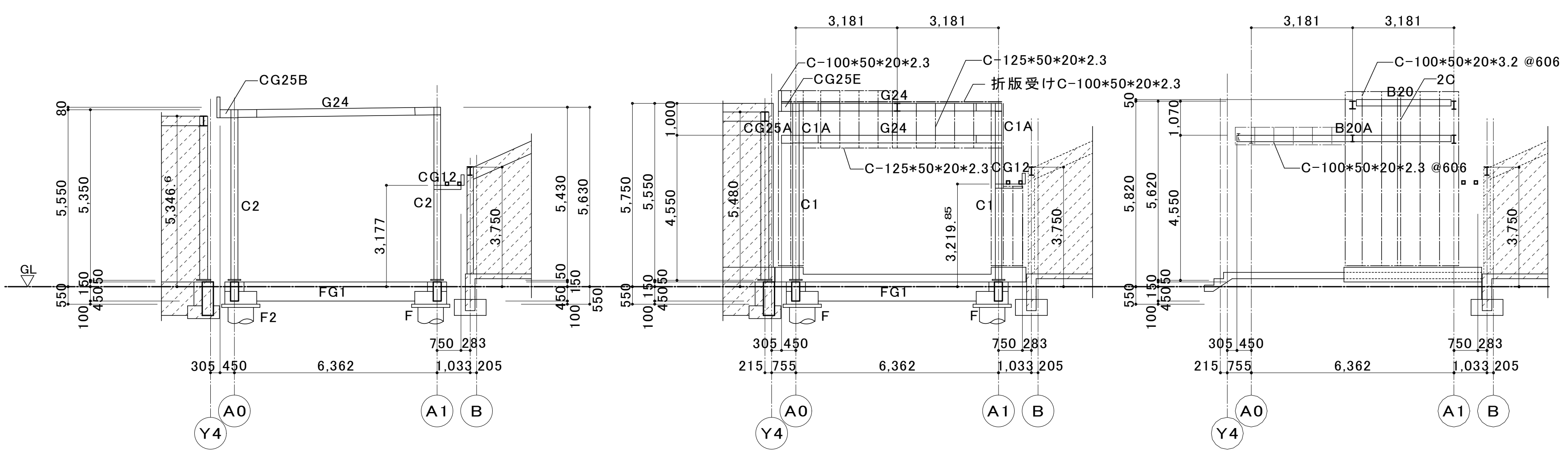
訂正	年月日		鳴門市企業局ポर्टレース事業課 <small>※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。</small>	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 <small>一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都墨田区業平2-14-6ロータビル3F TEL:03-3626-8284 FAX:03-3626-8289</small>	作成 承認 発行	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 R階梁伏図	設計NO 整理NO 縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面NO KS-5
----	-----	--	--	--	----------------	--	--	--------------

部材リスト

記号	名称	サイズ	規格	種類
C1・C1A	柱	□-200×200×12	冷間ロール成形角型鋼管	BCR295
C2	"	○-216.3×8.2	JIS G 3444	STK400
P15	間柱	H-150×150×7×10	JIS G 3101	SS400
G24	大梁	H-244×175×7×11	"	"
CG24・CG24A	片持梁	H-244×175×7×11	"	"
CG25A・CG25B CG25C・CG25D CG25E	"	H-250×125×6×9	"	"
CG12	"	H-125×125×6.5×9	"	"
B25	小梁	H-250×125×6×9	"	"
B20	"	H-200×100×5.5×8	"	"
B20A	"	[-200×80×7.5×11	"	"
TF15	耐風梁	H-150×150×7×10(水平)	"	"
T	ツナギ梁	[-150×75×6.5×10	"	"
屋根面ブレース		M14ターンバックル筋交い	JIS	
胴縁	A1通5~X6間	ヨコ C-100*50*20*3.2 取付 2-M12(F4T)	JIS G 3350	SSC400
	X2通・X6通	タテ C-125*50*20*2.3 取付 2-M12(F4T)	"	"
モヤ	C-100*50*20*2.3 @606	取付 2-M12(F4T)	"	"

名称	仕様	規格	種類
通しダイヤフラム 内ダイヤフラム		JIS G3136	SN490C SN490B
柱脚			SN490C
高力ボルト	構造用トルシア形高力ボルト	国住指第4491号	MBLT-0125 S10T
	溶融亜鉛メッキ高力ボルト	国住指第309号	MBLT-9033 F8T
ボルト	中ボルト	JIS B 1180	F4T
溶接材料	MAG溶接用ソリッドワイヤRC11 (高張力鋼用被服アーク溶接棒)	JIS Z3321	YGW11

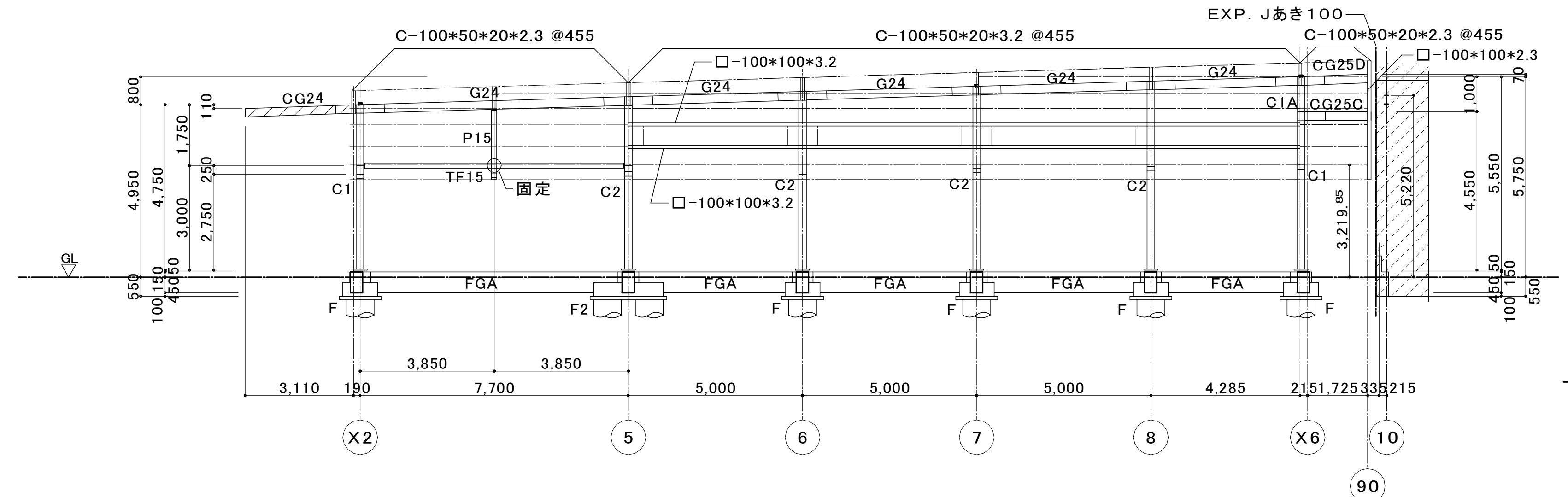
∴鉄骨製作工場は、国土交通省大臣認定Rグレード以上とする。



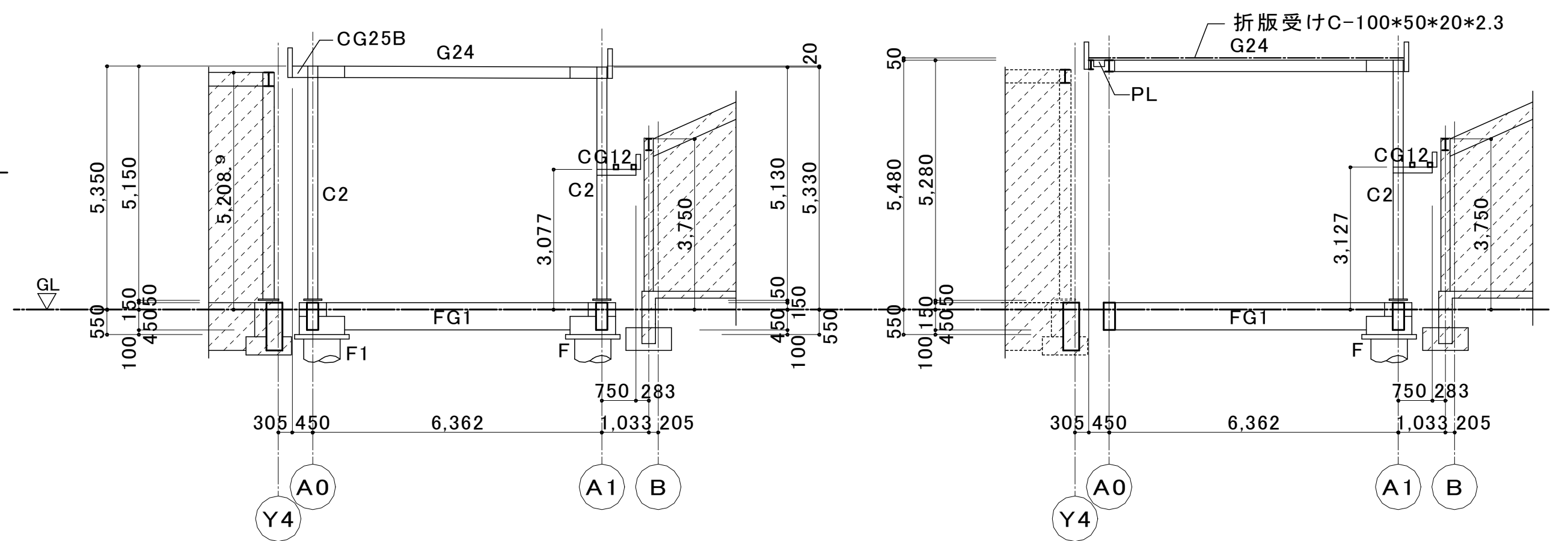
X5通~8通軸組図 S=1:100

X6通軸組図 S=1:100

90通軸組図 S=1:100

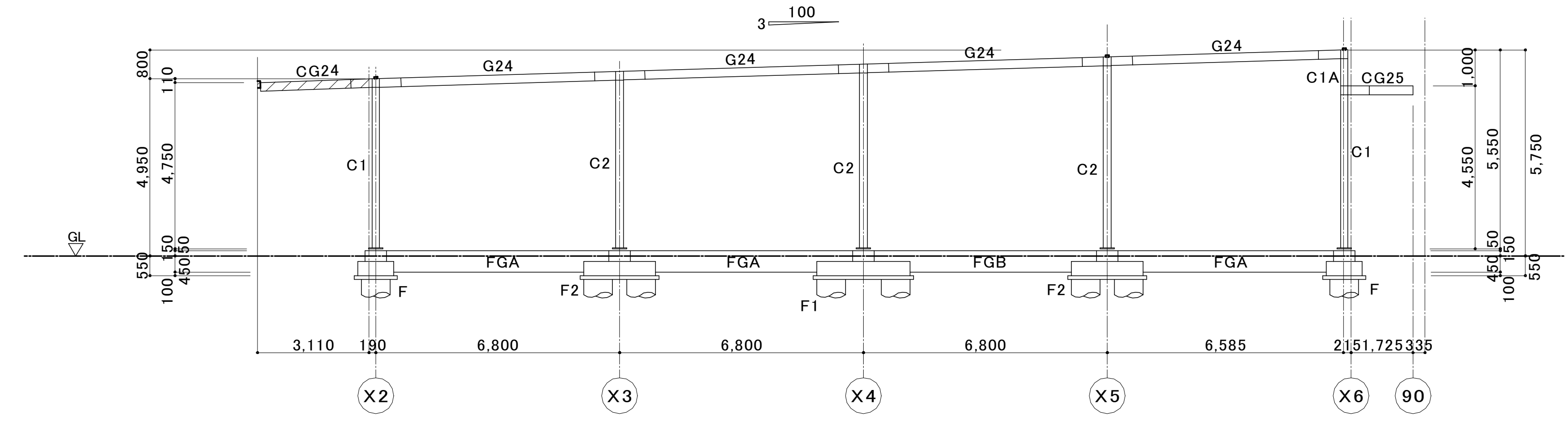


A1通軸組図 S=1:100

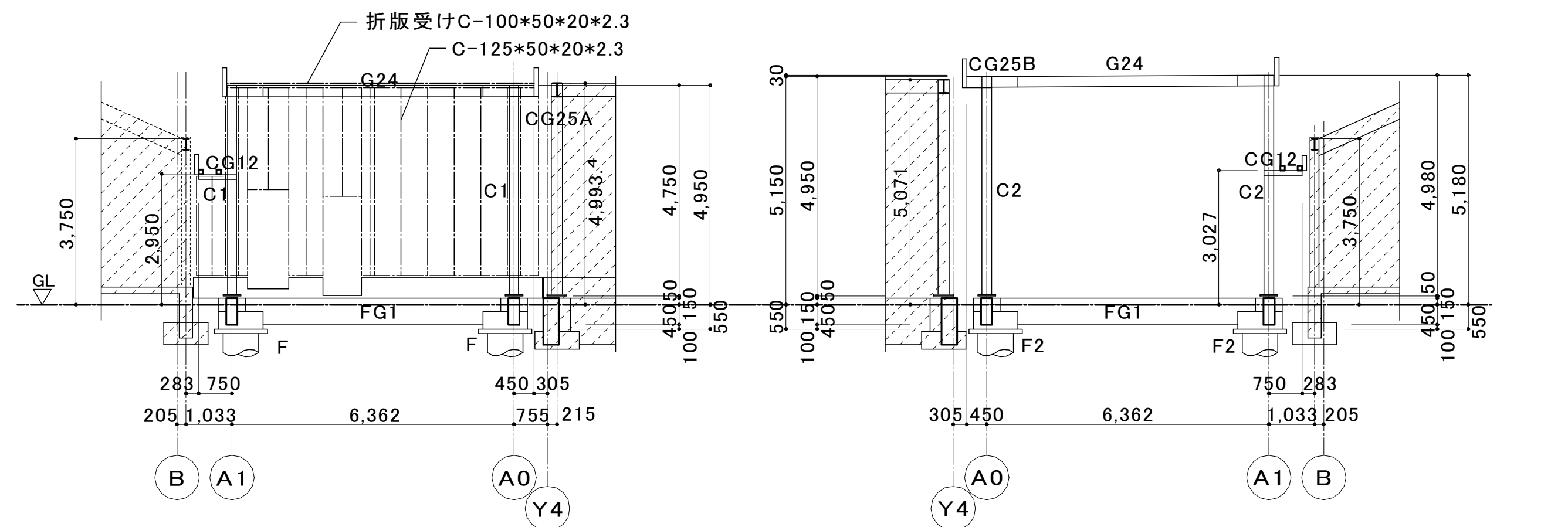


X4通~6通軸組図 S=1:100

7通軸組図 S=1:100



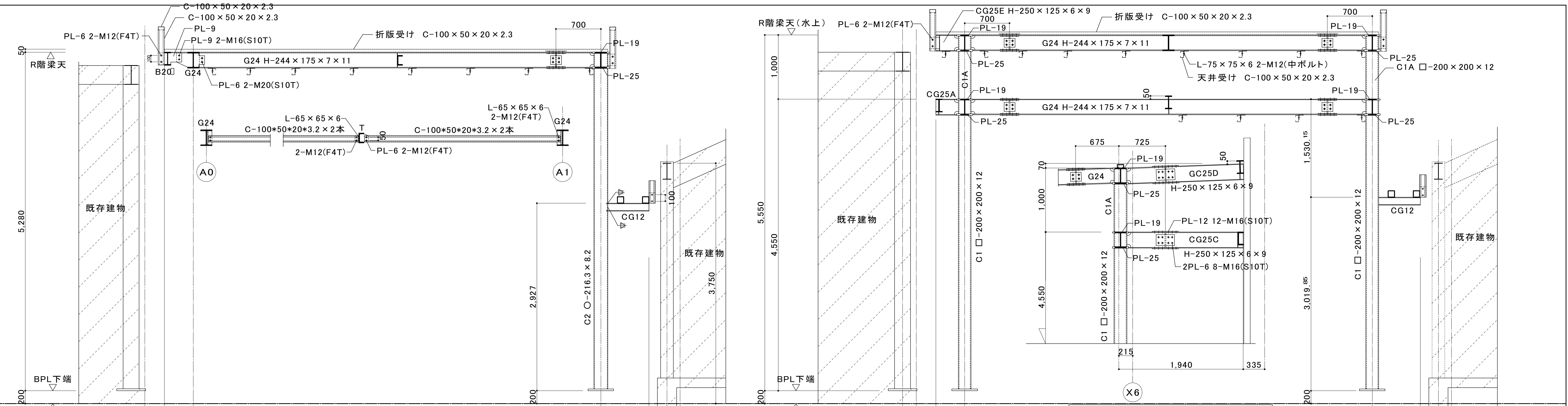
A0通軸組図 S=1:100



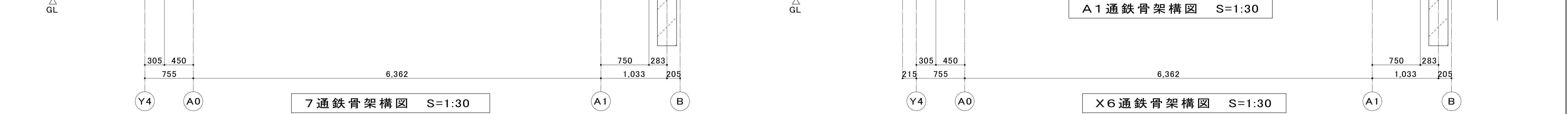
X2通通軸組図 S=1:100

X3通~5通軸組図 S=1:100

溶融亜鉛メッキ 既存建物

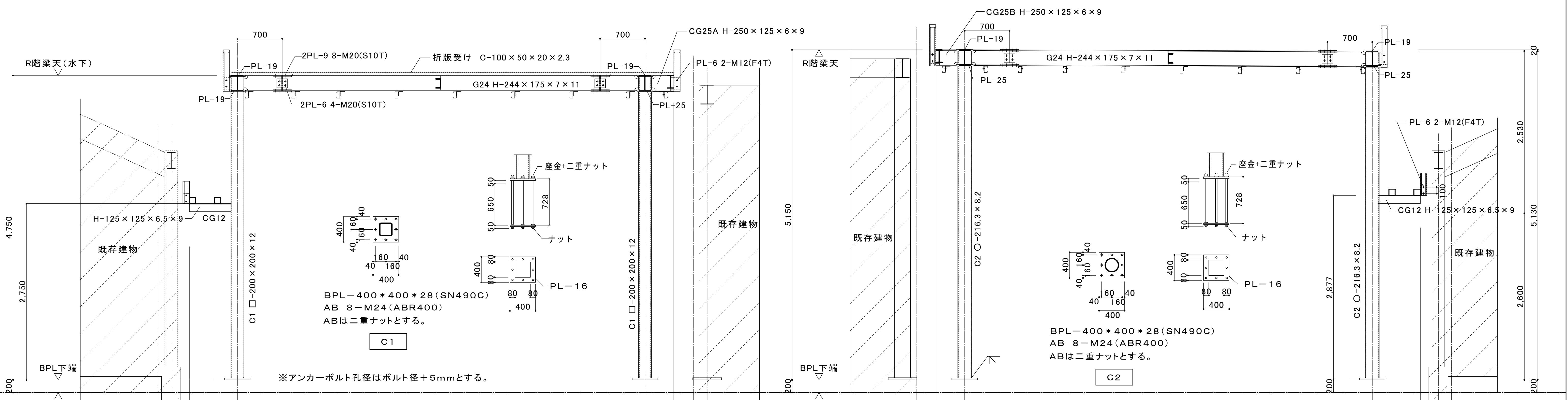


A1通鉄骨架構図 S=1:30



7通鉄骨架構図 S=1:30

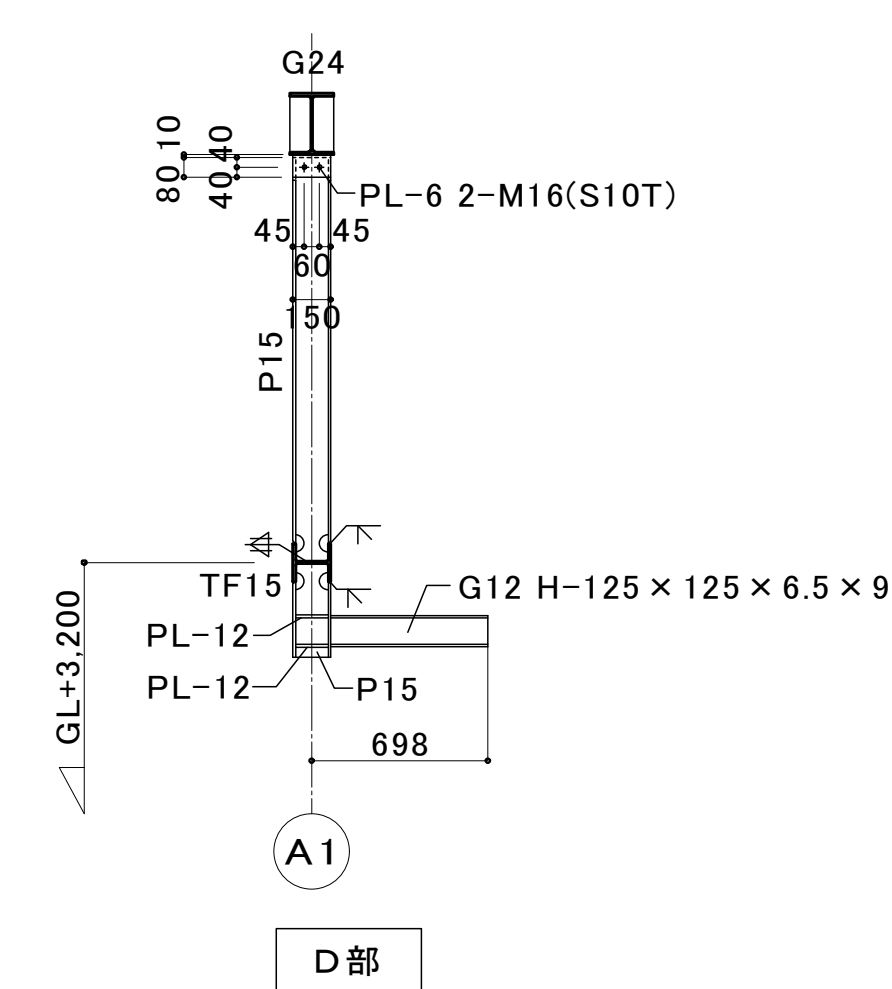
X6通鉄骨架構図 S=1:30



X2通鉄骨架構図 S=1:30

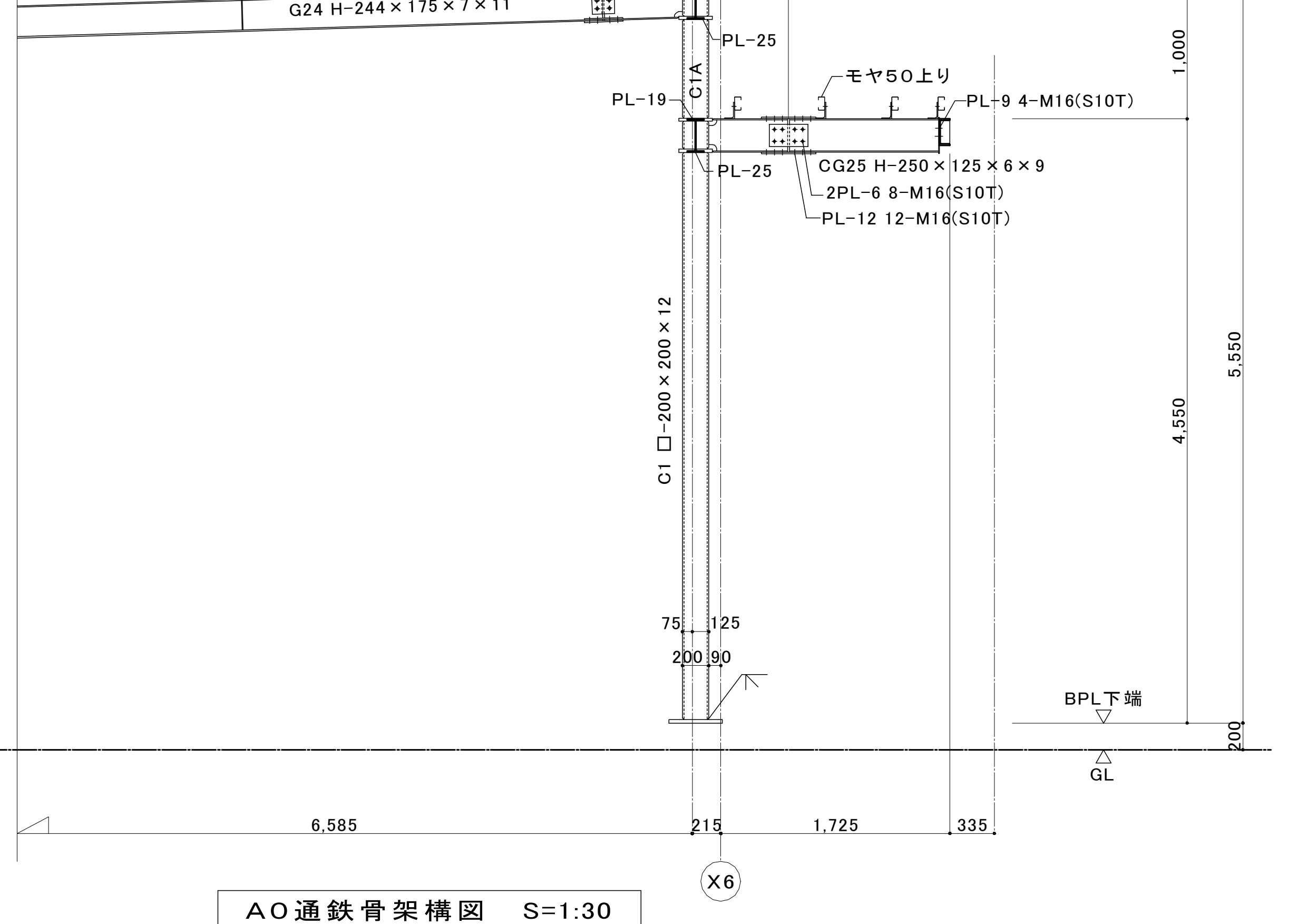
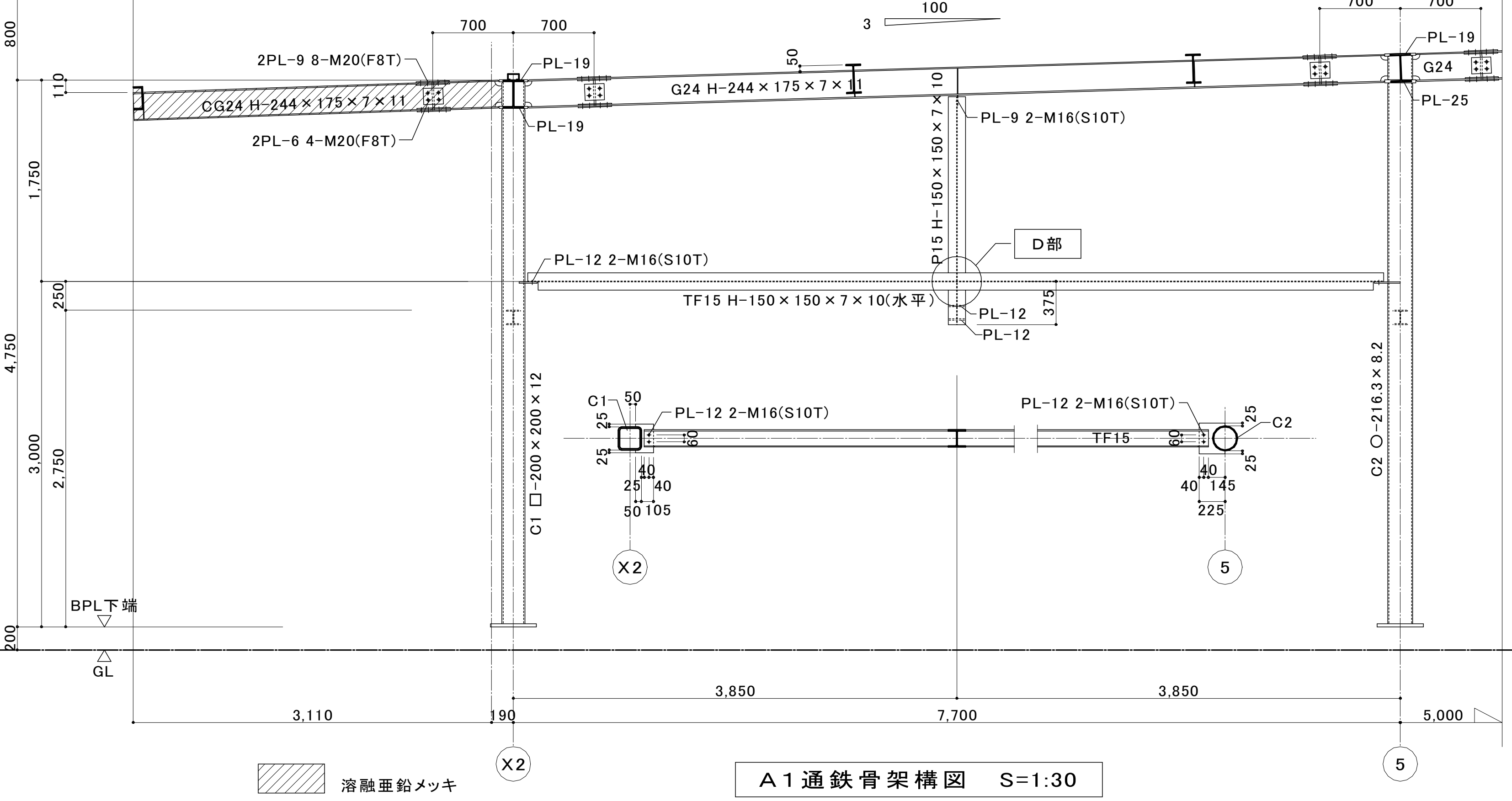
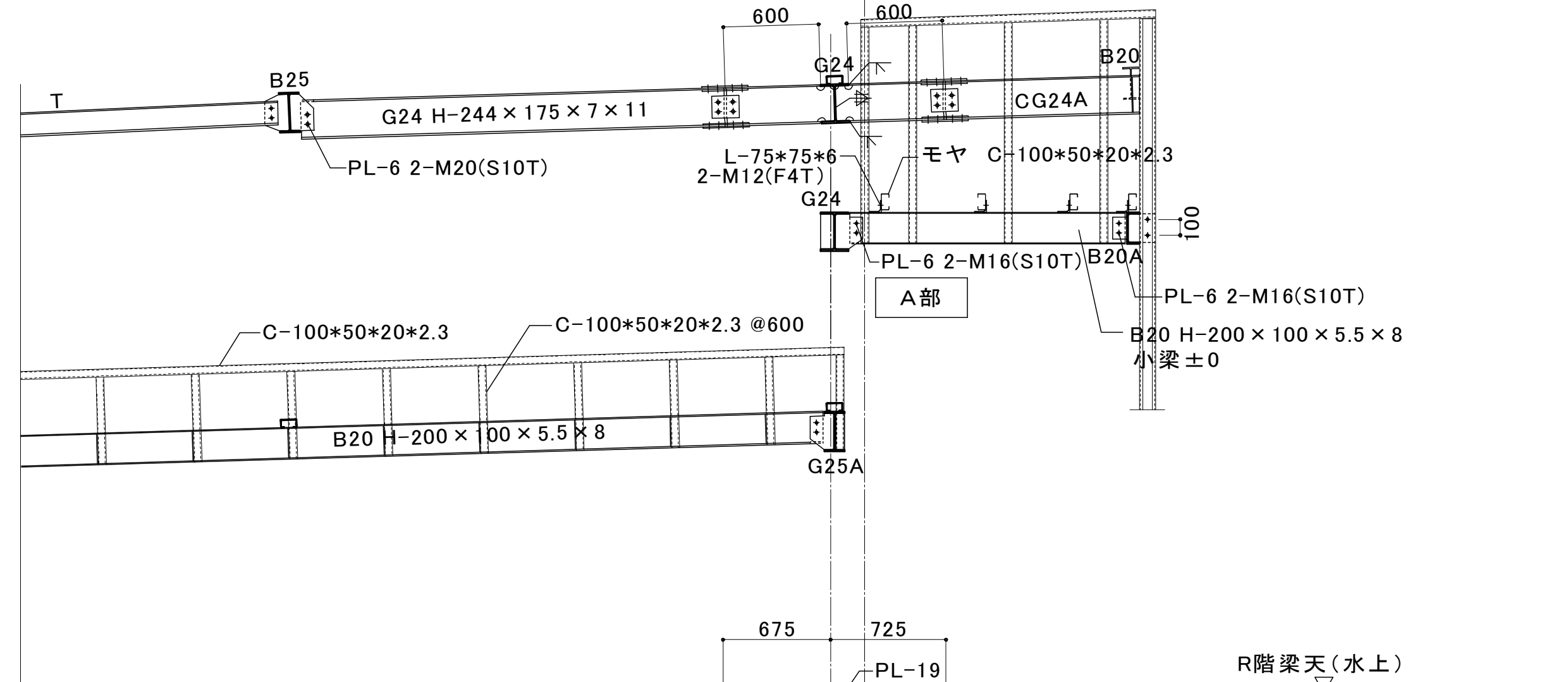
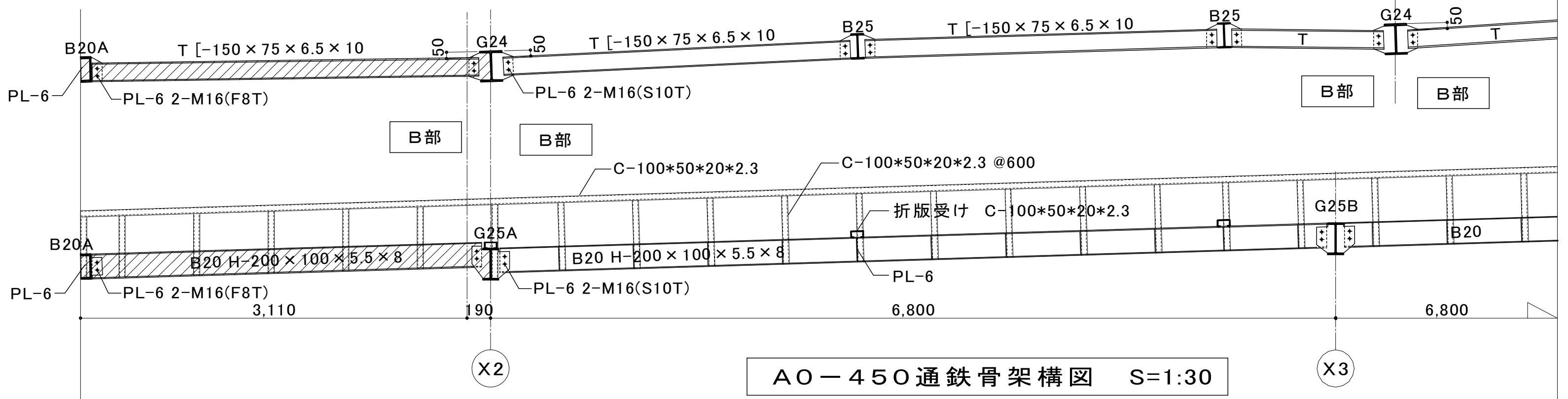
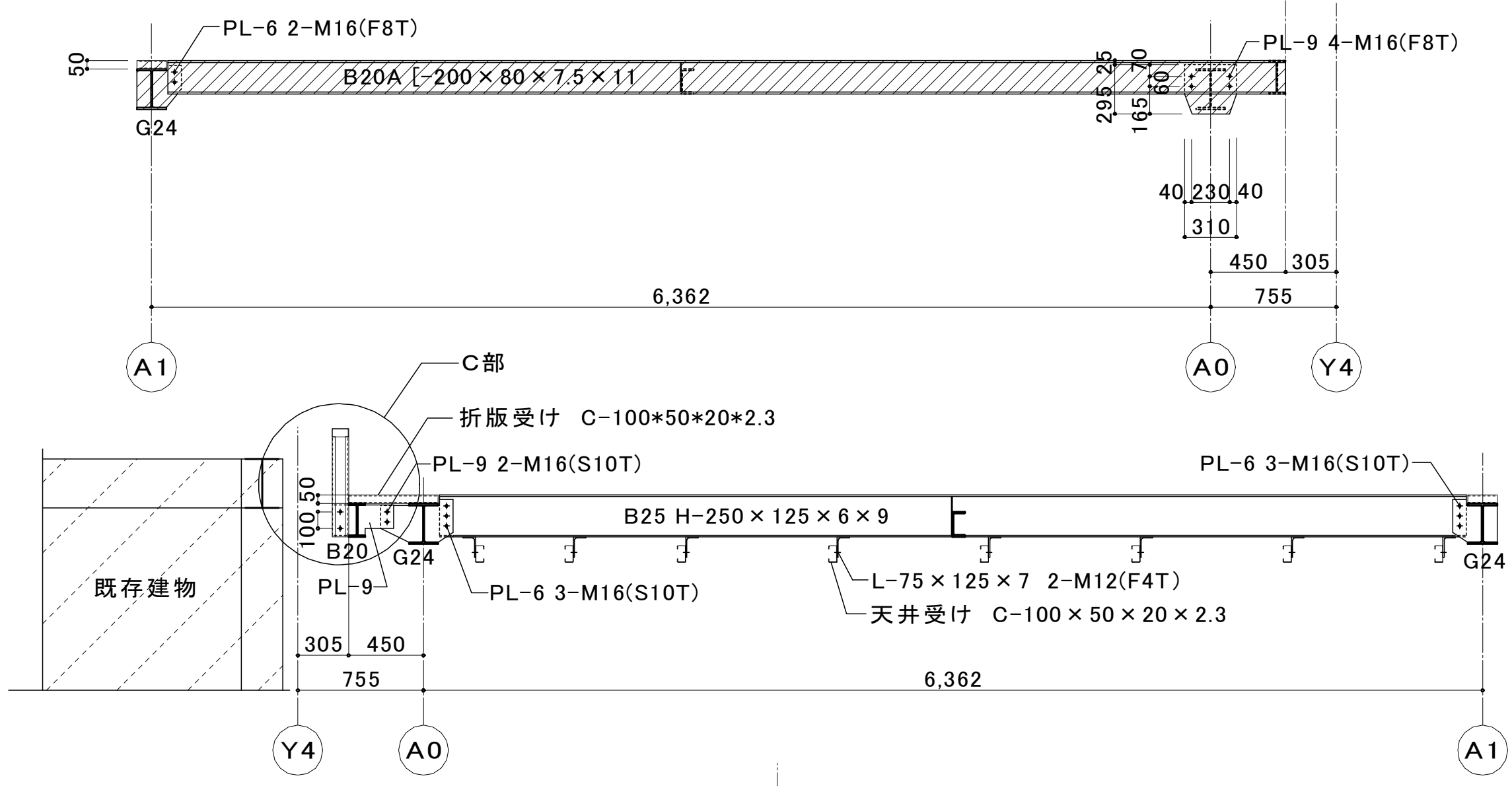
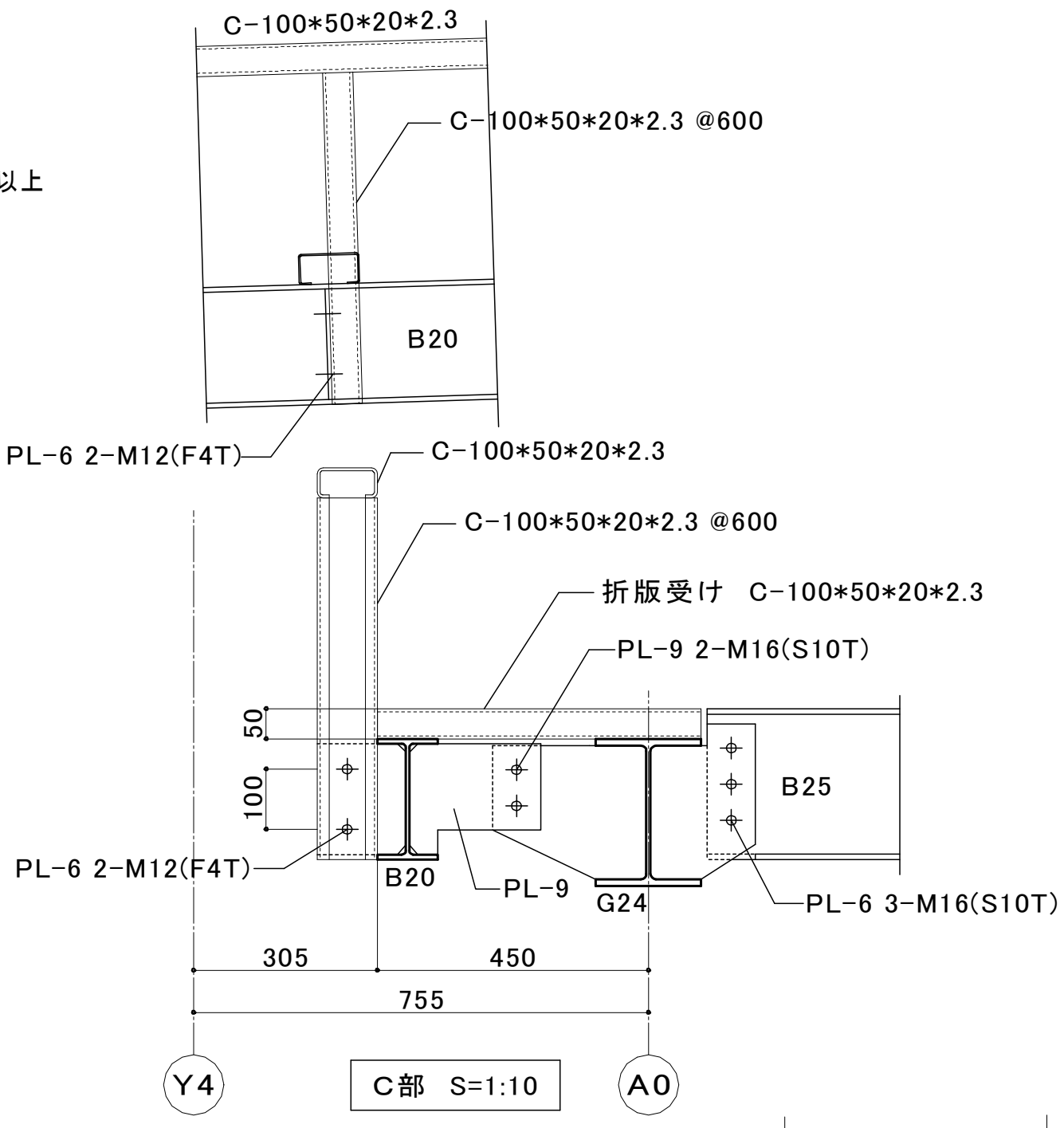
X4通～6通鉄骨架構図 S=1:30

年月日		備考	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所	作成	承認	工事名称	設計NO	図面NO
訂正		※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区業平2-14-6ロースタビル3F TEL:03-3626-8284 FAX:03-3626-8289	発行		エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事		KS-7
						図面名称	縮尺	整理NO
						鉄骨架構図(1)	A1 1:30 A3 1:60	



※外ダイヤフラムは2サイズアップ以上
 PL-3 2 (t=23~26の時)
 PL-2 8 (t=20~22の時)
 PL-2 5 (t=17~19の時)
 PL-2 2 (t=14~16の時)
 PL-1 9 (t=10~13の時)
 PL-1 6 (t=9以下の時)

内ダイヤフラム
2サイズアップ



溶融亜鉛メッキ

A1通鉄骨架構図 S=1:30

AO通鉄骨架構図 S=1:30

年月日		備考	株式会社 ステデザイン 一級建築士事務所	作成	承認	工事名称	設計NO	図面NO
訂正		※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和歌 東京都墨田区業平2-14-6ロースタビル3F TEL:03-3626-8284 FAX:03-3626-8289	発行		エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	整理NO	KS-8
						図面名称	縮尺	
						鉄骨架構図(2)	A1 1:30 A3 1:60	

鉄骨構造標準図 7-2 (基礎配筋標準図)

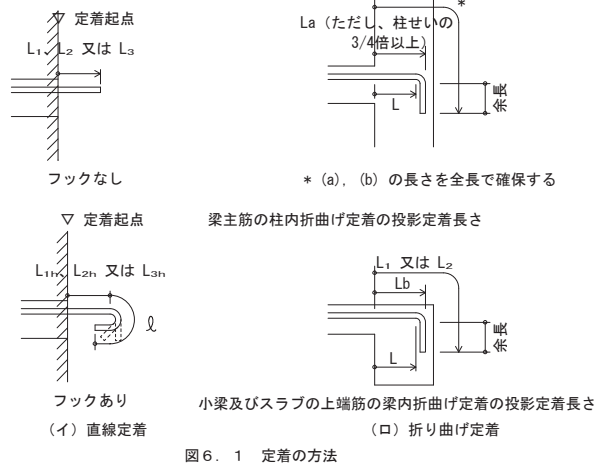
6. 鉄筋の定着

- (a) 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、40d (軽量コンクリートの場合は50d) 表 6. 1 の定着長さのうち大きい値とする。
- (b) (a) 以外の鉄筋の定着の長さは、表 6. 1 による。

表 6. 1 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (Fc) (N/mm ²)	フックなし				フックあり				
		L ₁	L ₂	L ₃		L _{1h}	L _{2h}	L _{3h}		
				小梁	スラブ			小梁	スラブ	
SD295	18	45d	40d	20d	10d	かつ	150mm	以上	35d	30d
	21	40d	35d						30d	25d
	24, 27	35d	30d						25d	20d
	30, 33, 36	35d	30d						25d	20d
SD345	18	50d	40d	20d	10d	かつ	150mm	以上	35d	30d
	21	45d	35d						30d	25d
	24, 27	40d	35d						30d	25d
	30, 33, 36	35d	30d						25d	20d
SD390	21	50d	40d	20d	10d	かつ	150mm	以上	35d	30d
	24, 27	45d	40d						35d	30d
	30, 33, 36	40d	35d						30d	25d

- (注) 1. L₁, L_{1h}: (b) 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
 2. L₂, L_{2h}: 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着長さ及びフックあり定着の長さ
 3. L₃: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
 4. L_{3h}: 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
 5. フックあり定着の場合は、図 6. 1 に示すようにフック部分 ℓ を含まない。また中間部での折り曲げは行わない。
 6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。
 (c) 定着の方法は、図 6. 1 による。
 なお、仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さ ℓ が、表 6. 1 のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を表 6. 1 に示す直線定着の長さとし、かつ、余長を 8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを表 6. 2 に示す長さ (かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの 3/4 倍以上) をのみ込ませる。



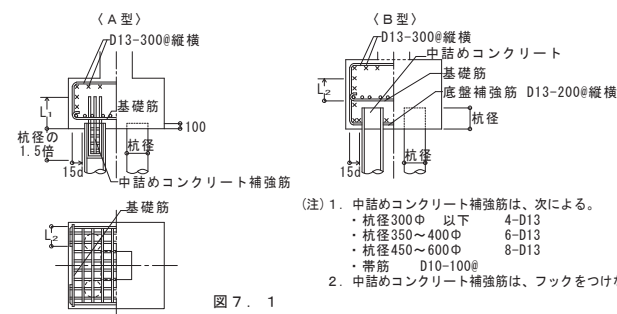
- (注) 1. La: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ (基礎梁、片持ち梁及びスラブを含む。)
 2. Lb: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ (片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)
 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

表 6. 2 投影定着長さ

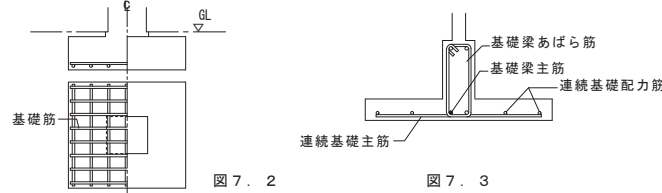
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (Fc) (N/mm ²)	La	Lb
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24, 27	20d	20d
	30, 33, 36	20d	15d

7. 基礎

- A. 杭基礎の場合
 既製コンクリート杭の杭頭補強の方法は、図 7. 1 の A 型又は B 型とし、適用は特記による。特記がなければ B 型とする。なお、中詰めコンクリートは、基礎のコンクリートと同じ調合のコンクリートを使用する。下図以外の場合は、特記による。

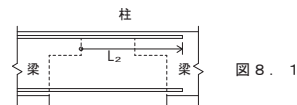


- B. 直接基礎 (独立基礎) の場合の配筋は、図 7. 2 による。
 C. 直接基礎 (連続基礎) の場合の配筋は、図 7. 3 による。

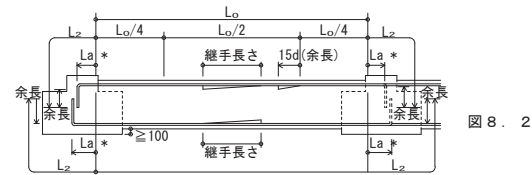


8. 基礎梁

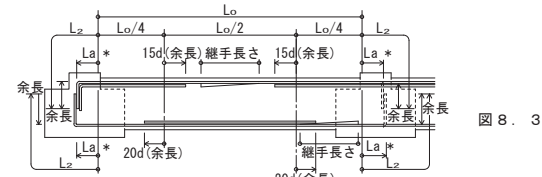
- A. 一般事項
 (1) 梁筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図 8. 1 による。
 (2) 梁筋を柱内に定着する場合は次による。
 ① 梁主筋のみ込み長さは、柱せいの 3/4 以上とする。
 ② 上端筋: 曲げ降ろす。
 ③ 下端筋: 曲げ上げる。ただし、やむを得ない場合は、監督員の承諾を受けて、曲げ降ろすことができる。
 ④ 定着の方法は、6. (c) による。



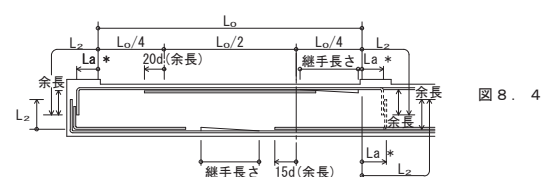
- B. 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長



- C. 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長 (耐圧スラブが付く場合は D. による)

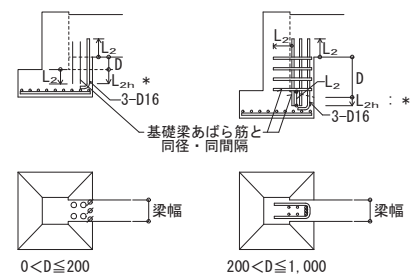


- D. 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長



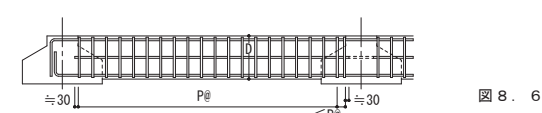
- (注) 1. 印は、継手及び余長を示す。
 2. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 3. Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

- E. 基礎接合部の補強



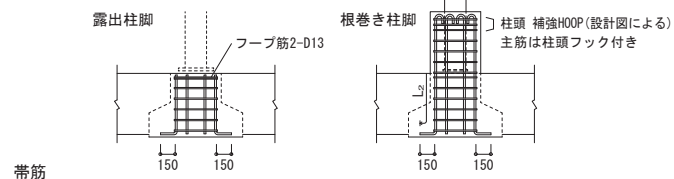
- (注) 1. L_{2h}を確保できない場合は、6. (c) によることができる。

- F. あばら筋の割り付け

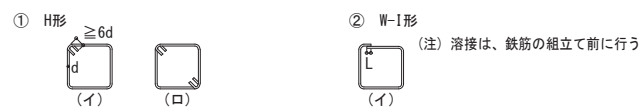


- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
 2. 図中の P₀ は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

9. 基礎柱



- 帯筋
 (1) H形とする。
 (2) H形の135° 曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
 (3) 溶接する場合の溶接長さLは両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。



- (注) 溶接は、鉄筋の組立て前に行う

10. 土間コンクリートの補強

- A. 土間コンクリートの補強
 土間コンクリートの補強筋は、特記による。
 なお、基礎梁との接合部は、図 10. 1 による。

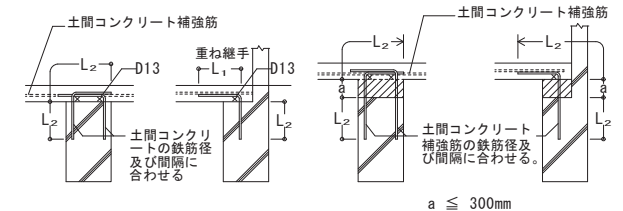


図 10. 1

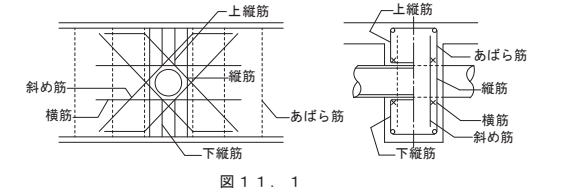
11. 梁貫通孔補強

- (1) H形配筋

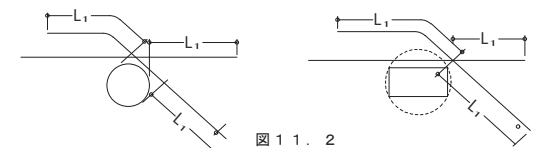
配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H 1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H 2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H 3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 4	4-2-D16				
H 5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 6	4-2-D19				
H 7	4-2-D22				

- (注)は、一般部分のあばら筋を示す。

1. 梁貫通孔補強筋の名称などは図 11. 1 による。



2. 孔の径は、梁せいの 1/3 以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
 3. 孔の上下方向の位置は、梁せい中心付近とし、梁中央部下端は、梁下端より 1/3 d の範囲に設けてはならない。
 4. 孔の中心位置の限度は、柱及び直交する梁 (小梁) の面から原則として 1.5 D (D は梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁、壁付帯梁は除く。
 5. 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
 6. 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
 7. 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは図 11. 2 による。
 8. 孔の径が梁せいの 1/10 以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることで、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
 9. 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
 10. 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。
 なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
 11. 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



- (注) 採用する配筋については、特記による。
 大臣認定による既製品を使用する場合は、すべて認定内容による。

訂正	年月日	内容	備考	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都墨田区業平2-14-60-タスビル3F TEL: 03-3628-8284 FAX: 03-3628-8289	作成	承認	工事名称 エディウィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO	図面NO
			鳴門市企業局ポートレース事業課		発行		図面名称 鉄骨構造標準図(7-2)	縮尺	整理NO KS-10

特記事項

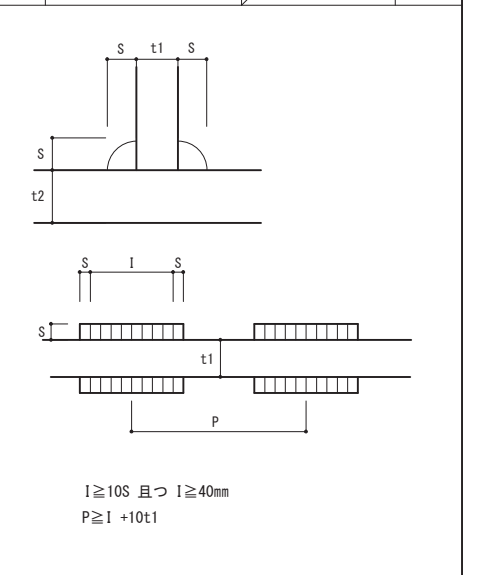
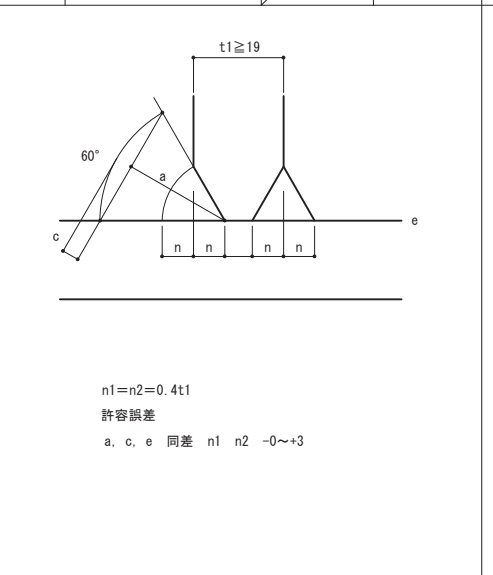
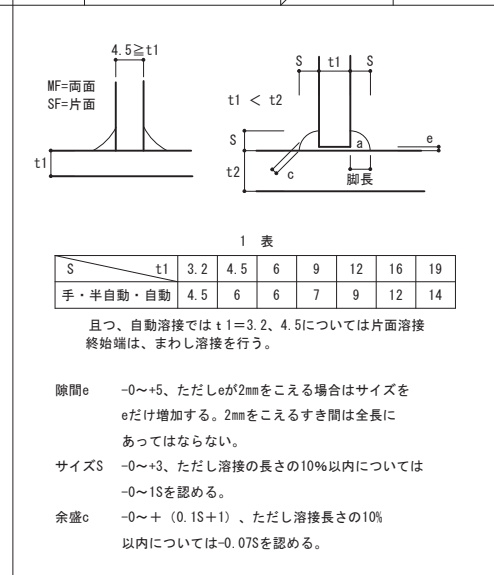
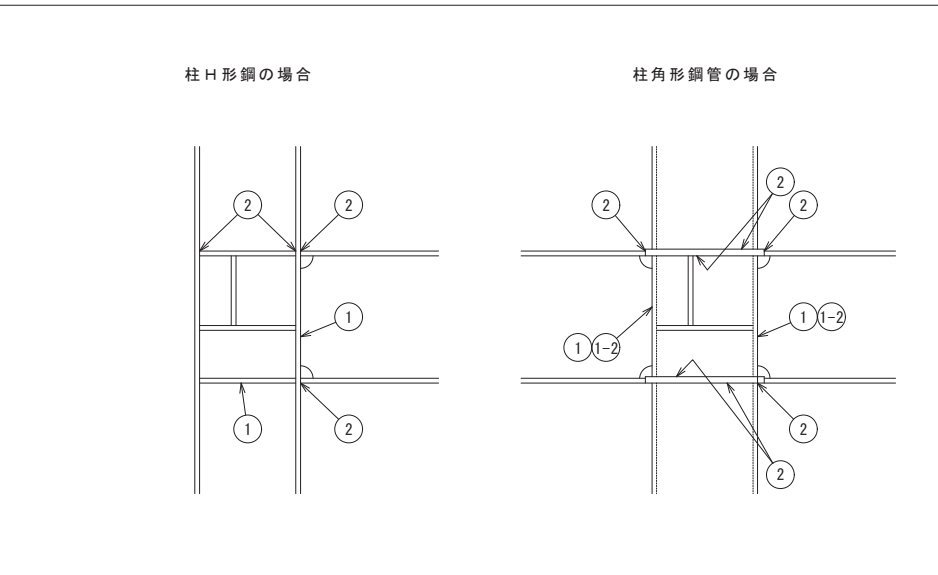
1 適用範囲

1. 本標準図は「溶接工作基準・同解説、I アーク溶接、IV サブマージアーク自動溶接、IV ガスシールド半自動溶接：日本建築学会」に従い、工場溶接を行う場合に適用する。
 2. 特に設計者の指示がある場合はそれに従う。
 3. 本図によらない場合は、設計者の承認を受ける。
 4. 本構造標準図は、設計者の責任において使用すること。

2 適用鋼材

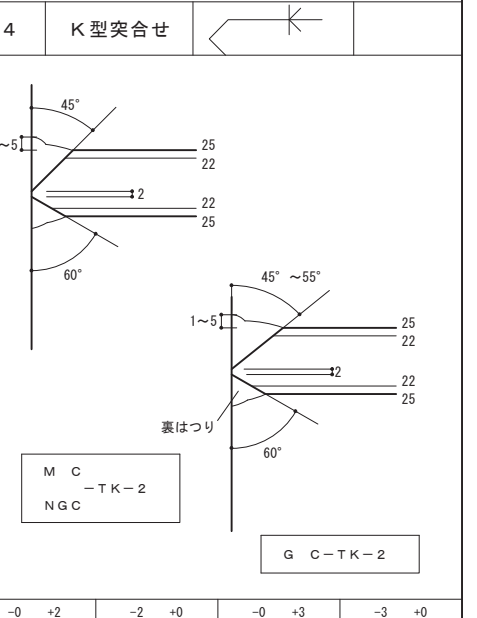
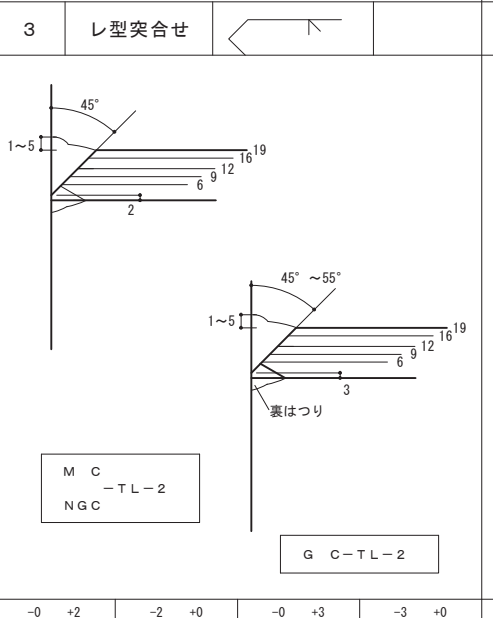
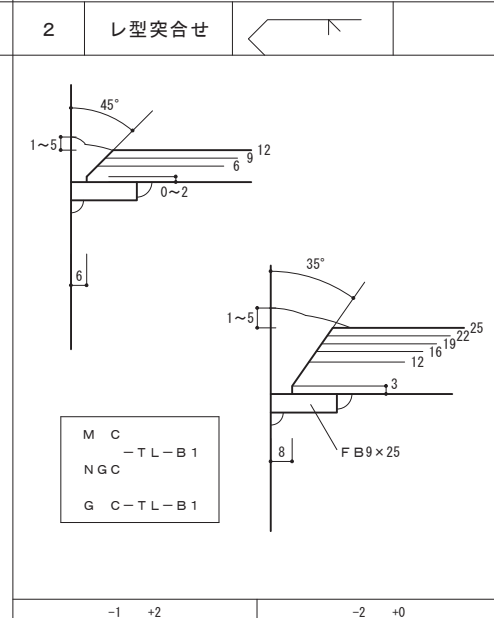
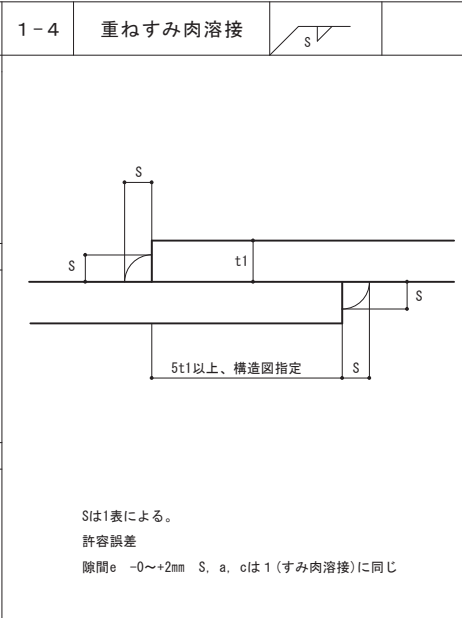
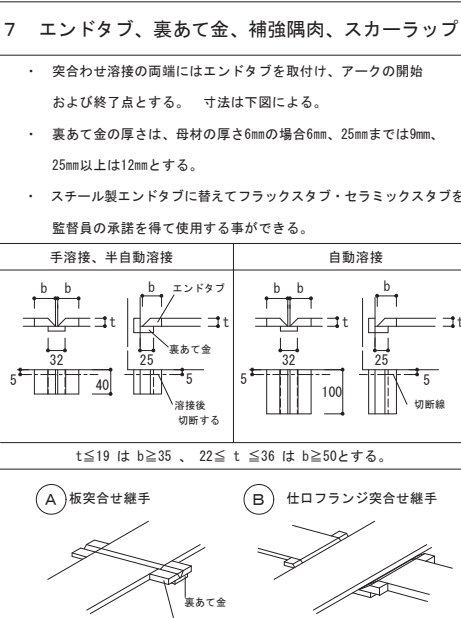
溶接法	鋼材の記号	板厚(mm)
M	SS400 SSC400 STKR400 STK400 STK490	2.3~6
M	SS400 SM490YA STKR400 STK490	6~25
M	SM400A SM490B SN400B・C SN490B・C	6~32
NG	SM490A SM520B SN400B・C SN490B・C	6~38
G	SN400B・C BCR295 BCP235 BCP295	6~45
S	SN400B・C SN490B・C	6~45
	SM400B SM400C・SM520C SM570	6~50

予熱は、鉄骨工事技術指針に従い行うものとする。技術指針に該当しない鋼材については、必要な試験を行った上、適切な熱管理のもとで準用してよい。



3 適用溶接法と記号

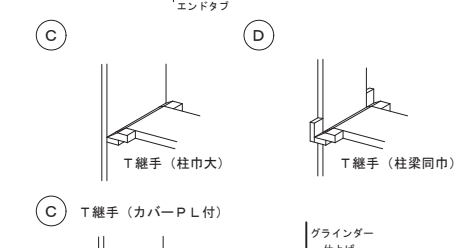
M アーク手溶接
 NG ノンガスシールドアーク半自動溶接
 G ガスシールドアーク半自動溶接
 S サブマージアーク自動溶接
 C 突合せ溶接
 P 部分溶け込み溶接
 F すみ肉溶接
 T T継ぎ手
 L 角継ぎ手
 B 突合せ継ぎ手
 I I形
 V V形
 レ レ形
 K K形
 X X形
 B 裏あて金
 1 片面溶接
 2 両面溶接 MC, NGC, GC, は、裏はつりをする。
 (例) MC-TL-B1=アーク手溶接突合せレ形T継ぎ手-裏あて金付き片面溶接



4 溶接姿勢

F 下向姿勢
 H 水平又は、横向姿勢
 V 立向姿勢
 O 上向姿勢

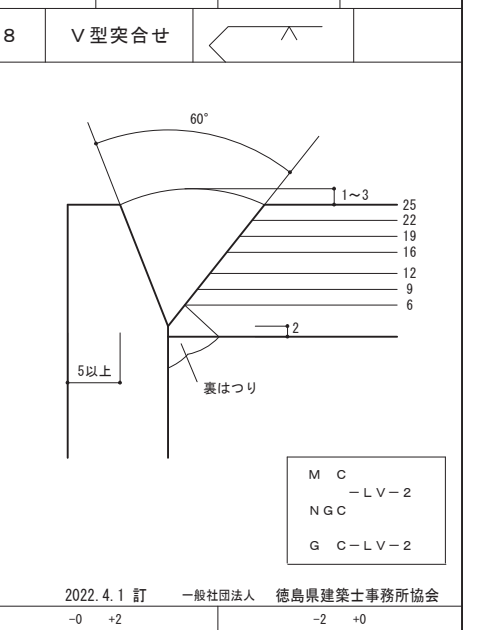
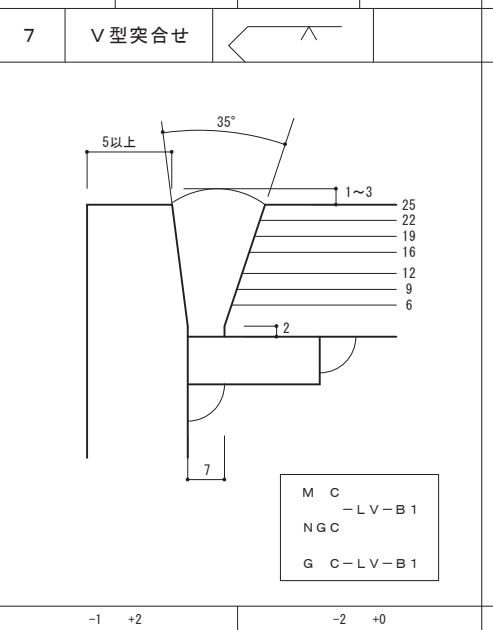
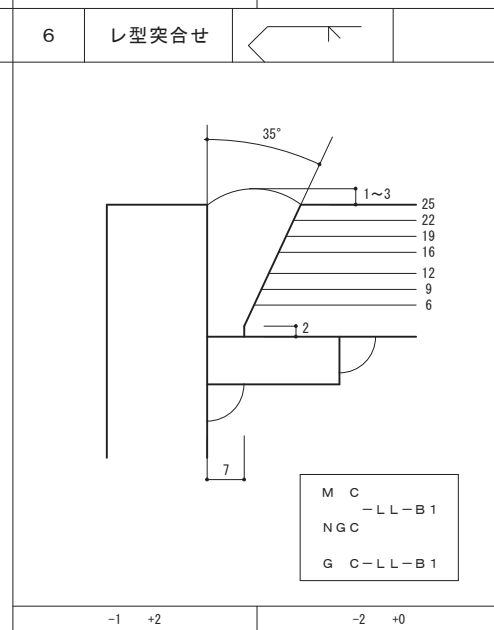
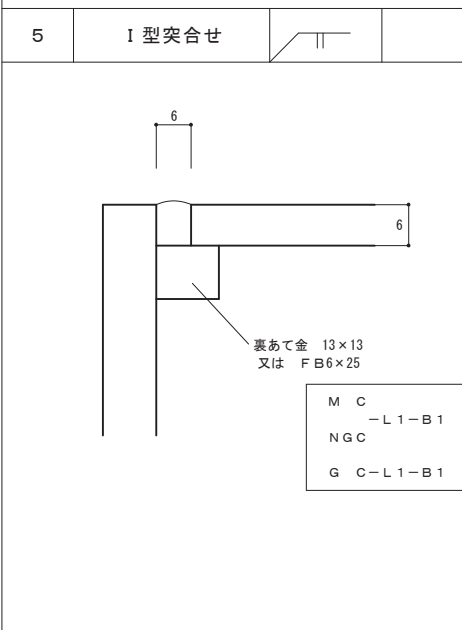
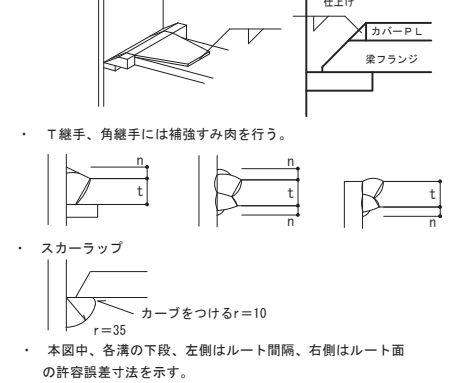
手溶接における姿勢は、特記あるものを除き、原則として下向とする。



5 その他

1. 使用板厚は半自動、自動溶接の場合は6mm以上とする。
 2. 手溶接において、1層目の溶接を行う棒径は4mm以下とする。
 3. 寸法の許容誤差で図示したもの以外は、下記による。

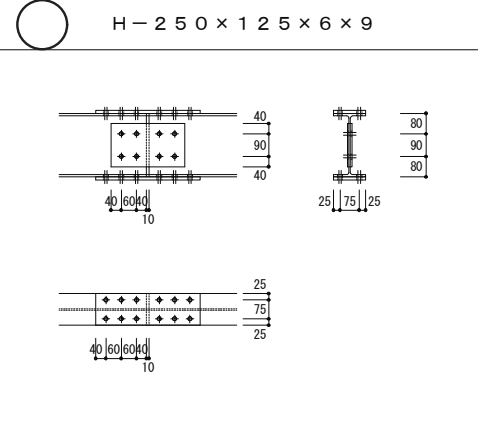
a 開先角度は、 $-3^\circ \sim +5^\circ$ とする。
 b 裏あて金のすきまは0とし許容誤差は、 $-0 \sim +1$ とする。
 c 重ね継ぎ手のすきまは0とし許容誤差は、 $-0 \sim +2$ とする。
 d グループ溶接部の相互の目違いは0とし、許容誤差は、 $-1 \sim +1$ とする。
 e 突き合わせ溶接及び部分溶け込み溶接の余盛の高さは、特記なき場合は、右記詳細図によるものとする。



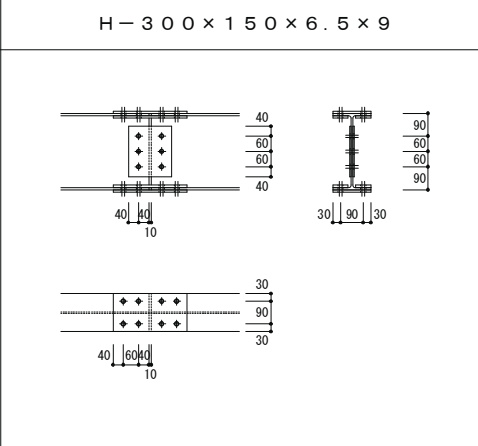
鉄骨構造標準図 7-4 (接合部)

H型鋼標準接合部

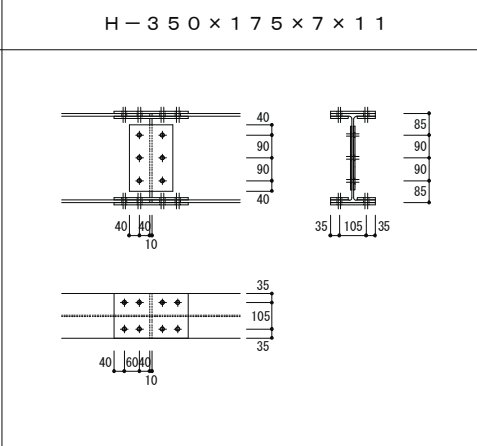
- 特記事項
- 許容耐力設計において、存在応力が本標準図の許容耐力以内であることを確認すること。
 - 本標準図は保有耐力接合を示す標準図である。
 - 孔径はボルト軸径+2mm以内とする。
 - 鋼材の材質は SS400、SN400A・B・Cとする。
 - 高力ボルトは S10T、F10Tとする。
 - 亜鉛メッキを施した場合には本表は使用できない。
 - 大梁の内法長さが本表に示す最小長さ以下の場合せん断耐力が不足するため本表は使用できない。
 - 別途設計をした場合本標準図は使用しなくても良い。
 - 継手部添板の切断はガス手動切断・シャー切断をしてはならない。



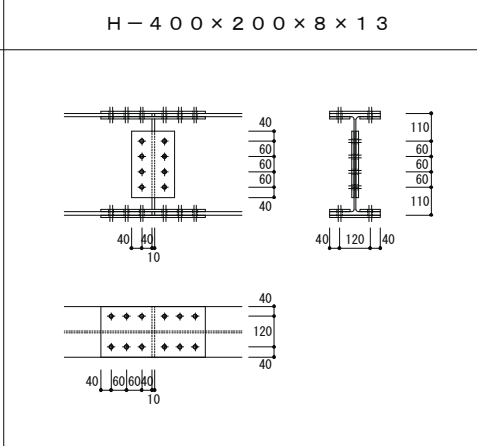
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M16	2	12	125	410	0.80m
ウェブ	8	M16	2	6	290	170	



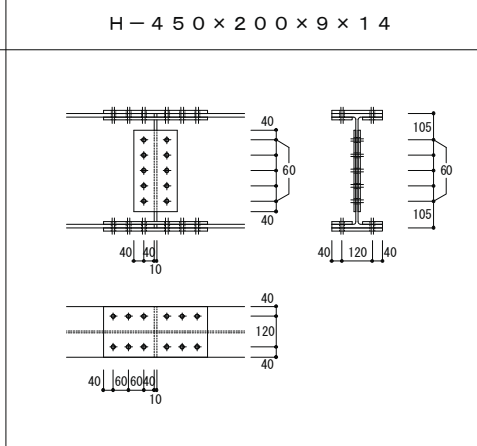
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	16	M16	2	9	150	290	0.97m
ウェブ	6	M16	2	6	170	200	



	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	16	M20	2	9	175	290	1.25m
ウェブ	6	M20	2	6	170	260	

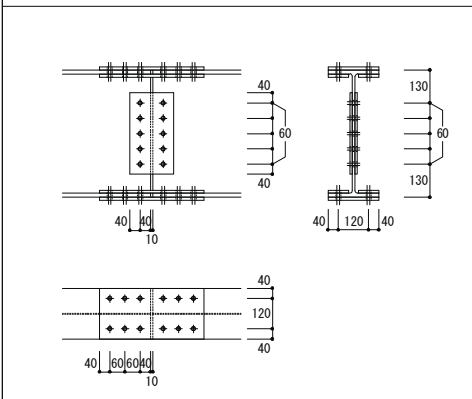


	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	9	200	410	1.52m
ウェブ	8	M20	2	9	170	260	



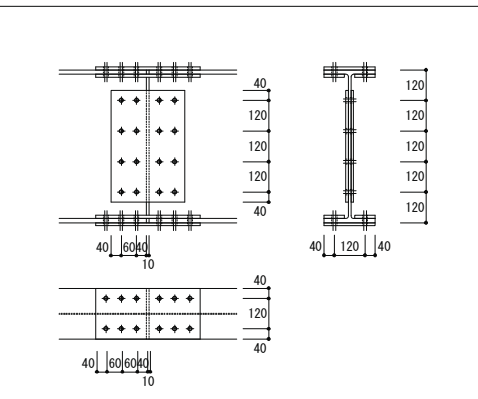
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	12	200	410	1.56m
ウェブ	10	M20	2	9	170	320	

H-500x200x10x16



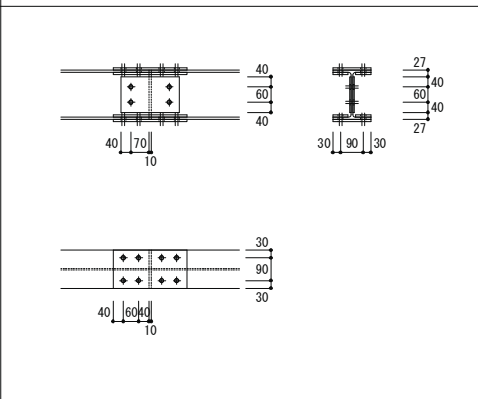
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	12	200	410	1.57m
ウェブ	10	M20	2	9	170	320	

H-600x200x11x17



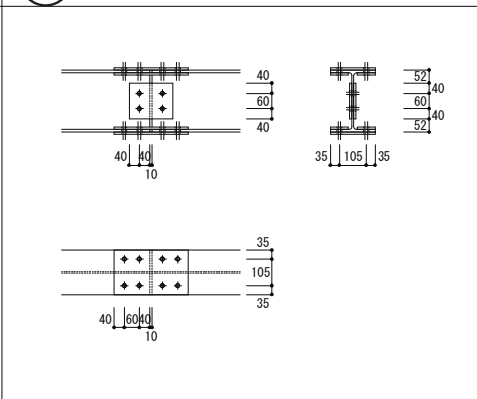
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	12	200	410	1.46m
ウェブ	16	M20	2	9	290	440	

H-194x150x6x9



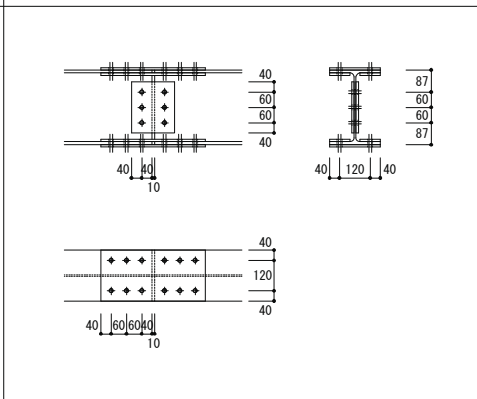
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	16	M16	2	9	150	290	0.95m
ウェブ	4	M16	2	6	230	140	

H-244x175x7x11



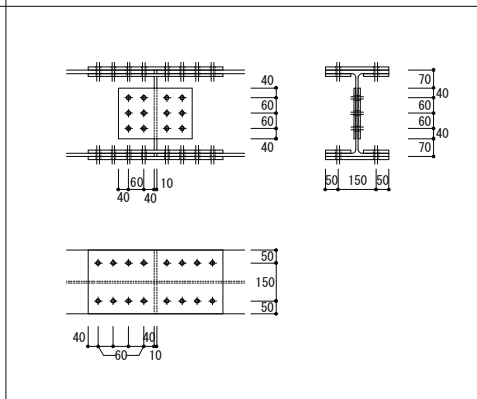
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	16	M20	2	9	175	290	1.17m
ウェブ	4	M20	2	9	170	140	

H-294x200x8x12



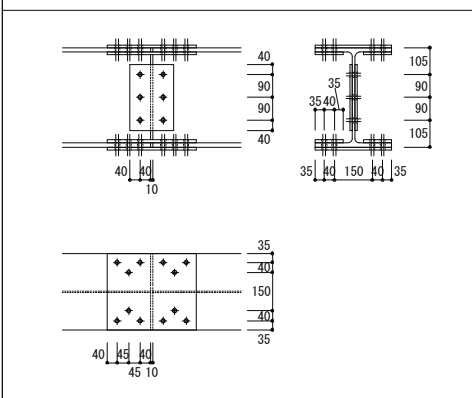
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M20	2	9	200	410	1.36m
ウェブ	6	M20	2	9	170	200	

H-340x250x9x14



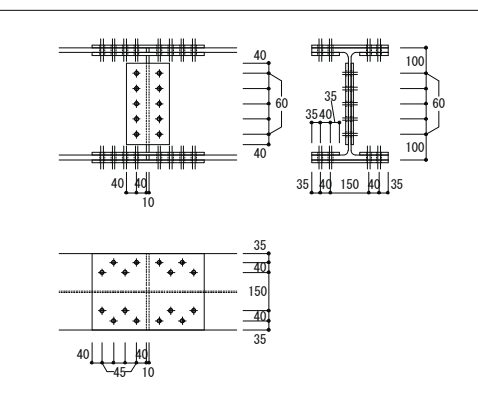
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	32	M20	2	12	250	530	1.65m
ウェブ	12	M20	2	9	290	200	

H-390x300x10x16



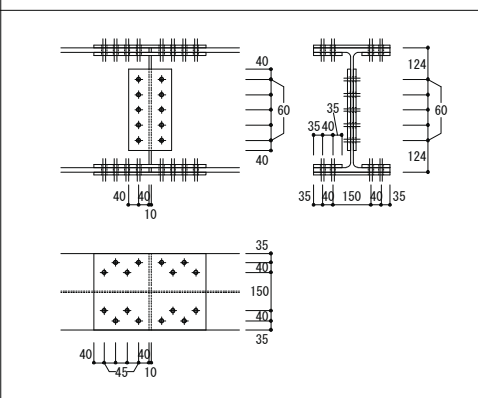
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	24	M22	2	12	300	350	1.98m
ウェブ	6	M22	2	9	170	260	

H-440x300x11x18



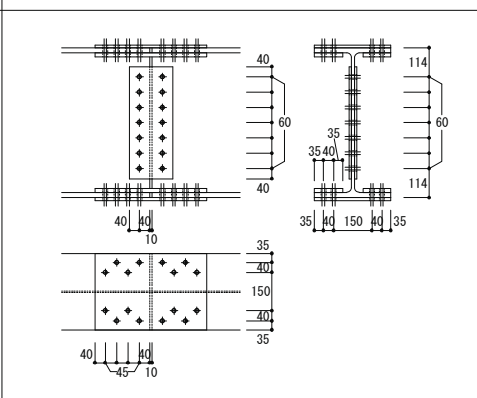
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	32	M22	2	12	300	440	2.33m
ウェブ	10	M22	2	9	170	320	

H-488x300x11x18



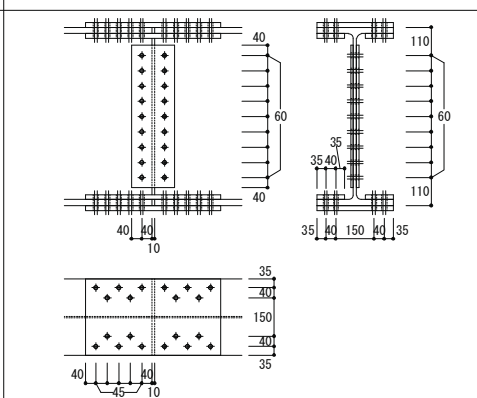
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	32	M22	2	12	300	440	2.27m
ウェブ	10	M22	2	12	170	320	

H-588x300x12x20



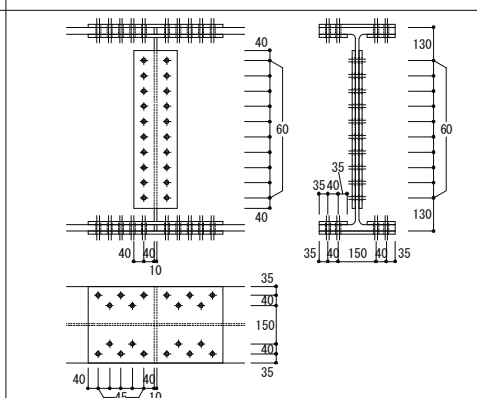
	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	32	M22	2	12	300	440	2.52m
ウェブ	14	M22	2	9	170	440	

H-700x300x13x24



	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	40	M22	2	19	300	530	2.95m
ウェブ	18	M22	2	9	170	560	

H-800x300x14x26



	高力ボルト		母材と同等品				使用可能な梁の最小長さ
	全数量 (本)	径 (mm)	数量 (枚)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	
フランジ	40	M22	2	19	300	530	3.01m
ウェブ	20	M22	2	12	170	620	

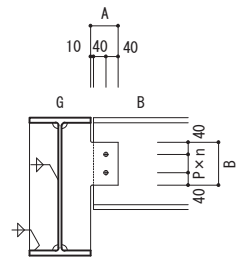
2022.4.1 訂 一般社団法人 徳島県建築士事務所協会

年月日	訂正	鳴門市企業局ポータル事業課	備考 ※種別等の変更により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 ステデザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都豊田区豊平2-14-6ロータビル3F TEL: 03-3629-8284 FAX: 03-3629-8289	作成 承認	工事名称 エディヴィン鳴門一般席増築及び改修工事のうち建築工事 図面名称 橋 尺	設計NO 整理NO	図面NO KS-12
-----	----	---------------	--	--	----------	---	--------------	---------------

鉄骨構造標準図 7-5

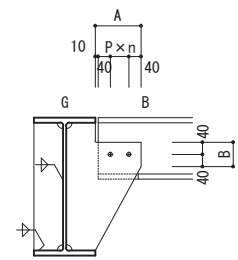
小梁接合部

- 特記事項
- 鋼材の材質は SS400 SN400A・B・Cとする。
 - ガセットプレートの材質は、大梁と同じものとする。
 - 高力ボルトは S10T・F10Tとする。
 - 大梁の横補剛材として使用する場合は別途計算の上決定する必要がある。
 - 本標準図は小梁の接合部を示すものであるが、別途設計を行う場合は本図を用いなくてよい。
 - 本標準図に記載されている耐力は参考値であって、本図を用いる場合は、耐力の確認を行うこと。
 - ボルト孔明けは、ドリル明けとする。
 - 小梁のたわみ量は算定していません。



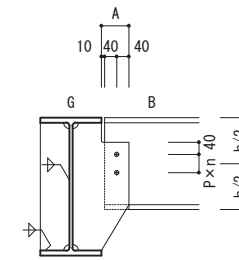
H-200×100
H-194×150 以上の場合

タイプ
A



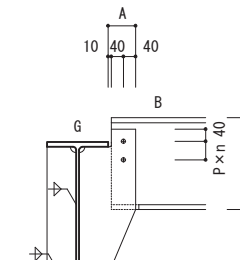
H-175×90
H-148×100 以下の場合

タイプ
B



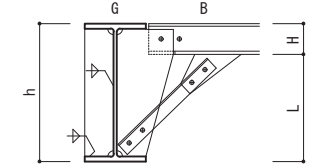
H-200×100
H-194×150 以上の場合

タイプ
C



H-200×100
H-194×150 以上の場合

タイプ
D



方材材 $\theta=45^\circ$ L>300 且つ 2×H
2LS-65×65×6 の場合は方材をいれる。
HTB 4-M16
b材取付はA-Eによる。

タイプ
E

記号	タイプ	細幅シズ 小梁 (B)	許容せん断耐力	大梁 (G)	HTB			G.P			記号	タイプ	中幅シズ 小梁 (B)	許容せん断耐力	大梁 (G)	HTB			G.P			
					N×径	許容せん断耐力	t	許容せん断耐力	P×n	A×B						N×径	許容せん断耐力	t	許容せん断耐力	P×n	A×B	
BJ01		H-100×50×5×7	※[30.80]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	[39.13]	60×1	150×80	BJ51		H-148×100×6×9	[60.88]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[33.70]	60×1	150×80	
BJ02				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	[58.70]	60×1	150×80	BJ52				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	※[50.55]	60×1	150×80	
BJ03		H-125×60×6×8	[49.46]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[45.93]	60×1	150×80	BJ53		H-194×150×6×9	[76.10]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[56.53]	60×1	90×140	
BJ04				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	[68.89]	60×1	150×80	BJ54				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	※[59.23]	9.0	[84.79]	60×1	90×140	
BJ05		H-150×75×5×7	[53.45]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[52.72]	60×1	150×80	BJ55		H-244×175×7×11	[112.88]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M20	[92.38]	6.0	※[52.18]	60×1	90×140	
BJ06				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	[59.23]	9.0	[79.09]	60×1	150×80	BJ56				H-300×150 H-294×200 以上	2-M20	[92.38]	9.0	※[78.27]	60×1	90×140	
BJ07		H-175×90×5×8	[63.87]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	※[59.23]	6.0	[59.52]	60×1	150×80	BJ57		H-294×200×8×12	[147.84]	H-300×150 H-294×200 以上	3-M20	[138.57]	9.0	※[109.25]	60×2	90×200	
BJ08				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	※[59.23]	9.0	[89.29]	60×1	150×80	BJ58		H-340×250×9×14	[182.63]	H-350×175 H-340×250 以上	4-M20	[184.76]	9.0	※[140.23]	60×3	90×260	
BJ09	C・D	H-200×100×5.5×8	[73.74]	H-298×149 H-244×175 以下	2-M16	[59.23]	6.0	※[56.53]	60×1	90×140	BJ59		H-390×300×10×13	[242.78]	H-400×200 H-390×300 以上	4-M22	[223.59]	12.0	※[178.28]	60×3	90×260	
BJ10				H-300×150 H-294×200 以上	2-M16	※[59.23]	9.0	[84.79]	60×1	90×140	BJ60		H-440×300×11×18	[283.00]	H-450×200 H-440×300 以上	5-M22	[279.48]	12.0	※[217.42]	60×4	90×320	
BJ11		H-248×124×5×8	※[75.19]	H-298×149 H-244×175 以下	3-M16	[88.85]	6.0	[79.35]	60×2	90×200	BJ61		H-482×300×11×15	[306.92]	H-500×200 H-482×300 以上	6-M22	[335.38]	12.0	※[256.55]	60×5	90×380	
BJ12				H-300×150 H-294×200 以上	3-M16	[88.85]	9.0	[119.03]	60×2	90×200	BJ62		H-488×300×11×18	[306.92]	H-600×200 H-582×300 以上	6-M22	[335.38]	12.0	※[256.55]	60×5	90×380	
BJ13	D	H-250×125×6×9	[90.23]	H-298×149 H-244×175 以下	3-M16	[88.85]	6.0	※[79.35]	60×2	90×200	BJ63		H-582×300×12×17	[413.09]	H-600×200 H-582×300 以上	7-M22	[391.28]	12.0	※[295.69]	60×6	90×440	
BJ14				H-300×150 H-294×200 以上	3-M16	※[88.85]	9.0	[119.03]	60×2	90×200	BJ64		H-588×300×13×20	[413.09]	H-600×200 H-582×300 以上	7-M22	[391.28]	12.0	※[295.69]	60×6	90×440	
BJ15		H-298×149×5.5×8	※[107.62]	H-298×149 H-294×200 以上	3-M20	[138.57]	9.0	[109.25]	60×2	90×200	BJ65		H-692×300×13×20	[513.46]	H-700×300 H-692×300 以上	9-M22	[503.08]	16.0	※[498.61]	60×8	90×560	
BJ16		H-300×150×6.5×9	[127.19]	H-300×150 H-294×200 以上	3-M20	[138.57]	9.0	※[109.25]	60×2	90×200	BJ66		H-700×300×13×24	[513.46]	H-700×300 H-692×300 以上	9-M22	[503.08]	16.0	※[498.61]	60×8	90×560	
BJ17		H-346×174×6×9	※[130.45]	H-346×174 H-340×250 以上	4-M20	[184.76]	9.0	[140.23]	60×3	90×260	BJ67		H-792×300×14×22	[613.84]	H-800×300 H-792×300 以上	11-M22	[614.87]	16.0	※[602.97]	60×10	90×680	
BJ18		H-350×175×7×11	[152.19]	H-350×175 H-340×250 以上	4-M20	[184.76]	9.0	※[140.23]	60×3	90×260	BJ68		H-800×300×14×26	[613.84]	H-800×300 H-792×300 以上	11-M22	[614.87]	16.0	※[602.97]	60×10	90×680	
BJ19		H-396×199×7×11	※[167.41]	H-396×199 H-390×300 以上	5-M20	[230.95]	9.0	[171.22]	60×4	90×320	BJ69		H-890×299×15×23	[755.52]	H-900×300 H-890×300 以上	12-M22	※[670.77]	19.0	[777.99]	60×11	90×740	
BJ20		H-400×200×8×13	[191.33]	H-400×200 H-390×300 以上	5-M20	[230.95]	9.0	※[171.22]	60×4	90×320	BJ70		H-900×300×16×28	[805.89]	H-900×300 H-890×300 以上	12-M22	※[670.77]	19.0	[777.99]	60×11	90×740	
BJ21		H-446×199×8×12	[226.11]	H-446×199 H-440×300 以上	5-M20	[230.95]	9.0	※[171.22]	60×4	90×320												
BJ22		H-450×200×9×14	[254.38]	H-450×200 H-440×300 以上	5-M20	[230.95]	12.0	※[228.29]	60×4	90×320												
BJ23		H-496×199×9×14	[273.94]	H-496×199 H-482×300 以上	6-M20	[277.14]	12.0	※[269.60]	60×5	90×380												
BJ24		H-500×200×10×16	[304.38]	H-500×200 H-482×300 以上	6-M20	[277.14]	12.0	※[269.60]	60×5	90×380												
BJ25		H-600×200×11×17	[389.23]	H-600×200 H-582×300 以上	8-M20	[277.14]	12.0	※[269.60]	60×7	90×500												

注：1. 小梁に小梁（2次小梁）がつく場合は大梁（G）を小梁と読みかえる。
2. 図中[]内の数値は参考許容せん断力とし※印は最低値を示す。
3. H-100×50、H-125×60、H-150×75、H-175×90、H-148×100の取付方法は、Bタイプ又はEタイプとする。

耐力の単位:kN

訂正	年月日	内容	鳴門市企業局ポータル事業課	備考 ※随時指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	株式会社 歩デザイン 一級建築士事務所 一級建築士 大臣登録第164276号 中野 和敏 東京都豊田区東平2-14-6ロータビル3F TEL: 03-3626-8284 FAX: 03-3626-8289	作成 承認	工事名称 エディウィン鳴門一般席棟増築及び改修工事のうち建築工事	設計NO 図面NO	図面名称 概 尺	整理NO	図面NO KS-13
----	-----	----	---------------	---	---	----------	-------------------------------------	--------------	-------------	------	---------------

